

# 「京都らしさ」を支える生物資源調査結果

令和4年3月

京都市

## 目 次

1	概要	1
(1)	目的	1
(2)	調査内容	1
(3)	調査フロー	3
2	文献調査, ヒアリング調査及びアンケート調査	4
(1)	文献調査	4
(2)	ヒアリング調査	9
ア	調査方法	9
イ	調査結果	10
(3)	アンケート調査	12
ア	調査方法	12
イ	調査結果	15
(4)	調査結果総括	20
3	特に重要と考えられる生物種の選定	21
(1)	基本的な考え方	21
(2)	手順	22
(3)	選定基準ごとの評価	24
ア	生物資源の保全又は利用による本市の生態系保全へのつながり	24
イ	京都らしさの構成要素としての重要度	25
ウ	文化等の継続・継承への重要度	26
エ	絶滅等が危惧される種	28
オ	生物資源の保全又は利用により得られる生態系サービスの市民への分かりやすさ	29
(4)	特に重要と考えられる生物種の選定	30
4	特に重要と考えられる生物種の詳細な状況調査	33
(1)	詳細調査の方法	33
(2)	詳細調査の結果	33
ア	マツ (アカマツ)	33
イ	マツタケ	41
ウ	竹 (マダケ, モウソウチク)	43
エ	タケノコ	48
オ	キキョウ	50
カ	アユ	55
5	評価・結果	62

## 1 概要

### (1) 目的

京都市では、「京都市生物多様性プラン（2021-2030）」の推進プロジェクト「京都らしさ」を支える生きものプロジェクト（以下「プロジェクト」という。）において、「京都らしさ」（衣食住や生活，文化，産業，景観等）の継承に必要な生物資源を特定し，保全・回復の取組を講じることで，生物資源の持続可能な利用を目指すことを掲げている。

上記を踏まえ，「京都らしさ」を支える生物資源をリスト化するとともに，そのうち，持続可能な利用が困難となっているものについて，保全・回復の取組につなげるため，持続可能性に関する課題を把握することで，プロジェクトを推進する。

なお，本調査で得られた「京都らしさ」を支える生物資源のリストは，今後，あらゆる取組を通じて，「京都らしさ」が多様な生きものによって支えられていることを周知・啓発するために活用していくことを想定している。

### (2) 調査内容

#### ア 「京都らしさ」を支える生物資源のリスト化

京都市発行物等の文献調査により作成した「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）について，文献調査（インターネットや資料館・図書館などにある書籍，官公庁発行物等）及びアンケート調査結果（食品，工芸品に関する事業者等）により，リストの「構成要素」，「構成要素（細目）」，「主な生物資源」の内容を充実（追加，整理）させる。

また，以下の情報についても整理し，リストに情報を追加する。

- ・ 種別（動物，植物，菌類）
- ・ 取得方法（栽培，飼育，野生採取，狩猟など）
- ・ 環境区分（森林，草地，水田耕作地，水辺）
- ・ 調達元（市内，府内，国内，国外）
- ・ 入手の容易さ（容易，困難，やや困難，不明）

#### イ 「京都らしさ」を支える生物資源の持続可能性に関する調査

##### (ア) 入手困難となっている生物資源の情報収集

「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）各区分のうち，「祭事・伝統行事」，「食」，「工芸品」，「建築」，「造園」を対象に，研究者や事業者，業界団体，シンクタンク等（以下「業界団体等」という。）から，入手困難となっている生物資源とその原因，過去及び現在の生物資源の調達先等，「京都らしさ」を支える生物資源の情報を聴取する。

##### (イ) 生物資源の詳細な状況調査

今後の生物資源の保全・回復の取組につながるよう，「京都らしさ」を支え，かつ，入手困難となっている生物資源のうち，特に重要と考えられる生物種について，文献調査，ヒアリング調査及び現地調査により，持続可能性に関する課題の詳細な状況調査を行う。

調査結果を踏まえ，特に重要と考えられる生物資源の持続可能性に関する課題について，評価・分析を行い，資料に取りまとめ，「京都らしさ」の代表的な構成要素のカルテを作成する。また，収集した情報を基に，「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）を

更新する。

なお、特に重要と考えられる生物資源は、イ（7）の情報収集の結果を基に決定する。

**ウ 調査業務受託者**

株式会社アドプランツコーポレーション

**エ 調査期間**

令和3年11月10日～令和4年3月31日

(3) 調査フロー

調査フローは次のとおりである。

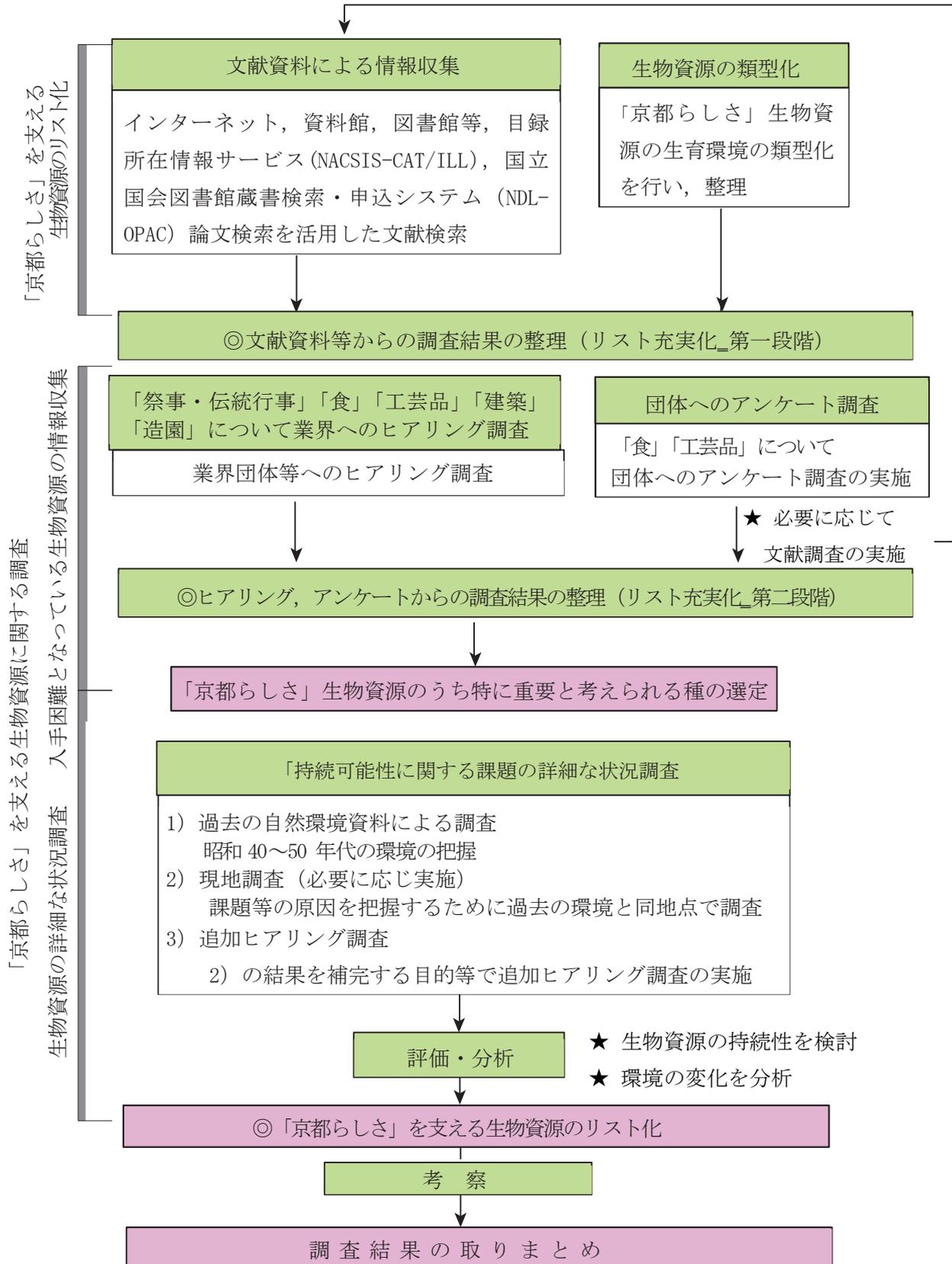


図 1-1 調査フロー

## 2 文献調査、ヒアリング調査及びアンケート調査

### (1) 文献調査

「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）の「構成要素」、「構成要素（細目）」、「主な生物資源」の内容の充実化を図ることを目的として、文献資料（インターネットや資料館・図書館等にある書籍、官公庁発行物等）による調査を行った。

また、後述するヒアリング調査からも様々な文献情報を得ることができたため、当該情報を踏まえて、改めて文献資料を調査した結果も含め、整理した内容をリストに反映した。

調査した文献資料は表 2-1 のとおりである。

表 2-1 収集文献一覧（その1）

書名/論文名	著者名/編集者	出版者/掲載誌名・ 号数/参照頁	出版年	区 分												
				祭 事 ・ 伝 統 行 事	食	染 織	工 芸 品	建 築	造 園	薫 香	茶 道	華 道	伝 統 芸 能	景 観	その他	
京都の美と魅力：歴史と文化を訪ねて（ブルーガイドカラー新書；1）	吉田 光邦, 浅野 喜市	実業之日本社/p. 26-32, 42-47, 122-133	1968	○												自然
京の年中行事・芸能のしおり	京都市文化観光局文化財保護課	京都市文化観光資源保護財団/p. 2-24	1971	○										○		
京都の民俗芸能	京都府教育委員会	大文字書林	1975	○										○		
やすい花調査報告書	芸能史研究会	やすい踊保存団体連合会	1977	○												やすい踊
京都歳時記	宗政 五十緒, 森谷尅久	株式会社淡交社/p. 8-10, 44-46, 62-66, 82-86, 114-119, 150, 168-172, 196-199, 222-225, 242-244, 272-275, 296-298	1986	○												をけら祭
京都の民俗誌 第五章 伝統の手仕事	福田 栄治	文化出版局/p. 114-136, 154-173	1987	○	○		○					○				植物
晩夏を彩る火の祭典, 松上げ	京都市広報課	京都市広報課/市民のグラフきょうと no57 (秋号) 花背の里 /p. 12-13	1988	○												花背
京都の歴史を足元からさぐる 北野・紫野・洛中の巻	森 浩一	学生社	2008	○												ずいき祭
今宮祭のいま 一剣鉾と西陣の町々	立命館大学文学部	立命館大学文学部	2009	○												今宮祭
賀茂別雷神社における神饌に用いられる生物資源と供給形態	那須 将, 深町 加津枝, 森本 幸裕	ランドスケープ研究 74(5)	2011	○												神饌
京都を学ぶ 洛北編 文化資源を発掘する	深町 加津枝, 藤本 仁文, 鈴木 久男, 中村 治, 金田 章裕, 横内 裕人, 阿部 健一, 齊藤 準他/京都学研究会	ナカニシヤ出版/p. 28-31, 52-87, 76-87, 122-139, 142-145, 200-217	2016	○											○	植物, 竹
民俗文化の伝播と変容	植木行宣・樋口昭	岩田書院/p. 549-587	2017	○												民俗
維新勤王 山國隊	花園大学, 松田 隆行	京都市右京区役所京北出張所	2018	○												

表 2-1 収集文献一覧（その2）

書名/論文名	著者名/編集者	出版者/掲載誌名・ 号数/参照頁	出版年	区 分													
				祭 事 ・ 伝 統 行 事	食	染 織	工 芸 品	建 築	造 園	薫 香	茶 道	華 道	伝 統 芸 能	景 観	その他		
京都府におけるササ資源の持続的利用に関する研究	東口 涼	京都大学博士論文（学位授与番号： 甲第 21142 号）	2018	○	○												チマキザサ
京都の祭り・行事—ふるさとの伝統行事を訪ねる—	京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会	京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会	2019	○													
京都の祭り・行事—京都市と府下の諸行事—	京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会	京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会	2020	○													
京都を学ぶ 洛西編 文化資源を発掘する	吉田 裕三 他/京都学研究会	ナカニシヤ出版/p. 50-71	2020	○													植物
京都の祭り・行事—京都市と府下の諸行事 2—	京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会	京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会	2021	○													
小塩上松保存会	小塩上松保存会資料	小塩上松保存会資料	不詳	○													保存会
和菓子の京都	川端 道喜	岩波新書/p. 30-53	1990		○							○					和菓子
近畿地方における神社の神饌にみる食材の特色	丸山悦子	日本調理科学会誌 32 (4) /p. 352-359	1999		○												神饌
京料理の品格 おもてなしの気くばりこだわり	朝尾朋樹	角川学芸出版/p. 6-8, 23-25, 102-103, 110, 115, 135, 237	2011		○												
川魚や酒と出会って川酒菜 其の三	京の川の恵みを活かす会	川魚文化再興プロジェクト	2018		○											○	
川魚 とるふやすたべる	京の川の恵みを活かす会	先進的内水面漁場管理推進事業	不詳		○											○	
竹の研究	竹内 叔雄	養賢堂/p. 244-283	1932				○		○							○	竹
京の竹工芸（伝統産業シリーズ；no.2）	京都府染色工芸課	京都府	1981				○										竹
令和の職人譜文化財修理の道具と材料	京都歴史文化施設クラスター実行委員会	京都文化博物館	2019				○										
京町家改修技能者マニュアル 平成 19 年度版	京都府建築工業協同組合	京都府建築工業協同組合	2001					○								○	
京の生活(くらし) (立命館大学京都文化講座「京都に学ぶ」；4)	立命館大学文学部京都文化講座委員会 企画・編集	白川書院/p. 72-79, 94-111	2009					○								○	スギ
京都市式實地竹林栽培法	神田 菊之助	神田 菊之助	1915						○							○	竹
はげ山の研究 第八節 近畿低地の事例	千葉 徳爾	農林協会/p. 112-117	1956													○	アカマツ
比叡山 その自然と人文	北村 四郎, 景山 春樹, 藤岡 謙六	京都新聞社	1961													○	植物

表 2-1 収集文献一覧（その3）

書名/論文名	著者名/編集者	出版者/掲載誌名・ 号数/参照頁	出版年	区 分												
				祭 事 ・ 伝 統 行 事	食	染 織	工 芸 品	建 築	造 園	薫 香	茶 道	華 道	伝 統 芸 能	景 観	そ の 他	
京都 乙訓の里	岸 哲男, 山本 建三	京都乙訓ライオンズクラブ 京都乙訓の里編集委員会	1968												○	竹
日本の重要な植物群落（近畿版）	環境庁	大蔵省印刷局 /p. 38-41, 90-103, 108-111	1980												○	植物
深泥池の自然と人 深泥池学術調査報告書/深泥池の水質と水生植物	深泥池学術調査団（角野 康郎）	京都市文化観光局文化財保護課	1981												○	深泥池
日本植生誌 [5]（近畿）	宮脇 昭	至文堂	1984												○	植物
近畿地方の現存植生図	宮脇 昭, 奥田 重俊	至文堂	1984												○	植物
近畿地方の生態学的に重要な植物群落および自然公園の位置図	宮脇 昭, 奥田 重俊, 藤原 一絵, 鈴木 邦雄, 大野 啓一, 中村 幸人, 村上 雄秀	至文堂	1984												○	植物
第3回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書（京都府）	環境庁	環境庁/p. 56-61, 64-67	1988												○	植物
八丁平湿原保全観測調査報告書	京都市産業観光局農林部林業振興課	京都市産業観光局農林部林業振興課 /p. 29-53, 74-104	1995												○	八丁平
棚田畦畔の構造および草刈りの差異が北部群落に及ぼす影響	飯山 直樹, 鎌田 磨人, 中川 恵美子, 中越 信和	ランドスケープ研究 65(5) /p. 579-584	2002												○	草地環境
日本の半自然草地における生物多様性研究の現状	大窪 久美子	日本草地学会誌 48 (3)	2002												○	草地環境
京都市市街地北部森林のマツ枯れに伴う林相変化	森下 和路, 安藤 信	森林研究 74/p. 35-45	2002												○	アカマツ
深泥池の自然と暮らし -生態系管理をめざして-	深泥池七人会編集部会(川那部 浩哉, 竹門 康弘, 田端 英雄, 藤田 昇, 遠藤 彰, 小椋 純一, 村上 興正)	サンライズ出版/p. 92-93, 130-139, 142-143, 176-177	2008												○	深泥池
京都市のマツ枯れ被害林における10年間の林分動態	呉 初平, 安藤 信	日本緑化工学会誌 / 日本緑化工学会 [編] 35(3) 2010.2 p. 440~447	2010												○	アカマツ
ニホンジカ高密度生息域のススキ草原における草原植物種多様性の低下	橋本 佳延, 栃本 大介, 黒田 有寿茂, 田村 和也, 福井 聡	日本緑化工学会誌 39 (3) /p. 395-399	2014												○	生物多様性

表 2-1 収集文献一覧（その4）

書名/論文名	著者名/編集者	出版者/掲載誌名・ 号数/参照頁	出版年	区 分												
				祭 事 ・ 伝 統 行 事	食	染 織	工 芸 品	建 築	造 園	薫 香	茶 道	華 道	伝 統 芸 能	景 観	その他	
京都市久我水路における魚類群集	田中 和大, 川瀬 成吾, 須藤 允之, 辻 晃一, 細谷 和海	地域自然史と保全 37 (3) /p. 35- 45	2015												○	
八丁平植生継続調査報告書	京都市産業観光局農林部林業振興課	京都市産業観光局農林部林業振興課	2016												○	八丁平
草刈り時期が半自然草地性絶滅危惧植物の遺伝的 多様性と繁殖成功に影響する（要旨：半自然草地 性絶滅危惧植物の保全に好適な草刈り時期を解明 —開花結実期の草刈りが繁殖と遺伝的多様性を低 下させる—）	中濱 直之, 内田 圭, 丑丸 敦史, 井鷲 裕司	Agriculture, Ecosystems and Environment10	2016												○	草地環境
低山地山頂部の半自然草地における草原生植物の 生育状況	佐久間 智子, 白川 勝信, 中越 和信	保全生態学研究 22 /p. 289-298	2017												○	草地環境
京都の文化的景観調査報告書	京都市	京都市	2020												○	
京都府内水面漁業振興計画	京都府	京都府	2021												○	
京都市久我水路における魚類群集	田中 和大, 川瀬 成吾, 須藤 允之, 辻 晃一, 細谷 和海	地域自然史と保全 37 (3) /p. 35- 45	2015												○	

## (2) ヒアリング調査

## ア 調査方法

「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）の各区分のうち、「祭事・伝統行事」、「食」、「工芸品」、「建築」、「造園」を対象として業界団体等にヒアリング調査を行った。調査期間は11月～1月末である。

ヒアリング調査は、図 2-1 のヒアリングシートに関する項目について、電話及び面談により行った。

ヒアリング調査の対象は、祭事・伝統行事については祭事・伝統行事を主催する団体等、食、工芸品、建築、造園については業界団体等とした。各区分のヒアリング件数は表 2-2 のとおりである。

		No	
ヒアリング先：	名称		
	所在地		
	連絡先（担当者）		
実施日	2021/		
ジャンル	祭事・伝統行事・工芸品・食・染織・建築 造園・薫香・茶道・花道・伝統芸能・景観		
構成要素			
生物資源			
ヒアリング結果			
1) 取得方法			
2) 調達元            市内    府内    国内    国外			
3) 入手の困難さ			
容易    やや困難    困難    不明			
4) その他			

図 2-1 ヒアリングシート（ヒアリング内容）

表 2-2 構成要素別ヒアリング件数

構成要素	ヒアリング件数
祭事・伝統行事	31
食	18
工芸品	10
建築	11
造園	4

## イ 調査結果

ヒアリング調査結果の概要は、表 2-3 及び表 2-4 のとおりである。

表 2-3 ヒアリング調査結果の概要(聴取した事項)(その1)

区分	結果概要(聴取した事項)	
祭事・伝統行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、購入により入手できているが、提供いただける農家は減少している。</li> <li>・藁<small>わら</small>はコンバインで刈り取る中、使う分だけ手刈りしてもらっているが、将来的にはわざわざ対応して下さる方がいなくなる可能性がある。</li> <li>・担い手不足と管理不足から採取地が少なくなり、良質のマツが入手できない。</li> <li>・かつては入手困難な生物資源があったが、保全再生活動により比較的容易に入手できるようになった。</li> <li>・維持管理不足から遮蔽木が多く、送り火が見えにくくなっている。</li> <li>・河川改修の影響から自生地が減少しており、また、規制強化の影響も受け、採取が難しくなっている。</li> <li>・生物資源それだけを守るのではなく、人が山に入って手入れをし、環境を維持することの方が大切ではないか。</li> <li>・生物資源を祭事・伝統行事のために加工する技術の継承が困難な状況である。</li> </ul>	
食	京料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足に起因する管理不足の影響により、市内でも、府内でも、国内でも、良質のものを入手するのが難しくなっている。</li> <li>・アユなどを含む川魚は、水田や水路を含めた水系の生育環境を改善することが生物資源の回帰につながると考えられる。</li> <li>・京料理とは主に技巧のことを指す。食材は様々な産地を利用しているが、米は市内産を利用してきた。</li> <li>・クヌギなどの炭も流通していない。木を切ることが環境保全として重要であることの啓発が必要。</li> </ul>
	酒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風、病害虫により収穫が安定しにくくなった。</li> </ul>
	漬物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産の野菜を使用していたが、現在は栽培する農家がない。</li> </ul>
工芸品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元々他府県から材料を入手している。</li> <li>・元々外国産を使用してきたが、国産のものを使用する風潮から府内産原料も使用している。</li> <li>・現在は職人がいるが、良質の材を生産する技術の継承が課題である。</li> <li>・夏暑く冬は寒い京都市の特性から、市内産の竹の材質は緻密で他府県にはない価値があるが、竹切、加工できる技術と人材が不足している。</li> <li>・かつてはマダケを使用していたが、採取ができなくなったことからモウソウチクを利用している。良質のモウソウチクも現在は採取困難なため、他県から購入している。</li> </ul>	

表 2-3 ヒアリング調査結果の概要（聴取した事項）（その2）

区分		結果概要（聴取した事項）
建築	伝統建築	<ul style="list-style-type: none"> <li>元々京都で採取していた建築資材の材料が減少している。</li> <li>後継者不足，雪害，台風被害，獣害（主にシカ）などにより，丸太にするための手入れの行き届いた材が減っている。</li> <li>市内産の土材が不足している。</li> </ul>
	木材（流通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>銘木として加工する技術の継承が課題である。</li> </ul>
造園	庭園	<ul style="list-style-type: none"> <li>かつては市内産の良質のアカマツを，細いものから太いものまで，目の詰まり具合など様々な個体を選べたが，今は選べないほど本数も少ない。</li> <li>宅地開発等により嵯峨などのマダケ林が減少しており，京都市内産のマダケは良質の材であったことから，希少価値が高まっている。</li> <li>市内では獣害被害や外来種の影響から，かつては普通に見られた種（キキョウなど）が今は見られなくなった。近い未来，そういった多くの種も希少種となるのではないか。</li> <li>寒冷紗などにも使っていた稲藁<sup>わら</sup>なども入手困難で，編める人もおらず，造園技術の継承も課題である。</li> </ul>

表 2-4 ヒアリング調査結果の概要（入手困難な生物資源）

区分		結果概要（入手困難な生物資源）
祭事・伝統行事		アカマツ，ヤナギ，コバノミツバツツジ，藁，フジ，マダケ，モウソウチク，チガヤ，シキミ，シノブダケ
食	京料理	アユ，マツタケ，タケノコ，イネ，イノシシ，モロコ（ホンモロコ），ニホンウナギ
工芸品		モウソウチク，マダケ，コウゾ
建築	京町家	アカマツ，藁，ヒノキ，スギ
	伝統建築	藁
	木材（流通）	タムシバ，コブシ，リョウブ，ツバキ，アカマツ，クリ
造園	庭園	アカマツ，コバノミツバツツジ，マダケ，モウソウチク，アカマツ，マツタケ，クロモジ，ハギ，キキョウ，オミナエシ，コケ，藁，ヨシ（茅葺の材料），ススキ（茅葺の材料）

### (3) アンケート調査

#### ア 調査方法

「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）の各区分のうち、「食」及び「工芸品」を対象として、業界団体等にアンケート調査を行った。

アンケートの具体的な内容は、図 2-2 及び図 2-3 のとおりである。

アンケート調査の対象は、「食」については一般社団法人京都府食品産業協会所属の団体、「工芸品」については公益財団法人京都産業 21 に関連する団体とした。

アンケート調査票

事業者名 \_\_\_\_\_

1 御社で取り扱われている工芸品に使用している生物資源（植物、動物由来の原材料等）を記載し、その生物資源の調達先について、当てはまるものにチェックしてください。（不明の場合はチェックなしで結構です。）

工芸品（名称）	使用している生物資源の名称	生物資源の調達先
【例】漆器	ウルシ（漆塗り）	<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input checked="" type="checkbox"/> 国外
	ケヤキ（木地）	<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input checked="" type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外
		<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府内 <input type="checkbox"/> 国内（府外） <input type="checkbox"/> 国外

図 2-2 アンケート調査票（表）

2 1で挙げていただいた生物資源の中で、現在、入手が難しくなっているものがあれば、名称とその理由を、教えてください。（理由が分からない場合は空欄のままで結構です。）

入手困難な生物資源の名称	入手困難となった理由
【例】○○○	生息（生育）数の減少、生産者の減少、価格の高騰など

3 御社の商品に使用している生物資源の中で、現在は京都市外から調達しているが、過去は京都市内から調達していたものがあれば、工芸品の名称と併せて教えてください。

【例】△△（工芸品）の染料に使用する○○ など

4 本調査の結果を踏まえ、今後、「京都らしさ」（伝統、文化、産業、景観等）を支えている生物資源を保全・回復する取組につなげていくことを検討しています。

つきましては、当該活動への参加募集があれば、参画したいと思いますか。また、「参画したい」と思う場合、どのような方法で参画したいですか。当てはまるものを選択してください。

(1) 生物資源の保全・回復の活動への参画

参画したい  どちらとも言えない  参画したくない

(2) 参画の方法（「その他」の場合は具体的な内容を記載してください。）

人員派遣  資金援助  技術的支援  その他（ ）

5 回答内容について、直接お話を聞かさせていただける場合は、ご所属、ご連絡先、ご担当者をご記載ください。

ご所属：  
 ご連絡先： 担当者：

ご協力ありがとうございました。

※ 記載欄が不足する場合は、適宜アンケート調査票を修正等し、記載願います。

図 2-3 アンケート調査票（裏）

## イ 調査結果

2021年12月20日～2022年2月20日に実施し、19社より回答を得た。

回答があった団体について、業種ごとに分けた件数は表 2-5 のとおりである。

表 2-5 業種別の団体数

区分	業種	団体数
食	菓子	1
	酒造	5
	漬物	5
	豆腐	7
工芸品		1

## (7) 入手困難となった理由

アンケート調査で回答があった各業種の入手困難な生物資源とその理由を表 2-6 に、過去に京都市内から調達していた生物資源を表 2-7 に示す。

入手困難な状況として、菓子製造業では生育の減少及び生産者の高齢化等が、豆腐製造業では日本人の米離れによる米ぬかの集荷量減少等が、漬物製造業では生産者の減少や価格の高騰が挙げられた。全体の傾向として、生物資源の生育・生息数の減少とともに、担い手の不足（高齢化）が原因として挙げられた。

また、過去に京都市内から調達していた生物資源としては、豆腐の材料の大豆、漬物の材料として柚子や聖護院かぶが挙げられた。

表 2-6 入手困難な生物資源とその理由

区分	業種	入手困難な生物資源	困難となった理由
食	菓子	わらび粉	生産の減少，生産者の高齢化，材料の価格高騰
	豆腐	米（米ぬか。揚げ油の原料となる。）	日本人の米離れに伴う米ぬかの集荷量減少，生産コストの上昇，物流輸送コストの上昇
	漬物	壬生菜 京こかぶ 京壬生菜	生産者の減少，材料の価格高騰

表 2-7 過去に京都市内から調達していた生物資源

区分	業種	過去に京都市内から調達していた生物資源
食	豆腐	大豆
	漬物	ゆず入り大根の柚子
		聖護院かぶ

## (イ) 調達先

アンケート調査で回答があった原材料の調達先を表 2-8～表 2-12 に示す。京都市内から調達している原材料としては、漬物製造業における京こかぶ、しそ、聖護院大根、すぐきかぶらが挙げられた。

表 2-8 原材料の調達先（工芸品製造）

原材料	京都市内	京都府内	国内	国外	小計
漆（漆塗り）	0	0	0	1	1
貝（螺鈿）	0	0	0	1	1
小計	0	0	0	2	2

(件)

表 2-9 原材料の調達先（食-菓子製造業）

原材料	京都市内	京都府内	国内	国外	小計
小豆	0	0	2	0	2
牛乳	0	0	1	0	1
小麦粉	0	0	0	2	2
砂糖	0	0	0	1	1
上用粉（うるち米）	0	0	1	0	1
卵	0	0	1	0	1
蜂蜜	0	0	0	1	1
もち粉（羽二重餅粉）	0	0	1	0	1
もち米	0	0	1	0	1
柚子ペースト	0	0	1	0	1
和三盆糖	0	0	1	0	1
小計	0	0	9	4	13

(件)

表 2-10 原材料の調達先（食-酒製造業）

原材料	京都市内	京都府内	国内	国外	小計（件）
原料米：一般米	1	5	5	0	11
酒造好適米：雄町	0	0	2	0	2
酒造好適米：北錦	0	0	2	0	2
酒造好適米：五百万石	0	2	2	0	4
酒造好適米：山田錦	0	0	3	0	3
酒造好適米：祝	0	2	0	0	2
小計	1	9	14	0	24

(件)

表 2-11 原材料の調達先（食-漬物製造業）

原材料	京都市内	京都府内	国内	国外	小計
胡瓜	0	0	1	0	1
京こかぶ	1	0	0	0	1
京たけのこ	0	1	0	0	1
京壬生菜	0	0	1	0	1
京山科なす	0	1	0	0	1
昆布	0	0	3	0	3
しそ	1	0	0	0	1
生姜	0	0	1	0	1
聖護院かぶら	0	5	2	0	7
聖護院大根	1	0	0	0	1
すぐきかぶら	1	1	0	0	2
すぐき菜	0	1	0	0	1
大黒本しめじ	0	1	0	0	1
大根	0	0	3	0	3
花菜	0	1	0	0	1
壬生菜	0	0	2	0	2
みょうが	0	0	1	0	1
柚子	0	1	1	0	2
小計	4	12	15	0	31

(件)

表 2-12 原材料の調達先（食-豆腐製造業者）

原材料	京都市内	京都府内	国内	国外	小計
大豆	0	0	11	6	17
油	0	0	2	1	3
こめ油（米ぬか）	0	1	0	0	1
菜種白絞油	0	0	0	2	2
小計	0	1	13	9	23

(件)

(ウ) 「京都らしさ」を支える生物資源を保全・回復する活動への参画

「京都らしさ」を支える生物資源を保全・回復する活動への参加意欲について、各団体の回答を図 2-4 に、具体的な参画方法についての回答を図 2-5 に示す。

保全・回復活動へ参画したい、どちらとも言えないと回答したのは 16 団体であった(図 2-4)。参画方法については、資金援助 (1)、技術支援 (3)、人員派遣 (4)、その他 (1) の回答が得られた (図 2-5)。

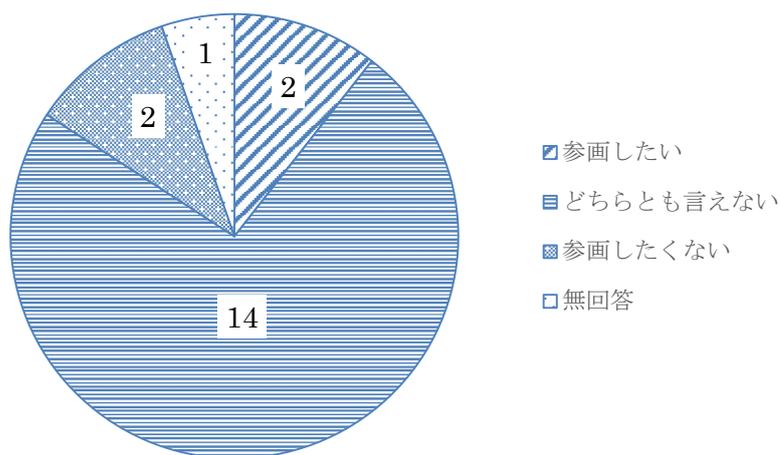


図 2-4 保全・回復活動への参加意欲

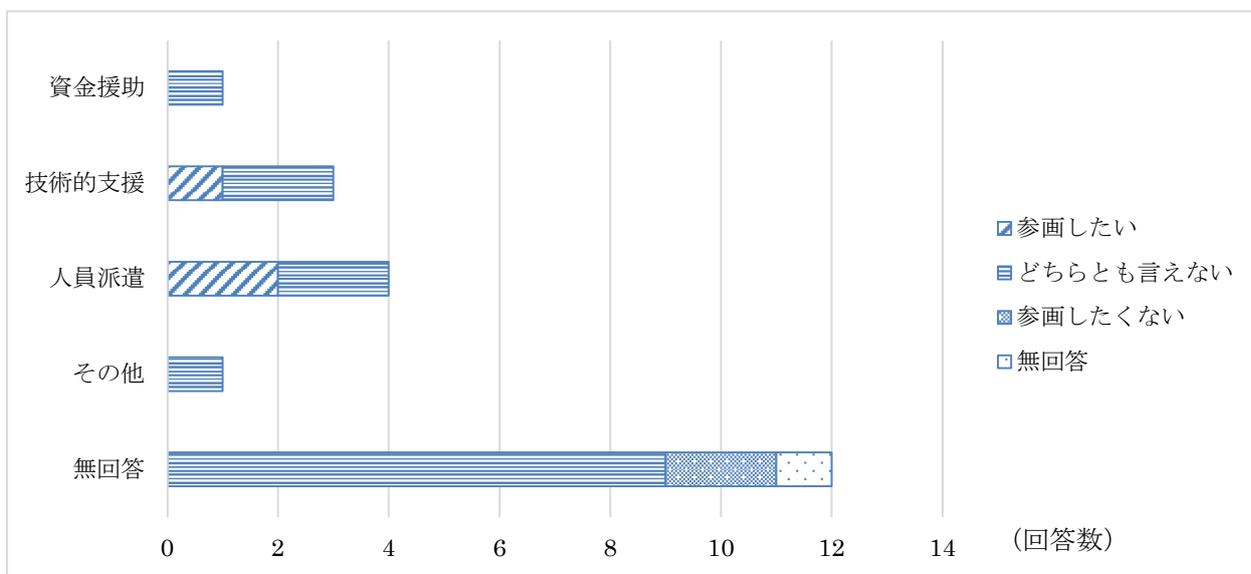


図 2-5 参画方法 (複数回答可)

#### (4) 調査結果の総括

文献調査、ヒアリング調査及びアンケート調査の結果、「京都らしさ」を支える生物資源について得られた情報を、「京都らしさ」を支える生物資源のリスト（資料編）に反映させた。

区分に共通する生物資源として、祭事・伝統行事及び建築においてマツ（アカマツ）、祭事・伝統行事、工芸品及び造園において竹（マダケ、モウソウチク）などが挙げられた。

また、食ではアカマツ林に生育するマツタケ、竹林にみられるタケノコ、川魚のアユ、アマゴ、カジカ、ヤマメ、オイカワ、ドジョウ、ナマズ、ギギ、サツキマス、カワヨシノボリ、ホンモロコなどが挙げられ、単一の資源としてでなく、森林環境、竹林環境、水辺環境等のハビタット（生息環境）単位で生物資源の利用があるという特徴が見られた。

その他の生物資源としては、イネ、藁などの情報も多く、祭事・伝統行事等がかつて利用していた資源が減少しているという情報が多かった。減少理由としては、機械化（コンバインなどによる裁断）が影響しているという情報が得られた。

一方、京都では全国から調達した生物資源をいかに価値あるものにするかという技巧技術が重要であり、「技巧技術の継承こそが課題」であるという情報が得られたことも特徴であり、生物資源の生息生育数の減少と共に、担い手不足とそれに伴う技巧技術の継承難が課題として挙げられた。

また、上記のような「京都らしさ」を支える生物資源を保全・再生する活動について、企業が参画する場合の取組方法としては、資金援助、技術支援、人員派遣等が挙げられた。

### 3 特に重要と考えられる生物種の選定

#### (1) 基本的な考え方

「2 文献調査，ヒアリング調査及びアンケート調査」で得られた結果を，次の5つの選定基準ごとに評価し，選定（ステップ1）を行った。

以降，その結果を基に，詳細調査（ステップ2），推進プロジェクトへの活用（ステップ3）を行うこととする（図3-1）。

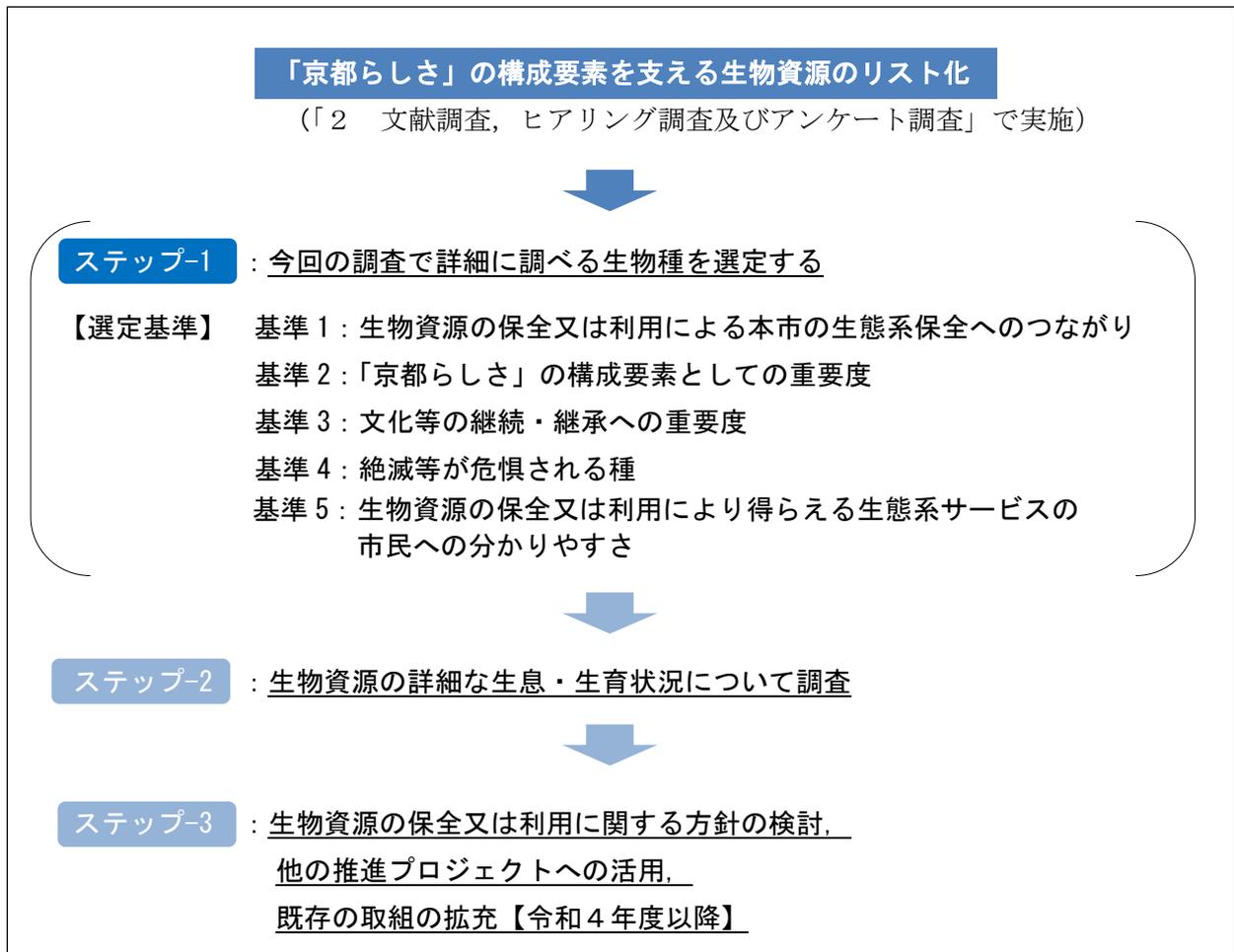


図 3-1 生物資源の調査の流れ

(2) 手順

「2 文献調査、ヒアリング調査及びアンケート調査」の結果を数値化し、評価を行った。

ア 配点

「調達先」及び「入手困難さ」について、それぞれ表 3-1 及び表 3-2 のとおり配点した。

なお、調達先については、国内からの調達を優先するために、国外からの調達は0点とした。

表 3-1 「調達先」についての評価

点数	調達先
4	市内
3	府内
2	国内
0	国外
—	不明

表 3-2 「入手困難さ」についての評価

点数	入手困難さ
3	困難
2	やや困難
1	容易

イ 数値化・評価の手順

数値化・評価の手順を図 3-2 及び図 3-3 に示す。

「京都らしさ」を支える生物資源リスト（資料編）の「主な生物資源」に挙げられている生物資源を縦軸として整理する（①の方法）。次に、「京都らしさ」の構成要素（例：祇園祭など）を横軸とし（②の方法）、選定シートを作成する。作成した選定シートに、文献調査、アンケート調査及びヒアリング調査の結果を数値化した点数を入力し、各点数及び合計値を算出（③の方法）し、以降の各選定基準において評価を行った。

主な生物資源 【調達先評価】 市内産：4 府内産：3 国内産：2 不明：—	(1) 市内産と評価した細目数	(2) 評価	(1) 選定種	(2) 選定種	構成要素（細目）																		
					②構成要素軸 → 祭事																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
					祇園祭	葵祭	時代祭	白朮祭	節分祭	節分（五條天神宮）	ひなまつり	お火焚き祭	嵐山もみじ祭	ずいき祭	松尾大社御田祭	花まつり	菖蒲神事	萩まつり	鞍馬火祭	岩倉火祭	やすらい祭	三栖の炬火祭	
竹	14	80	○	○	4		2														4		
ヒノキ	14	64	○	○	4		4					2										4	
スギ	11	56	○	○	4							2									4	4	
マツ	8	37	○	○	4																4		
薬	6	24	○	○	4						—												
ケヤキ	5	22	○	○	4																		
イネ	4	22	○	○	—							2		2									
フジ	5	20	○	○	—																4		4
クリ	4	16	○	○																			
カツラ	4	16	○	○			4																

図 3-2 数値化・評価の手順（「調達先」についての評価）

主な生物資源 【入手困難さ評価】 困難：3 やや困難：2 容易：1 不明：-	A 「困難」と「やや困難」の数	B 「やや困難」の数	(3) 選定種	構成要素（細目）																	
				② 構成要素軸 → 祭事																	
				1 祇園祭	2 葵祭	3 時代祭	4 白朮祭	5 節分祭	6 節分（五條天神宮）	7 ひなまつり	8 お火焚き祭	9 嵐山もみじ祭	10 ずいき祭	11 松尾大社御田祭	12 花まつり	13 菖蒲神事	14 萩まつり	15 鞍馬火祭	16 岩倉火祭	17 やすらい祭	18 三栖の炬火祭
① 生物資源																					
竹	2	10	12	○	1			1											1		
スギ	9	1	8	○	1					-								3	1		
マツ	9	5	4	○	3													3			
クワ	9	0	9	○																	
カイコ	9	0	9	○																	
ウルシ	8	0	8	○																	
チャノキ	6	0	6	○																	
③ 合計値																					
ヒノキ	5	0	5	○	1			1											1		

図 3-3 数値化・評価の手順（「入手困難さ」についての評価）

## (3) 選定基準ごとの評価

図 3-1 に示した 5 つの選定基準ごとに評価を行った。

## ア 生物資源の保全又は利用による本市の生態系保全へのつながり

本市の生態系保全へのつながりとして、生物資源が京都市産であるかどうかことが重要であることから、調査結果のうち、京都市産のものを評価点の高いものから順に 119 種選定した(表 3-3)。

## &lt;考え方&gt;

- ・京都市産の生物資源

## &lt;選定方法&gt;

- ・「(2) 手順」の「調達先」選定シートにおいて、市内調達 (= 4 点) がある生物資源
- ・評価点は市内調達 (= 4 点) の数とし、高い順に並べた。

## &lt;結果&gt;

119 種

表 3-3 京都市産の生物資源

生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価
竹	19	マツタケ	2	サザンカ	1	ミョウガ	1	ウラジロ	1
ヒノキ	13	スグキナ	2	ムラサキシキブ	1	ズイキ	1	山菜	1
スギ	10	コウヤマキ	1	ハギ	1	畑菜	1	千日紅	1
マツ	8	アスナロ	1	キク	1	ミズナ	1	海苔	1
イネ	6	サクラ	1	ハス(植物)	1	セリ	1	シバ	1
藁	6	モミジ・カエデ	1	キキョウ	1	シソ	1	キブシ	1
カツラ	4	ヤナギ	1	ヒガンバナ	1	ミブナ	1	ハシマメ	1
フジ	4	クヌギ	1	スイレン	1	桂うり	1	シノブダケ	1
ケヤキ	3	ブナ	1	サンシュユ	1	ササゲ	1	コカブ	1
トチ	3	イチョウ	1	シュウカイドウ	1	ジュンサイ	1	ハエ	1
キリ	3	ソヨゴ	1	ワラビ	1	イノシシ	1	モロコ	1
シキミ	3	クロモジ	1	コケ	1	カニ	1	うぐいす菜	1
ツバキ	3	サカキ	1	ヒカゲノカズラ	1	イワシ	1	エビイモ	1
ナス	3	ヒサカキ	1	笹	1	コンブ	1	ウド	1
トウガラシ	3	サンショウ	1	イグサ	1	アマゴ	1	ネギ	1
タケノコ	3	モモ	1	コムギ	1	カジカ	1	クワイ	1
アユ	3	ウメ	1	ススキ	1	オイカワ	1	ハナショウブ	1
クリ	2	ユズ	1	チガヤ	1	ニホンウナギ	1	キフネギク	1
コバノミツバツツジ	2	ミカン	1	ダイズ	1	ドジョウ	1	オミナエシ	1
ヤマツツジ・ササキツツジ	2	シャラ	1	カブ	1	ナマズ	1	モチノキ	1
カキツバタ	2	シャクナゲ	1	ゴボウ	1	ギギ	1	オモト	1
フタバアオイ	2	ボタン	1	キュウリ	1	サツキマス	1	イセナデシコ	1
ヨシ	2	サルスベリ	1	カボチャ	1	テナガエビ	1	センノウ	1
ダイコン	2	アジサイ	1	サトイモ	1	カワヨシノボリ	1		

## イ 「京都らしさ」の構成要素としての重要度

祇園祭や西陣織など、「京都らしさ」の構成要素の中で多く利用されている生物資源が「京都らしさ」を支えていくうえで重要であることから、「京都らしさ」の構成要素における利用状況について評価し、4点以上のものを126種選定した(表3-4)。

## ＜考え方＞

- ・多くの構成要素において利用されている生物資源

## ＜選定方法＞

- ・評価点は「(2) 手順」の「調達先」選定シートの合計値とし、高い順に並べた。

## ＜結果＞

4点以上のもの126種

表3-4 多くの構成要素において利用されている生物資源

生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価
竹	95	ダイズ	8	ソヨゴ	4	イグサ	4	山菜	4
ヒノキ	61	マツタケ	8	クロモジ	4	ススキ	4	千日紅	4
スギ	51	スグキナ	8	ヒサカキ	4	チガヤ	4	海苔	4
マツ	40	ウメ	7	サンショウ	4	ゴボウ	4	シバ	4
イネ	28	ユズ	7	モモ	4	カボチャ	4	キブシ	4
藁	24	カブ	7	ミカン	4	サトイモ	4	ハシマメ	4
ケヤキ	16	桂うり	7	シャラ	4	ズイキ	4	シノブダケ	4
カツラ	16	サカキ	6	シャクナゲ	4	畑菜	4	コカブ	4
フジ	16	コウゾ	6	ボタン	4	ミズナ	4	ハエ	4
ナス	15	コムギ	6	サルスベリ	4	セリ	4	モロコ	4
タケノコ	15	キュウリ	6	アジサイ	4	シソ	4	うぐいす菜	4
キリ	14	ミョウガ	6	サザンカ	4	ササゲ	4	エビイモ	4
ツバキ	14	ミブナ	6	ムラサキシキブ	4	イノシシ	4	ウド	4
クリ	13	ジュンサイ	6	ハギ	4	カニ	4	ネギ	4
トチ	12	ハマグリ	6	ウルシ	4	イワシ	4	クワイ	4
シキミ	12	カキ(貝)	6	キク	4	アマゴ	4	ハナショウブ	4
トウガラシ	12	ホタテ	6	ハス(植物)	4	カジカ	4	キフネギク	4
アユ	12	コンブ	6	キキョウ	4	オイカワ	4	オミナエシ	4
ダイコン	10	コウヤマキ	4	ヒガンバナ	4	ニホンウナギ	4	モチノキ	4
ネズミ	9	アスナロ	4	スイレン	4	ドジョウ	4	オモト	4
サクラ	8	ホオ	4	サンシュユ	4	ナマズ	4	イセナデシコ	4
コバノミツバツツジ	8	モミジ・カエデ	4	シュウカイドウ	4	ギギ	4	センノウ	4
ヤマツツジ・サツキツツジ	8	ヤナギ	4	ワラビ	4	サツキマス	4		
カキツバタ	8	クヌギ	4	コケ	4	テナガエビ	4		
フタバアオイ	8	ブナ	4	ヒカゲノカズラ	4	カワヨシノボリ	4		
ヨシ	8	イチョウ	4	笹	4	ウラジロ	4		

竹、ヒノキ、スギ、マツは、祭事・伝統行事、工芸品、建築、造園など様々な構成要素の中で利用されていたことから評価点が高くなった。これらの生物資源は、ヒアリング調査において、「京都の気候のおかげで、竹の材質は緻密で他府県産にはない価値がある（竹）」、「丸太にするための手入れの行き届いた材を使用していたが減っている（スギ、ヒノキ）」、「良質のアカマツを、太さや目の詰まり具合など様々な個体から選べた（マツ）」など、京都市産の材の質の良さが意見として挙げられている。

#### ウ 文化等の継続・継承への重要度

文化等の継続・継承には、利用している生物資源が持続的に調達できることが重要であることから、調達が困難である生物資源を66種選定した（表3-5）。

##### <考え方>

- ・ 調達が困難な生物資源

##### <選定方法>

- ・ 「(2) 手順」の「入手困難さ」選定シートにおいて、「困難」（＝3点）又は「やや困難」（＝2点）である生物資源
- ・ 評価点は「困難」と「やや困難」のそれぞれ数とし、高い順に並べた。

##### <結果>

66種

表 3-5 調達が困難な生物資源

生物資源	困難の数	やや困難の数	生物資源	困難の数	やや困難の数	生物資源	困難の数	やや困難の数
竹	13	2	ソヨゴ	1	0	ヤナギ	0	1
マツ	6	2	ヒサカキ	1	0	ハゼ	0	1
フジ	4	1	ツバキ	1	0	フタバアオイ	0	1
ネズミ	3	0	サンショウ	1	0	ヒカゲノカズラ	0	1
スギ	2	2	ハギ	1	0	藁	0	1
イネ	2	1	キキョウ	1	0	ゴボウ	0	1
タケノコ	2	1	ワラビ	1	0	カボチャ	0	1
アユ	2	1	チガヤ	1	0	ミョウガ	0	1
クリ	2	0	ヨシ	1	0	畑菜	0	1
クロモジ	2	0	コクタン	1	0	ミズナ	0	1
ユズ	2	0	シタン	1	0	スグキナ	0	1
コウゾ	2	0	キュウリ	1	0	セリ	0	1
コバノミツバツツジ	2	0	イノシシ	1	0	ササゲ	0	1
マツタケ	2	0	ヤマメ	1	0	コンブ	0	1
ジュンサイ	2	0	山菜	1	0	ニホンウナギ	0	1
ダイコン	1	1	タムシバ	1	0	ハシマメ	0	1
カブ	1	1	コブシ	1	0	シノブダケ	0	1
ナス	1	1	リョウブ	1	0	うぐいす菜	0	1
トウガラシ	1	1	オミナエシ	1	0	エビイモ	0	1
ミズナ	1	1	シキミ	0	2	ウド	0	1
桂うり	1	1	ヒノキ	0	1	ネギ	0	1
クヌギ	1	0	コウヤマキ	0	1	クワイ	0	1

「イ「京都らしさ」の構成要素としての重要度」と同様に、竹、マツが上位となった。

フジは、ヒアリング調査において、祭事・伝統行事などにおいてイネ、藁<sup>わら</sup>などを結束する材料として使っていたが、山でフジを見かけにくくなったという意見が挙げられている。

また、上位の生物資源において、マツ、コバノミツバツツジ及びマツタケ並びに竹及びタケノコなど、同じハビタット（生育環境）に生育している種が見られた。

## エ 絶滅等が危惧される種

市内における保全が必要な種を選定するうえで、絶滅等が危惧される種であるかどうかは重要であることから、「京都らしさ」を支える生物資源リスト（資料編）の「主な生物資源」に挙げられている生物資源のうち、絶滅等が危惧される種を5種選定した（表3-6）。

### <考え方>

- ・絶滅等が危惧される種

### <選定方法>

- ・京都府レッドデータブック 2015年版（以下「京都府RDB」という。）、近畿レッドデータブック 2001年版（以下「近畿RDB」という。）で絶滅寸前種、絶滅危惧種、準絶滅危惧種に選定されており、市内での分布が確認されている種

### <結果>

5種（キキョウ、オケラ、サツキ、カキツバタ、マツタケ）

表3-6 絶滅等が危惧される種

生物資源	京都府 RDB 2015年版	近畿 RDB 2001年版	(参考) 環境省レッド リスト 2020年版	市内 分布
キキョウ	絶滅寸前種	絶滅危惧種 C	絶滅危惧 II 類 (VU)	○
ムラサキ	絶滅寸前種	絶滅危惧種 A	絶滅危惧 I B 類 (EN)	
オケラ	絶滅危惧種	絶滅危惧種 C		○
サツキ (サツキツツジ)	絶滅危惧種			○
カキツバタ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種 C	準絶滅危惧 (NT)	○
マツタケ	準絶滅危惧種		準絶滅危惧 (NT)	○
カシワ	準絶滅危惧種			
ホンモロコ	要注目種		絶滅危惧 I A 類 (CR)	
ハス (魚)	要注目種		絶滅危惧 II 類 (VU)	
イサザ			絶滅危惧 I A 類 (CR)	
ニホンウナギ			絶滅危惧 I B 類 (EN)	
スゴモロコ			絶滅危惧 II 類 (VU)	
アマゴ			準絶滅危惧 (NT)	
ヤマメ			準絶滅危惧 (NT)	
サツキマス			準絶滅危惧 (NT)	
サクラマス			準絶滅危惧 (NT)	
ビワマス			準絶滅危惧 (NT)	
ビワヨシノボリ			情報不足 (DD)	

表3-6のうち、京都府RDB及び近畿RDBに挙がっている種について、「近畿地方植物誌」などにおいて、市内分布が確認されたキキョウ、オケラ、サツキ（サツキツツジ）、カキツバタ、マツタケの5種を選定した<sup>1,2)</sup>。

## オ 生物資源の保全又は利用により得られる生態系サービスの市民への分かりやすさ

「京都らしさ」を支えている生物資源のうち、保全や利用により得られる生態系サービスが市民に分かりやすいことが重要であることから、身近な衣・食・住に関わるものの中で、より認識しやすく、つながりが分かりやすい「食」に関わる生物資源を74種選定した（表3-7）。

### <考え方>

- ・市民への分かりやすさとして、「食」に関わる生物資源

### <選定方法>

- ・選定基準1～4で選定された種のうち、「京都らしさ」を支える生物資源リスト（資料編）における「食」の区分に該当する種
- ・評価点は各区分における構成要素において挙がっている数とし、高い順に並べた。

### <結果>

74種

表3-7 食に関わる身近な生物資源

生物資源	評価	生物資源	評価	生物資源	評価
イネ	17	スグキナ	2	カジカ	1
ダイズ	12	セリ	2	ヤマメ	1
ダイコン	8	ミズナ	2	オイカワ	1
ナス	6	桂うり	2	ニホンウナギ	1
タケノコ	5	ササゲ	2	ドジョウ	1
コムギ	4	ジュンサイ	2	ナマズ	1
カボチャ	4	ハマグリ	2	ギギ	1
サンショウ	3	クリ	1	サツキマス	1
ゴボウ	3	サクラ	1	テナガエビ	1
トウガラシ	3	ヤナギ	1	カワヨシノボリ	1
サトイモ	3	ブナ	1	サクラマス	1
ショウガ	3	イチョウ	1	ウグイ	1
イワシ	3	ツバキ	1	ウラジロ	1
コンブ	3	ウメ	1	山菜	1
アユ	3	ミカン	1	コカブ	1
ユズ	2	キキョウ	1	ハエ	1
藁	2	竹	1	モロコ	1
ヨシ	2	笹	1	ゴリ	1
カブ	2	ナノハナ	1	うぐいす菜	1
キュウリ	2	シソ	1	エビイモ	1
ミョウガ	2	イノシシ	1	ウド	1
マツタケ	2	カニ	1	ネギ	1
ズイキ	2	エビ	1	クワイ	1
畑菜	2	カキ（貝）	1	オミナエシ	1
ミズナ	2	アマゴ	1		

#### (4) 特に重要と考えられる生物種の選定

5つの選定基準を基に、「特に重要と考えられる生物種」の選定を行った。選定においては、選定基準1～5に基づき総合的に評価した。

まず、選定基準1～5の全てで選定された種は、特に重要であることから、「特に重要と考えられる生物種」として選定した。この条件に該当する種は、キキョウとマツタケであった。

次に、各選定基準で評価点が高いものから順に「特に重要と考えられる生物種」を選定した。選定基準1, 2, 3, 5に挙げられている種の中で、評価点が高い順に候補種を並べた(表 3-8)。本調査の目的である、今後の生物資源の保全・回復につなげるためには、入手困難であること、市民が分かりやすいこと及び保全・回復が必要であることが特に重要であるため、入手困難さに係る選定基準3, 市民への分かりやすさに係る選定基準5並びに保全・回復の必要性に係る選定基準2及び1の順に、評価点が高いものから順に並べた。この結果、評価点が高い種は、上位から順に、竹、マツ、フジ、スギ、イネ、タケノコ、アユ及びマツタケとなった。

ここで、フジは<sup>ツクシ</sup>蔦切など森林管理の際に減少する種であること、スギは主に人工林であること、イネは栽培種であることから、本調査の目的である今後の生物資源の保全・回復の取組につなげることに適さないため、今回の選定からは外すこととした。

以上から、キキョウ、マツタケ、竹、マツ、タケノコ及びアユの6種を「特に重要と考えられる生物種」として選定し、以降で詳細調査を実施した。

表 3-8 選定結果

生物資源	選定基準ごとの評価					
	1	2	3		4	5
			困難	やや困難		
竹	19	95	13	2		1
マツ	8	40	6	2		
フジ	4	16	4	1		
スギ	10	51	2	2		
イネ	6	28	2	1		17
タケノコ	3	15	2	1		5
アユ	3	12	2	1		3
マツタケ	2	8	2		○	2
ユズ	1	7	2			2
ジュンサイ	1	6	2			2
クリ	2	13	2			1
コバノミツバツツジ	2	8	2			
クロモジ	1	4	2			
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
キキョウ	1	4	1		○	1
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・

※ 水色：選定基準 1～5 全てに該当する種

紫色：評価点が総合的に高い種

**【3章の引用・参考文献】**

- 1 村田源（2004）近畿地方植物誌，特定非営利活動法人大阪自然史センター
- 2 藤掛進他（2018）川魚や酒と出会って川酒菜 其の三，川魚文化再興プロジェクト 京の川の恵みを活かす会

## 4 特に重要と考えられる生物種の詳細な状況調査

「3 特に重要と考えられる生物種の選定」において選定した、特に重要と考えられる生物種であるマツ（アカマツ）、マツタケ、竹（マダケ、モウソウチク）、タケノコ、キキョウ、アユについて、詳細調査を行った。

### (1) 詳細調査の方法

京都市又は京都府下における対象種の生態及びそのハビタット（生育環境）に関する文献や資料を収集し、面積、個体数、生産量、出荷量等から分布量の推移を、ハビタット（生育環境）の種組成の変化から質の推移を調査した。

本調査では、特に重要と考えられる生物種の分布量と質の経年変化を把握する基礎資料として、自然環境保全基礎調査の報告書を使用した。自然環境保全基礎調査は、全国的な観点から我が国における自然環境の現況及び改変状況を把握し、自然環境保全の施策を推進するための基礎資料を整備するために、環境省が昭和48年度より自然環境保全法第4条に基づき概ね5年ごとに実施している調査<sup>1</sup>である。

### (2) 詳細調査の結果

#### ア マツ（アカマツ）

##### (ア) アカマツの生態とアカマツ林の分布

「日本の野生植物」によると、アカマツは、常緑の高木で、大きいものは樹高約30m、直径約1.5mになる。北海道（南部）・本州・四国・九州（屋久島まで）、朝鮮半島・中国東北に分布する。山麓から高所（標高2000m内外）まで生え、乾燥したやせ地に対する適応性が強いので、乱伐された地域にもよく生育する。材はクロマツに比べてやや軽軟であるが、材質が良いので建築、土木、船舶、家具、器具など広い用途がある。また庭木・盆栽用として多くの園芸品種がある<sup>2</sup>。

自然環境保全基礎調査において、アカマツを含む群落はヒメコマツーアカマツ群落、ミヤマキリシマーアカマツ群集、アカマツ群落、コバノミツバツツジーアカマツ群集、オンツツジーアカマツ群集、ヤマツツジーアカマツ群集、ユキグニミツバツツジーアカマツ群集、モチツツジーアカマツ群集、アカガシーアカマツ群落、ネズーアカマツ群集、ウバメガシーアカマツ群落、アカマツ植林がある<sup>1</sup>。京都市内に分布するアカマツを含む群落を表4-1に示す。

表 4-1 アカマツ京都市内のアカマツを含む植生の概要

植生区分	概要
アカマツ群落	ヤブツバキクラス域における丘陵地、低山地の斜面上部に広く分布し、アカマツが優占する二次林。群落内にはツツジ科の植物が多い。伐採跡地や山火事跡地に先駆的に形成されるが、アカマツ植林から二次的に広がったものも多い。尾根部の土壌の浅い乾性の立地でよく発達し持続群落となるが、斜面下部では落葉広葉樹二次林や常緑広葉樹二次林に移行する。花崗岩地等でよく発達した二次林では自然林（大区分29）との区別が困難になるが、立地により区分する。第2回～第5回植生調査では、福島県から鹿児島県まで21府県で記載されている。林床に生育するツツジ類によってヤマツツジ-アカマツ群集（本州に分布）、モチツツジ-アカマツ群集（近畿、中国に分布）、コバノミツバツツジ-アカマツ群集（中国、四国の花崗岩乾性立地に分布）、ユキグニミツバツツジ-アカマツ群集（本州日本海側に分布）、オンツツジ-アカマツ群集（近畿南部、四国、九州に分布）等の細区分に分けられている。2000～2020年度の調査で、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄ブロックの整備地域で確認された。
モチツツジ-アカマツ群集	太平洋側のヤブツバキクラス域からブナクラス域にかけて、低地の乾性立地に成立する常緑針葉樹二次林。花崗岩地等の乾性で貧養な立地にみられる。アカマツが優占し、低木層にモチツツジが出現する。本州の中部地方南東部から中国地方東部、四国地方東部に分布する。中部、近畿のヤマツツジ-アカマツ群集と分布域が重なるところでは、モチツツジ-アカマツ群集で代表させて表示する。また、発達した群落は自然林との区別が困難になるため、立地によって区別する。第2回～第5回植生調査では岐阜県から兵庫県までの1府8県で記載されている。2000～2020年度の調査で、北陸、中部、近畿ブロックの整備地域で確認された。
ユキグニミツバツツジ-アカマツ群集	日本海側のヤブツバキクラス域からブナクラス域にかけて、低地の乾性立地に成立する常緑針葉樹二次林。アカマツが優占し、低木層にユキグニミツバツツジが出現することで特徴づけられる。ユキグニミツバツツジ、ヒメアオキ、ツルアリドウシで区分される。北陸、近畿、中国地方東部の日本海側に分布する。第2回～第5回植生調査ではサイゴクミツバツツジ-アカマツ群集として兵庫県で記載されている。2000～2020年度の調査で、北陸、中部、近畿ブロックの整備地域で確認された。
ネズ-アカマツ群落	瀬戸内海沿岸で、花崗岩基盤地等の乾燥しやすい立地に成立する常緑針葉樹の二次林。アカマツが優占する低木～小高木林で、ネズが混生する。草本層は未発達で地衣類のみがまばらに生育するパッチが混在する林分や、コシダ、ウラジロが優占する林分が多い。乾性で貧栄養な立地の土地的極相も含まれる。2000～2020年度の調査で、近畿、中国・四国ブロックの整備地域で確認された。

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、植生調査、統一凡例（大・中・細区分一覧表）

植生区分：VII ヤブツバキクラス域代償植生 (<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-017.html?1st=42>)

自然環境保全基礎調査において、京都市内におけるアカマツを含む群落の面積について、第2-3回調査結果（1981-1989年）と第6-7回調査結果（2000-2020年）で比較したグラフを図4-1に示す。行政区ごとに比較すると、全体的に減少しているが、元々アカマツ林の面積が大きかった北区、左京区及び右京区における減少が顕著である。また、市内全域におけるアカマツ林の分布を図4-2及び図4-3に示す。アカマツ林の分布は、20,317haから11,276haへほぼ半減していることが分かる。

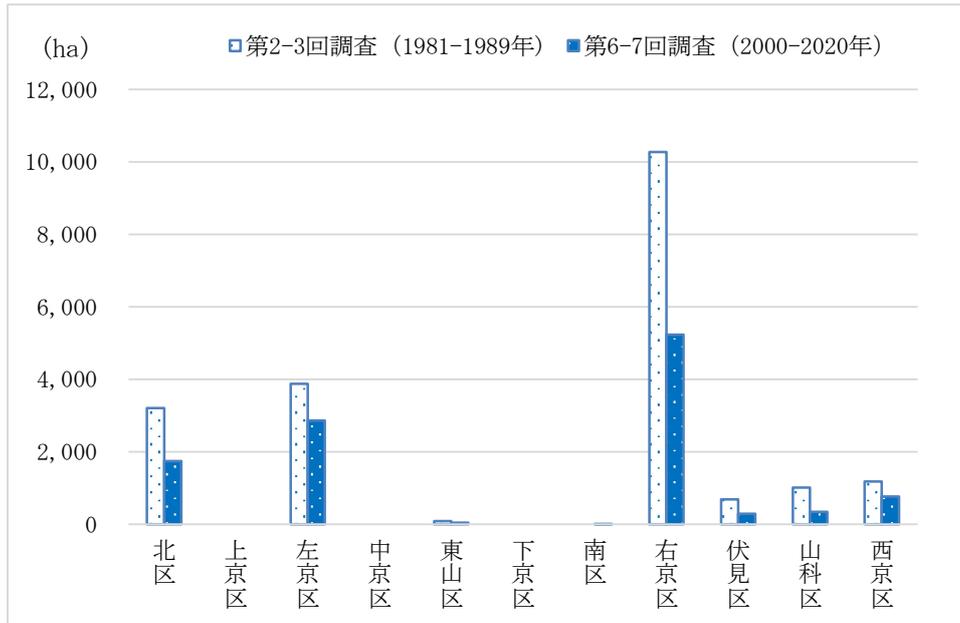


図 4-1 京都市内のアカマツ林の面積 (ha)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター，「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」及び「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し，作成。

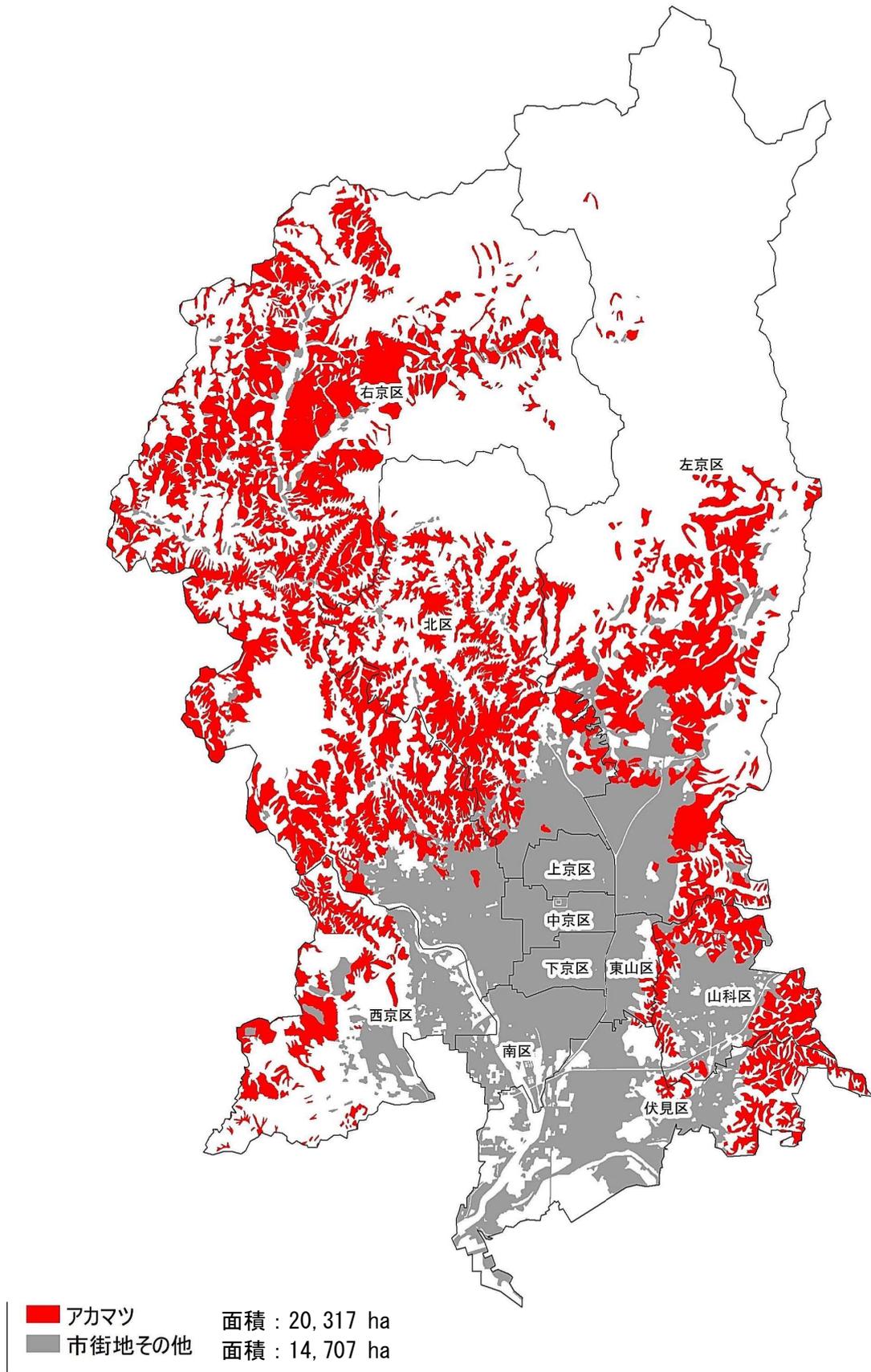


図 4-2 アカマツ林の分布 第 2-3 回調査 (1981-1989 年)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し、作成。

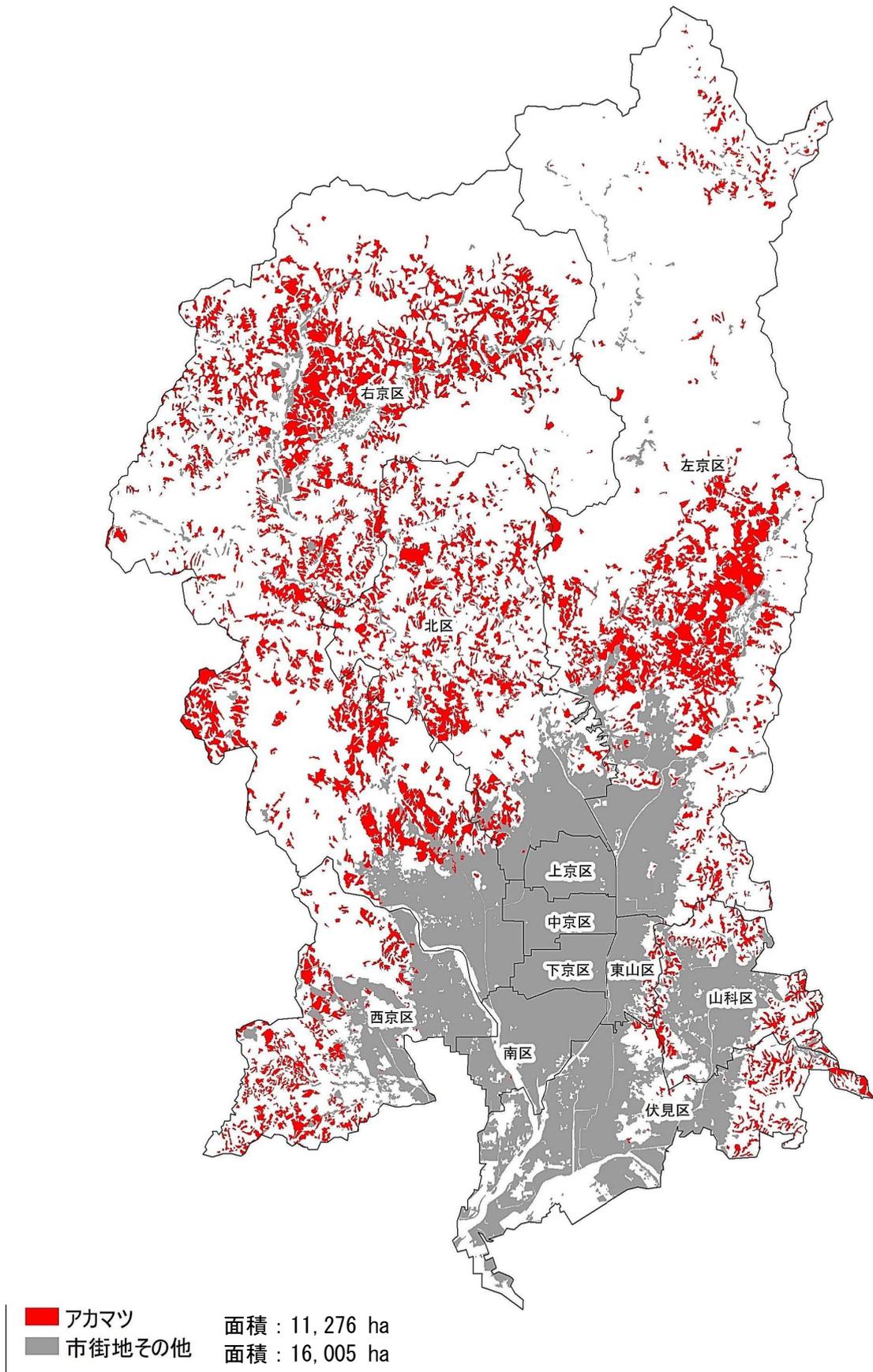


図 4-3 アカマツ林の分布 第 6-7 回調査 (2000-2020 年)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し，作成。

### (イ) 種組成の推移

「日本植生誌 [5] (近畿)」によると、京都府下に最も広く分布するアカマツ林は、コバノミツバツツジ-アカマツ群集である。本群落は高木層には通常アカマツが優占し、亜高木層にタムシバ、コナラ、コシアブラ、リョウブ、タカノツメ、ヤマウルシ、ソヨゴ等が生育している。低木層にはコバノミツバツツジ、ネジキ、ナツハゼ、ウスギヨウラク、スノキなどのツツジ科低木やヤマウルシ、リョウブ、タカノツメ、コシアブラ、クロモジ、コナラ、ウリカエデ等の落葉広葉樹が生育している。また、ヒサカキ、ヤブツバキ、ヒイラギ、シロダモ等の常緑広葉樹が生育している。草本層にはアクシバ、コナラの実生、ツルリンドウ、コウヤボウキ等が多く、また、ススキ、ネザサ、ワラビ、ツルアリドオシ、ミヤマシキミ、シユンラン、サルトリイバラ、シシガシラ等が生育する。また、古生層や花崗岩上の赤褐色-黄褐色の緻密な貧栄養未熟土の発達した斜面を中心に分布するアカマツ林では、裸地ができるとアカマツの実生が多数生え、アカマツの一斉林が成立する。このようなアカマツ林では、昔は、アカマツは伐採して燃料用の割木として、またそのまま丸太として坑木などに用いられた。林床のネジキ、コバノミツバツツジなどの低木は刈り取られて枝柴として燃料に用いられた。また、マツタケの産地ともなっていた。しかし戦後、このような利用がなくなり、山の手入れを行わなくなったことで、林床に低木が茂り、遷移が進行してマツタケも出なくなった。コナラ、コシアブラ、ヤマザクラ、ナナミノキ、ヤマナラシ等が高木層に混生し、亜高木層にはソヨゴ、カマツカ、カナメモチ、イヌザンショウ、マルバアオダモ、ムラサキシキブ、ネズミモチ、クロバイ、リョウブ、ヤマウルシ、シイ等、低木層にはコバノミツバツツジ、コバノガマズミ、ナツハゼ、モチツツジ、ネジキ、シャシャンボ、アセビ、イヌツゲ、ヒサカキ、ツクバネウツギ等が多く、シイ林へ移行すると思われる。京都の東山も昔は美しいアカマツ林が長い間、人為的に維持されてきたのが、戦後風致林となり、ほとんど手入れを行わなくなった結果、古いアカマツが枯死した後はシイの優占する林に変わりつつある<sup>3</sup> (図 4-4)。

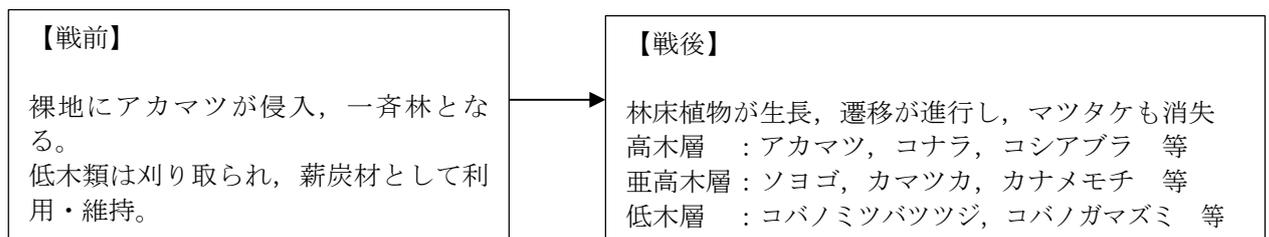


図 4-4 アカマツ林植生の変遷

出典：宮脇 昭 (1984) 日本植生誌 [5] (近畿)「3. 京都府の植生」の記載内容から作成

一方、乾燥しやすい尾根筋を中心に分布するアカマツ林は、元来乾燥に比較的強いアカマツであっても生長は遅く、他に高木層を形成し得る樹種はほとんど生育しない。下層にはネズ、スノキ、ネジキ、アクシバ、コバノミツバツツジ、ナツハゼ、シャシャンボ等、林床にはコシダ等が生育する林分となっている。アカマツの植生としては最も安定しているところである<sup>3</sup>。しかし、手入れ不足となると、低木層・草本層が繁茂し、後継樹が生育せず、マツタケが出なくなってしまう<sup>4</sup>。

京都市北区にある大北山においては、2019年当時はマツ枯れによりアカマツの生育が激減したことで林床の低木類が密生しており、平均樹高10m程度の林分となっていた。アカマツの枯死木も多く、一定程度成長しているアカマツは少なかった。亜高木層、低木層にはネジキのほか、ヒサカキ、ソヨゴ等の常緑広葉樹が多く生育していた。アカマツ林に特徴的なコバノミツバツツジやモチツツジの生育は少なく、日照不足から開花も確認されなかった。

アカマツ林再生とツツジ類の開花促進のため、生育過剰なネジキ、ヒサカキやソヨゴ等の常緑広葉樹を除伐し、林内環境を整備した。整備2年後には、コバノミツバツツジの開花を確認した<sup>※1</sup>（図4-5、表4-2）。

また、京都市右京区にある小倉山においては、林内環境を整備した結果、アカマツ実生の発芽と成長を確認しており<sup>※2</sup>、これらのことから、アカマツ林の更新や維持には人の手による管理が重要である。

※1 大北山において実施している森林再生活動の結果

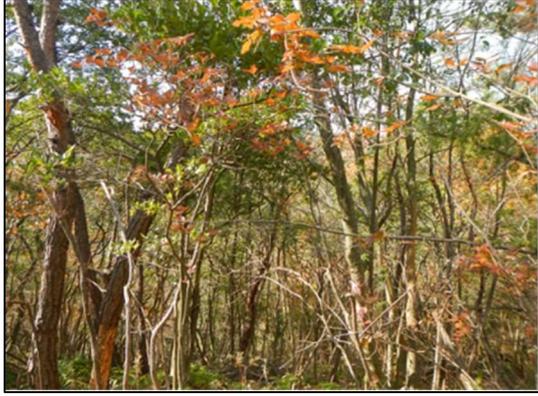
※2 小倉山において実施している森林再生活動の結果



図4-5 大北山の整備2年後のツツジ類の開花状況

出典：大北山の森林再生活動において撮影

表 4-2 大北山アカマツ林の整備前後の様子

	整備前	整備後
遠景		
全天球写真		
	マツ枯れにより高木層，亜高木層の植被率は低い，低木が生い茂っていた	ツツジ類の開花を促すため，立木本数を調整

出典：大北山の森林再生活動において撮影

## イ マツタケ

### (7) マツタケの生態と分布

マツタケは、ハラタケ目 キシメジ科に属する菌類で、傘は直径8～20 (30) cm, 初め球形のちまんじゅう形から中高の平らとなり、遂には縁部が反り返る。ひだは密、白色のち褐色の染みを生じる。柄は長さ10～20 (30) cm, 褐色繊維状の鱗片に覆われ、頂部は白色。秋、アカマツなどのマツ林以外に、コメツガ・ツガ・アカエゾマツ・トドマツなどの森林にも発生する<sup>5</sup>。日本の代表的な食用菌で、東アジアに分布する。特有の香りがあり、日本人の味覚によく合う。栽培できないことも人気を支える要素とされる<sup>6</sup>。

京都府 RDB では準絶滅危惧種として掲載されている (表 4-3)。生態的特徴、必要な保全対策欄に記述されているとおり、西日本における食文化と関係が深かったこと、アカマツ林の管理不足等により減少したことが分かる。

表 4-3 マツタケの分布と生態

選定理由	京都府は主要な生産地であり発生していたが、近年激減してしまった。
形態	傘は径8～10 (最大45) cm, 初め半球体、のち中高の饅頭形となる。幼菌時は柄につば状被膜が残るが消失しやすい。肉は白色で堅い。柄は10～15cm×1.5～2cm。つば状被膜より上は白色、下部は傘表面と同様の茶褐色から黒褐色のささくれた鱗片がある。ヨーロッパ、北アメリカの <i>T. Caligatum</i> (Viv.) Ricken は同一種とも言われている。
分布	日本全土。岩手県、広島県が生産量が多い。( <i>T. Caligatum</i> : 北アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アルジェリア、朝鮮半島、中国大陸、モロッコ、台湾、チェコスロバキア)。 ◎府内の分布区域 1955～60年をピークとして減少、現在主産地は船井郡。
生態的特性	主にアカマツ、時にツガ、シラビソ、クロマツ、エゾマツ、稀にトドマツ林に発生する。昔は燃料用の落葉掻きでアカマツ林地は整地され、養分が少なくなり、マツタケ発生に好環境をつくっていた。
必要な保全対策	絶滅危惧種ではないが、西日本の食生活に深くかかわってきたキノコだけに、マツタケモドキやショウゲンジとともにアカマツ林を保護し、増やす方法を考える必要がある。山の手入れが必要である。

出典：京都府府民環境部自然環境保全課、京都府レッドデータブック

#### (イ) 生産量・生産者の推移

マツタケはアカマツの根に感染して菌根を形成し、そこからシロと呼ばれる菌糸の塊を土壤中で発達させキノコを発生させる。マツタケの生産には、アカマツ林が富栄養化しないように腐植層を掻き出したり、アカマツと競合する樹木を伐採したりするなどの山の手入れが欠かせず、維持管理がされていないアカマツ林の林床では、落葉に寄生する他の菌類が多くなり、マツタケが育ちにくい環境となるため、マツタケの生産量が減少する<sup>4</sup>。

生産量低下に伴い、生産者不足となり、それが維持管理不足へとつながる悪循環がある。その対策として、アカマツ林を再生し、維持管理が行われた結果、マツタケが生育するアカマツ林へと回復した事例は多数報告されている<sup>4</sup>。

農林水産省 特用林産物生産統計調査を基に作成した京都府におけるマツタケの生産者数の経年変化を図 4-6 に、マツタケの生産量の経年変化を図 4-7 に示す。京都府におけるマツタケの生産者数及び生産量は共に減少していることが分かる。

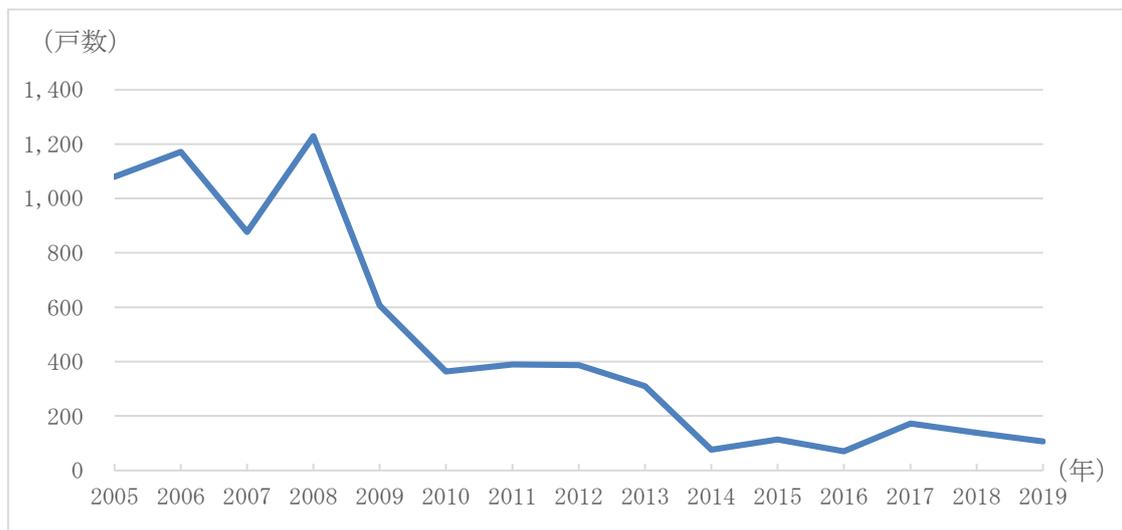


図 4-6 京都府のマツタケ生産者数（戸数）

出典：農林水産省，特用林産物生産統計調査を使用し，作成。

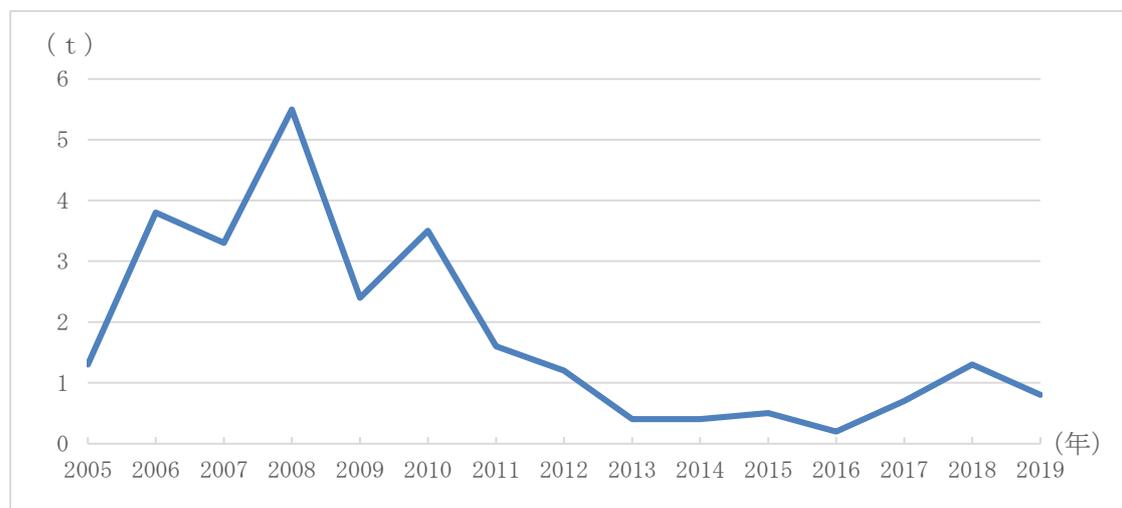


図 4-7 京都府のマツタケ生産量（t）

出典：農林水産省，特用林産物生産統計調査を使用し，作成。

## ウ 竹（マダケ、モウソウチク）

### (ア) マダケ、モウソウチクの生態と竹林の分布

マダケは中型のマダケ属植物で、稈は高さ20m、直径15cmに達し、基部から先端まで通直で、円錐形の樹形となる<sup>7</sup>。材質はかたいものの割り易く、それでいて弾力性が強くてしなやか、加工しやすいことから、工芸品、家具、道具箱、内装建築材などの加工材料として利用されている<sup>8</sup>。竹の皮（稈鞘）は薄くて柔らかいので包装用、馬連、履物などに利用する。タケノコはモウソウチクよりも一月ほど遅く発生し、数m伸びた頃に穂先を採って食用とするが、通常はエグ味があるため、竹材林としてのみ栽培されることが多い。モウソウチクが侵入してきて混交すると被圧され、数年後にはマダケは枯死する<sup>8</sup>。

モウソウチクもマダケ属植物で、稈は高温帯性竹類の中で最も長く、高さ20～25m、直径8～20cmに達する。新竹の節の上皮には白いワックス状の粉が目立つ<sup>8</sup>。稈や枝の先端は枝葉が拳を軽く握ったように丸くなりうなだれるため、遠方からでも良く識別できる。タケノコの成長が終わったばかりの若い稈の節間は、微細な毛に覆われて青灰色を呈し、種小名の基になっている<sup>7</sup>。材質部は厚いものの、節間長が短いこと、稈の基部から先端部に行くにつれ細くなるがその細くなる割合が大きいこと、弾力性が劣ることなどから、専ら構造材や集成加工した内装材として広く利用されている。箆や籠といった大雑把な加工品や丸材のままで容器としても利用するが、繊細な細工物の原材料には適していない。タケノコは早春に他の種類に先駆けて発生し、柔らかくて甘みを含むために、生鮮食品や繊維食物として知られている。モウソウチクは、日本の栽培種の中で最も栽培面積が広く、江戸時代の早い時期（1600年代前半）に千葉県や京都府に導入された記録が残されている<sup>8</sup>。

自然環境保全基礎調査においては、竹林は、主としてヤブツバキクラス域に植生している。河岸や人家付近の台地脚部等に小面積で分布し、モウソウチク、マダケ及びハチクその他、九州南部ではハウライチク、ホテイチクがある。用材、工芸材料の利用、筍採取や護岸を目的に植栽されているが、近年では放置され荒廃したものが増加し、植林地や二次林内に二次的に生育域を広げている。2000～2020年度の調査において、東北から九州・沖縄までの7ブロックの整備地域で確認された<sup>1</sup>。

京都市内における竹林及び市街地の面積について、自然環境保全基礎調査の第 2-3 回調査結果（1981-1989 年）と第 6-7 回調査結果（2000-2020 年）で比較したグラフを図 4-8 及び図 4-9 に示す。また、市内全域における竹林の分布を図 4-10 及び図 4-11 に示す。西京区では、竹林の分布減少幅は特に大きく、市街地その他面積が大幅に増加していることから、西京区内では、竹林から市街地その他へ移行している範囲が大きいことが分かる。一方で、市内全域の竹林の面積は 1,054ha から 835ha と大きくは減っておらず、特に、山科区では、竹林面積が増加している。

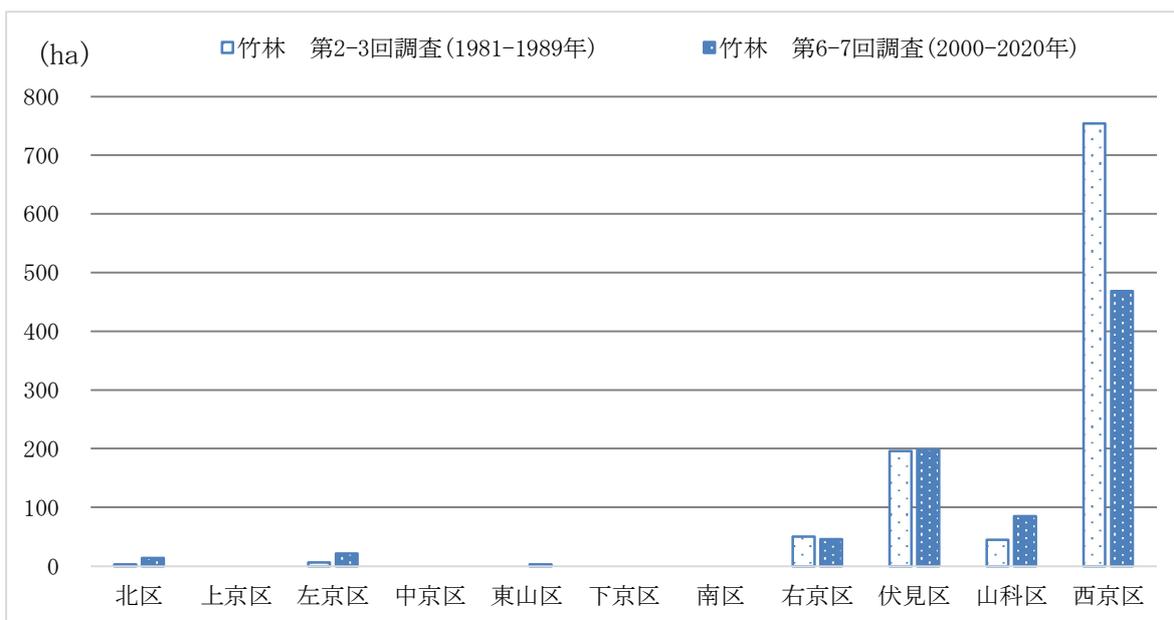


図 4-8 京都市内の竹林の面積

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」及び「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し、作成。

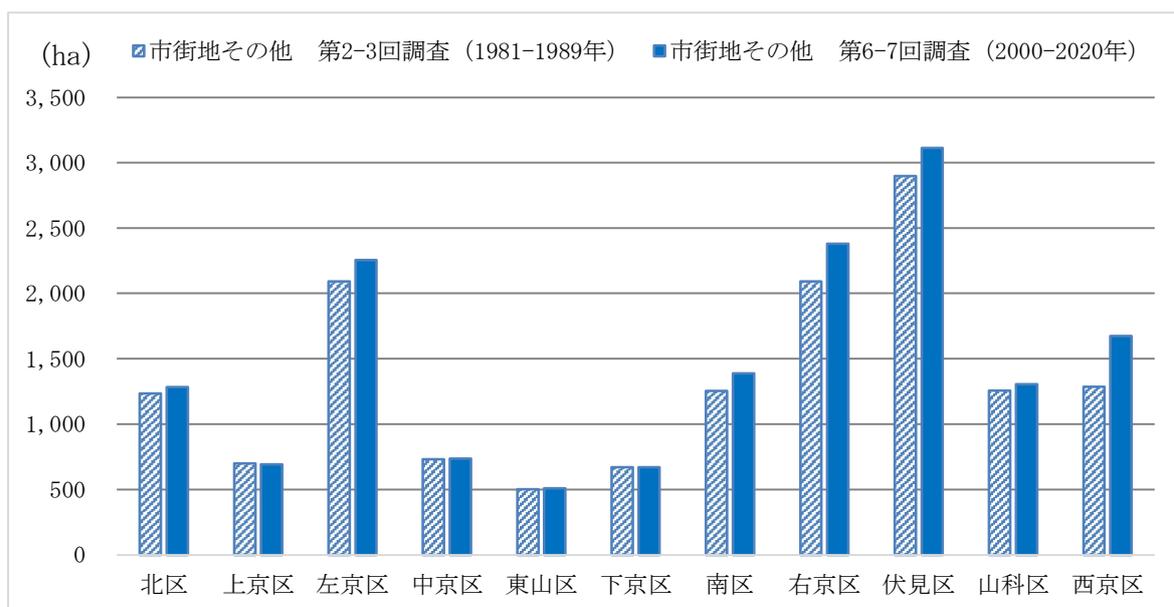


図 4-9 京都市内の市街地の面積

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」及び「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し、作成。

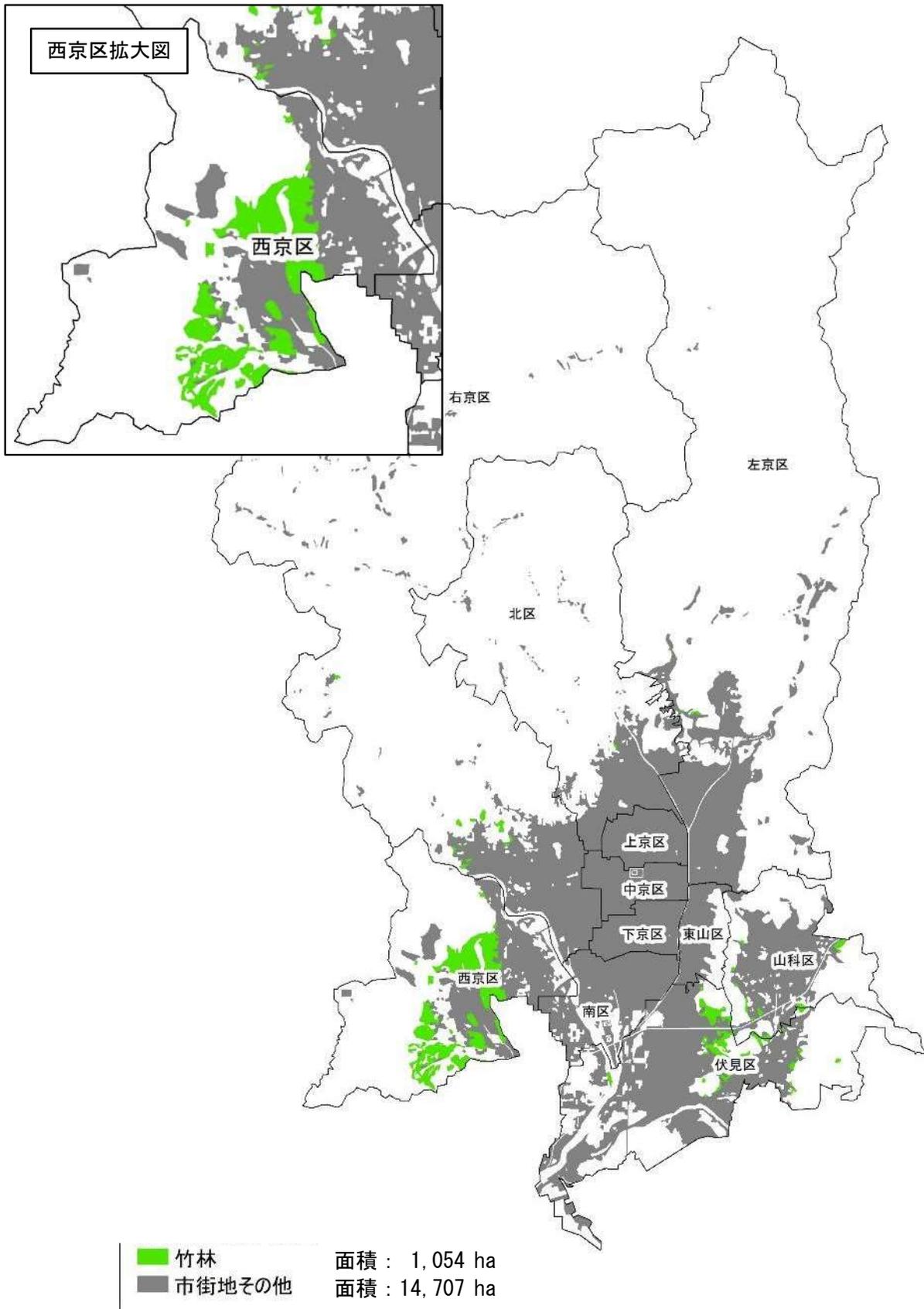


図 4-10 竹林の分布 第 2-3 回調査 (1981-1989 年)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター，「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し，作成。

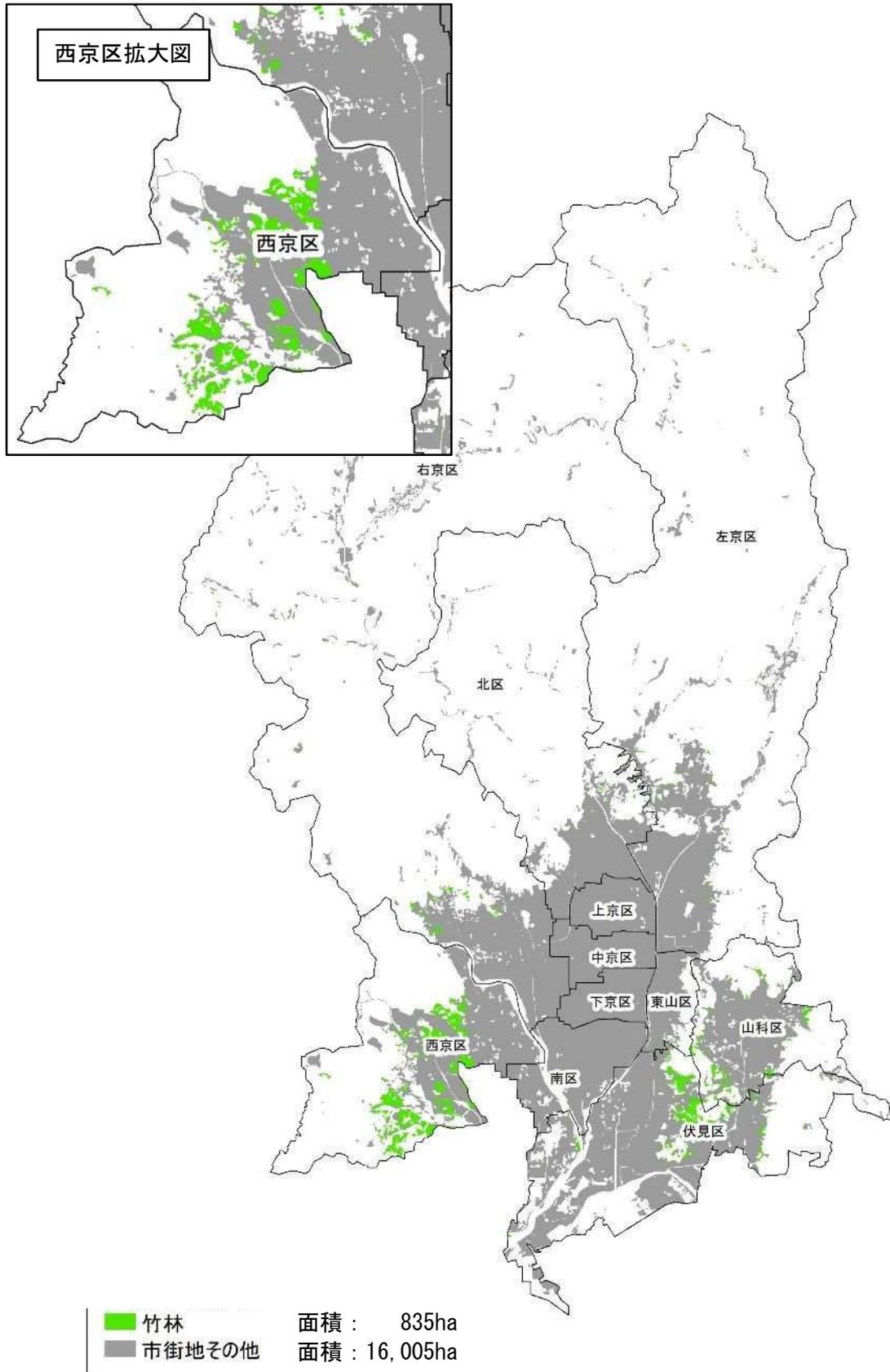


図 4-11 竹林の分布 第 6-7 回調査 (2000-2020 年)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター，「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し，作成。

## (イ) 種組成としての推移

竹林の林床は、上層を葉が密に覆うため暗く、一般的に林床植物は貧弱である<sup>3</sup>。

古くなった竹は10年を待たずに枯死し、枯れた竹が絡み合っただ散乱する。また、竹の落ち葉は、分解速度が落葉樹と比較して遅く、結果的に10～15cmほどの厚さに落ち葉が堆積する。古竹の伐採や落ち葉掻きなど林床植物に対する環境改善を行うと、出現種数が5倍になることが、神奈川県厚木市のモウソウチク林の例で観察されている<sup>9</sup>。

「日本植生誌 [5] (近畿)」において1983年に福知山市で調査されたモウソウチク林では、低木層の植被率は30%、草本層の植被率は20%でアオキ、キツタ、ヒサカキ、チャノキ、サネカズラ等の常緑植物の生育が見られた<sup>3</sup>。

京都市北嵯峨地区の放棄竹林では、低木層の植被率は低く、また草本層の植被率は極めて低く、アラカシ、チャノキ、ヤブツバキ、サルトリイバラ、アオキ等がわずかに生育するのみであった。竹林経営を行うための本数調整として、景観林として利用することを目的に除伐を行ったところ、竹林内の光環境が改善され、希少種であるホンゴウソウ、シロシヤクジョウの生育を確認したほか、新竹発生数も増加した<sup>※3</sup>。

※3 北嵯峨地区において実施している竹林再生活動の結果

表 4-4 北嵯峨地区の竹林再生活動

	整備前	整備後 (3年目)
遠景		
概況	枯竹、倒竹多い。 低木層・草本層には、アラカシ、チャノキ、ヤブツバキ、サルトリイバラ、アオキ等がわずかに生育	竹林内の光環境が改善され、希少種であるホンゴウソウ、シロシヤクジョウの生育を確認。新竹発生数も増加

出典：北嵯峨地区の竹林再生活動において撮影

## エ タケノコ

### (7) タケノコの生態と分布

京都市はケッペンの気候区分において温帯性区分に位置しており、この区分ではモウソウチクは気温が10℃を超すと成長を開始して12℃で地上に頭を出し、マダケは16～24℃で地上に頭を出す<sup>10</sup>。竹の地下茎は、地中を這うように四方に広がっており、稈同様に節目があり、節ごとに多少旋回し交互に芽子を付ける。食用として代表的なタケノコは、モウソウチク、ホテイチク、ハチク、マダケ、ウサンチク、リュウキュウチク、カンザンチク、ホウライチク、ダイサンチク、リョウチク、マチク、シホウチクなどがあるが、京たけのこのほとんどがモウソウチクである<sup>9</sup>。

タケノコが伸びる速度は、モウソウチクでは1日に1.2mに達することもある<sup>14</sup>。モウソウチクでは、竹材採取を目的にする場合の生育密度は1ha当たり6,000～7,000本に調整するが、タケノコ採取畑では春季にタケノコの発生を促すために地表温度が上がりやすくなるよう、地表面まで日光が十分に届くように、竹の生育密度を低く抑える必要があり、3,500～4,000本/haとしている<sup>10</sup>。発生本数と管理を考えると、竹材採取地からタケノコ採取畑に転換するには、1ha当たり3,000本ほど伐採する必要がある。以上より、少なくとも100㎡当たり30本近く伐竹する必要が生じるため、放置竹林を整備し、タケノコ採取畑として維持するためにかかる労力の負担は大きいと考えられる。

## (イ) 収穫量・作付面積の推移

京都市の農林業の統計資料を基に作成したタケノコの収穫量の経年変化を図 4-12 に、タケノコの作付面積の経年変化を図 4-13 に示す。収穫量及び作付面積ともに減少している。一方で、「4 ウ (ア) マダケ、モウソウチクの生態と竹林の分布」では、京都市内の竹林面積は大幅には減っていないことから、市内における放置竹林が増加しているものと推察される。

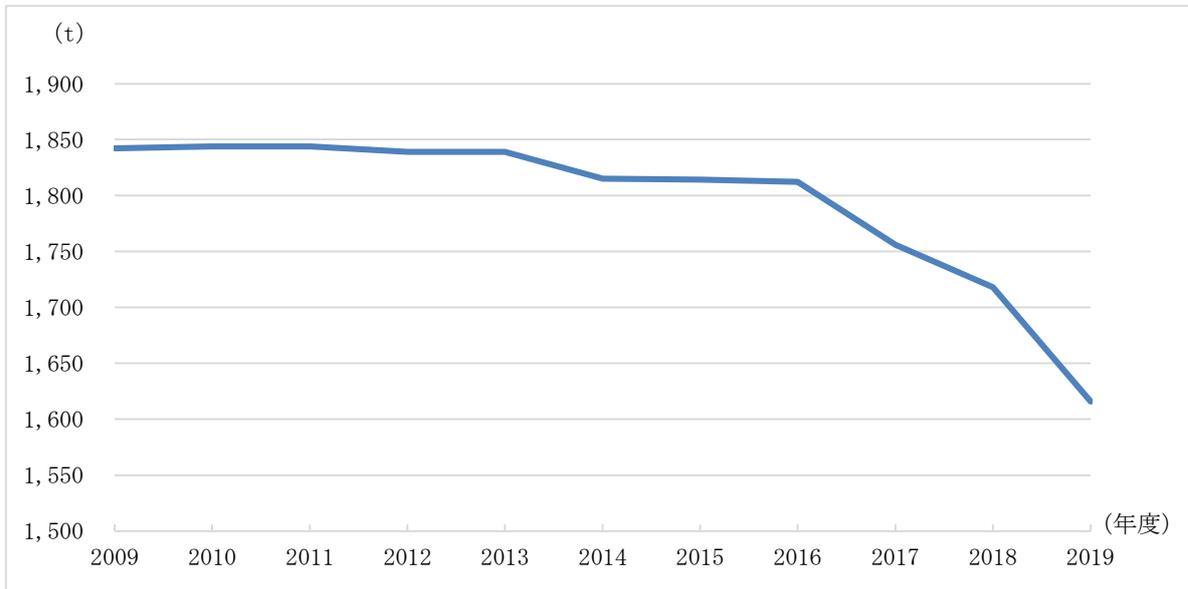


図 4-12 タケノコの収穫量 (t)

出典：京都市，農林統計を使用し，作成。

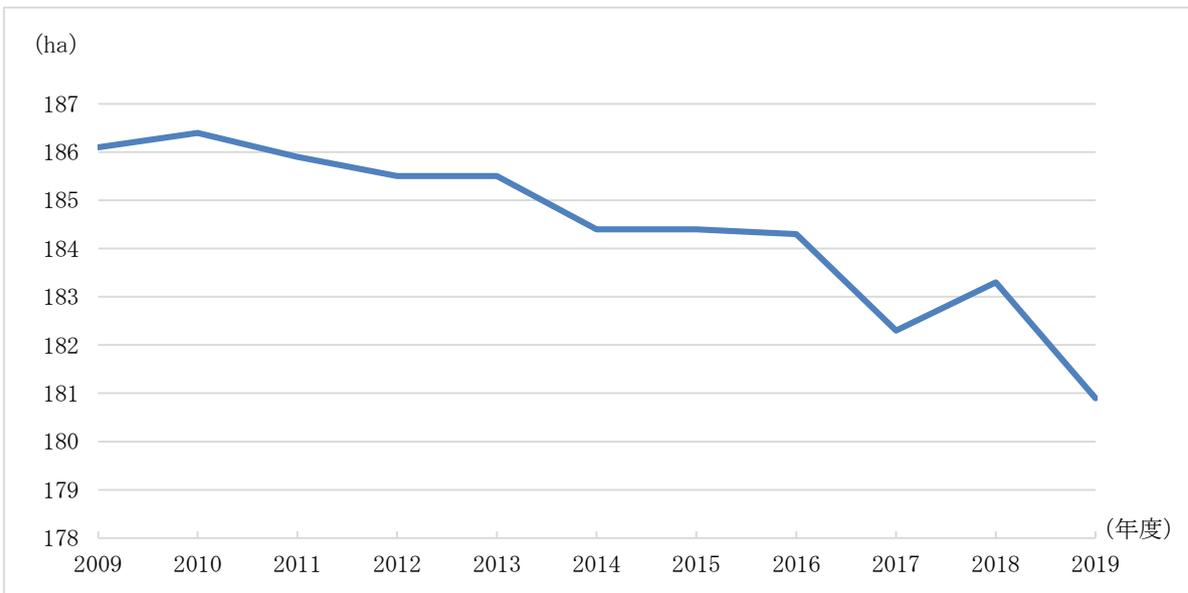


図 4-13 タケノコの作付面積 (ha)

出典：京都市，農林統計を使用し，作成。

## オ キキョウ

## (7) キキョウの生態と分布

キキョウは山野の草地に生え、太い根茎は深く地中に入り、茎は高さ 40-100cm、ときに上方が分枝する。花期は 7~8 月、茎頂近くに数個付き、花冠は直径 3-5cm、花柄があり、青紫色であるが、淡紫色や白色のものもある。北海道~九州・奄美群島（諸島）、朝鮮半島・中国・ウスリー・アムールに分布する。観賞用としても栽培され、園芸品種も多い。根茎を水洗し、細根を取り除き乾燥したものが漢方の桔梗根で、薬用にされ、咳や痰を取り、気管支炎などに効くと言う<sup>11)</sup>。

自然環境保全基礎調査において、キキョウが生育する草地環境を含む群落のうち、京都市内に分布する群落を表 4-5 に示す。

表 4-5 植生区分と概要

植生区分	概要
ススキ群団	ヤブツバキクラス域の放牧地、伐採跡地、畑放棄地、河川敷等に成立する多年生の高茎草原。ススキが優占し、トダシバ、チガヤ、ハチジョウススキ等が混生する。日本の代表的な二次草原で、数年ごとの刈り取りや火入れによって維持され、放置期間が長期にわたると低木群落に遷移する。平野では河川敷、長く放置された畑放棄地、造成地等に出現し、海岸の風衝地や基岩露出地等にもみられる。近年では畑放棄地や放牧跡地から遷移した群落が増加している。第 2 回~第 5 回植生調査では、山形県から沖縄県まで 32 都府県で記載されたものが該当し、熊本県、沖縄県では広い面積を占める。細区分にはアズマネザサーススキ群集、ネザサーススキ群集等がある。なお、宮脇他（1994）の群落体系では沖縄のナガバカニクススキ群団に対し、トダシバーススキ群団として整理されている。2000~2020 年度の調査で、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄ブロックの整備地域で確認された。
放棄水田雑草群落	水田放棄地に成立する高さ 2 m 以下の草本植物群落。ミゾソバ、イ、コブナグサ等からなる群落が形成される。空中写真上では畦や水路で囲まれた区画が明瞭だが、稲作、稲刈り跡の均一な筋は不明である。1994 年以降は休耕田雑草群落を水田放棄雑草群落に改称する。2005 年以降は水田放棄雑草群落を放棄水田雑草群落に改称する。
水田雑草群落	水田に成立する雑草群落。
放棄畑雑草群落	耕作放棄後 1~数年の畑地に成立する雑草群落。空中写真では畑の区画が明瞭で作物の栽培列が不明なものとする。メヒシバ等の 1 年生の畑雑草を主とする群落から、ヒメムカシヨモギ、ヨモギ等の 2 年生・多年生の路傍雑草群落へと推移する。2000~2020 年度の調査で、全ブロックの整備地域で確認された。2005 年以降は畑地放棄雑草群落を放棄畑雑草群落に改称する。
畑雑草群落	畑地に成立する雑草群落。シロザ、ツユクサ、スベリヒユ等の 1 年生の植物を主構成種とする。2000~2020 年度の調査で、全ブロックの整備地域で確認された。2005 年以降は畑地雑草群落を畑雑草群落に改称する。

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、植生調査、統一凡例（大・中・細区分一覧表）

植生区分：VII ヤブツバキクラス域代償植生（<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-017.html?1st=45>）

及び 統一凡例（大・中・細区分一覧表）植生区分：IX 植林地・耕作地植生

（<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-017.html?1st=57>）

自然環境保全基礎調査の京都市内における草地環境の面積について、第 2-3 回調査結果（1981-1989 年）と第 6-7 回調査結果（2000-2020 年）で比較したグラフ図 4-14 に示す。また、市内全域における草地環境の分布を図 4-15 及び図 4-16 に示す。

なお、植生区分の凡例においては、第 2-3 回調査結果（1981-1989 年）と第 6-7 回調査結果（2000-2020 年）で表記が異なる場合があるため、それぞれの凡例の対応について、表 4-6 に示す。

図 4-15 と図 4-16 を比較すると、草地環境と考えられる植生が 4284.0ha から 2733.0ha へと大きく減少していることが分かる。また、図 4-14 から、水田雑草群落と畑雑草群落（畑地雑草群落）の面積が減っていることが分かる。

表 4-6 凡例の対応

第 6-7 回調査 (2000-2020 年)		第 2-3 回調査 (1981-1989 年)
2005 年以降	(2005 年以前)	
ススキ群団		ススキ群団, ススキ群落 等
放棄水田雑草群落	(水田放棄雑草群落)	休耕田雑草群落, 休耕田
水田雑草群落		水田雑草群落, 水田
放棄畑雑草群落	(畑地放棄雑草群落)	休耕畑地雑草群落, 休耕畑地 等
畑雑草群落	(畑地雑草群落)	畑地雑草群落, 畑地 等

出典：環境省自然環境局生物多様性センター，植生調査，凡例 Q&A 凡例対応表，  
(<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-018.html#anchor02>) 及び表 4-6 から作成。

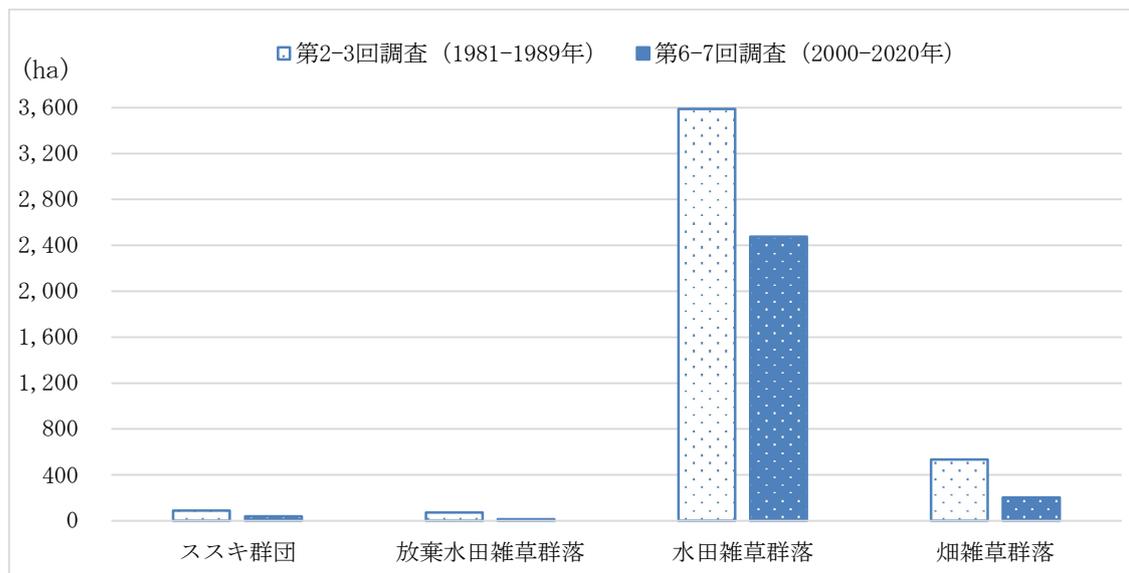


図 4-14 京都市内の草地面積 (ha)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター，「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」  
及び「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し，作成。

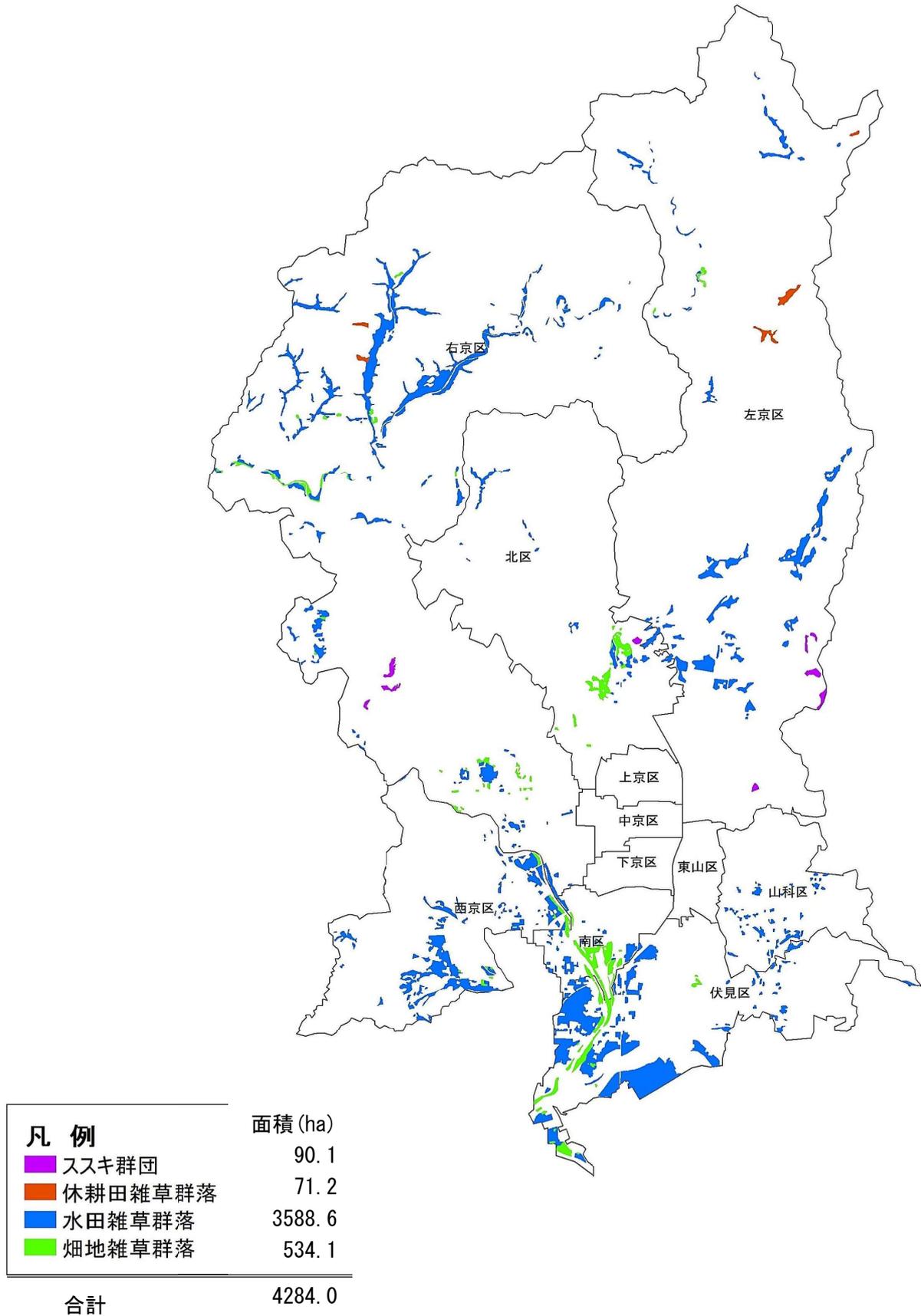


図 4-15 草地環境の分布 第 2-3 回調査 (1981-1989 年)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し、作成。

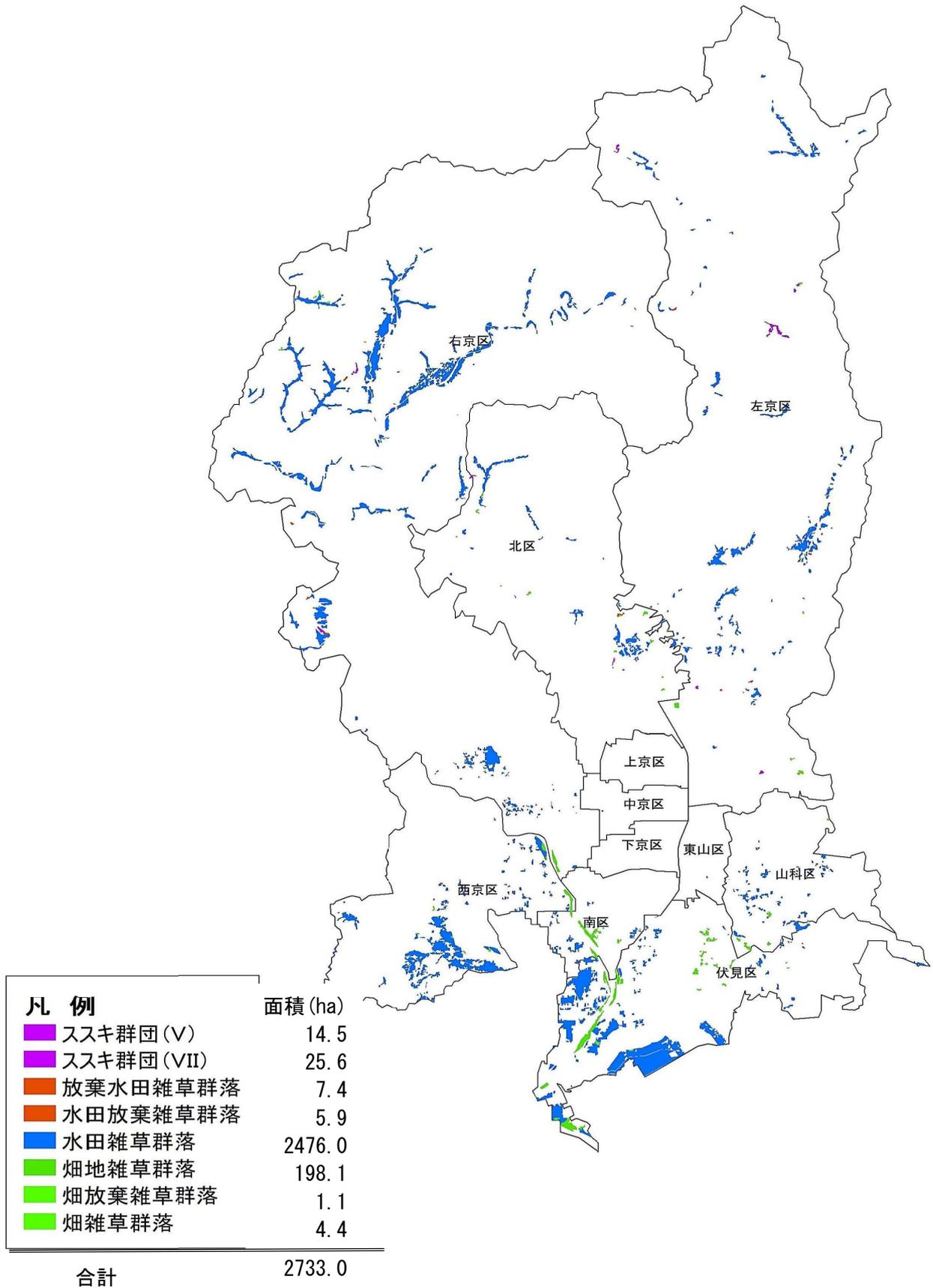


図 4-16 草地環境の分布 第 6-7 回調査 (2000-2020 年)

出典：環境省自然環境局生物多様性センター、「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」を使用し，作成。

(イ) 種組成推移のまとめ

図 4-14 で示されているように、京都市で見られる草地環境は、主に水田雑草群落と畑雑草群落である。例として田園環境や登山道・林道脇等が挙げられる。田園環境では耕作放棄地の増加による植生遷移などの生育環境の悪化が見られる。また、山に人の出入り（登山道・林道の利用や山の管理等）がなくなると、林床にコシダや常緑広葉樹の低木が繁茂して日照不足になり、草地性植物の生育が困難となる<sup>12, 13, 14</sup>（表 4-7）。

表 4-7 草地性植物の生育場所減少について

	従来の状況		現状
田園環境		➡	
	北嵯峨の水田に見られる畦畔草地。年に数回草刈りされるため、草丈は低く抑えられ木本類の生育は少ない。		耕作が放棄され…
登山道・林道脇		➡	
	登山道脇や林道脇は、管理上伐採や除伐が行われたり、人為的な攪乱や踏圧を受けたりするため、植物の繁茂が抑制されており、林床は明るく保たれている。		人の出入りがなくなり…

## カ アユ

### (ア) アユの生態と分布

アユは、体長約 20cm、北海道西部・本州・四国・九州、朝鮮半島～ベトナム北部・台湾に分布し、川の流れが比較的緩やかで、川底が礫で覆われる河川中流域や湖沼の岩盤や礫石底の瀬や淵に生息する。背はオリーブ色を帯び、成長に伴い体側前部に大きな黄色い斑紋が現れる。清流の代名詞ともいえる魚で、成長が非常に早く、秋に生まれたアユは翌年の夏には 20cm を越え、特に大きなものは 30cm に達する。河川に遡上して間もない若魚は水生昆虫なども食し、飼育池ではすりつぶした魚肉片も食すが、成長とともに珪藻、藍藻などの付着藻類を独特の構造を持った両唇でそぎ取って食すようになり、藻類が良く生える岩になわばりをもち、他のアユが近づくと体当たりをするなどして追い払う。この習性を利用して、おとりのアユを使う「友釣り」は、釣りの中でも特に人気が高い<sup>15, 16, 17</sup>。

産卵期は 9 月～12 月で、中流域の下限付近まで降って砂礫底に散乱し、産卵後の親魚は斃死する。孵化した仔魚は川の流れに乗って一旦海に降って越冬し、翌春 3～5 月に遡河する。天然遡上のできない水域や、天然遡上の補促として、琵琶湖産、海産などのアユの種苗を特別採取して毎年各地の河川へ放流している。形、香、味、生息環境、独特の漁法などの点で申し分のない日本の代表的名魚。独特の風味があり塩焼きにして極めて美味、フライ、魚田、すし、うるかななどにもする<sup>15</sup>。



一方、京都市内を流れる多くの河川が属する淀川水系の河川は、大阪府を流れ、大阪湾に流れ込む(図 4-18)。上流はアマゴ、中流はアユ、中流から下流にはコイ、フナ、オイカワ等が生息しており、漁業資源として利用されている。また、アユモドキやイタセンパラ等の絶滅危惧種や、琵琶湖水系固有種が生息し、生物多様性が高いのが特徴である<sup>18</sup>。

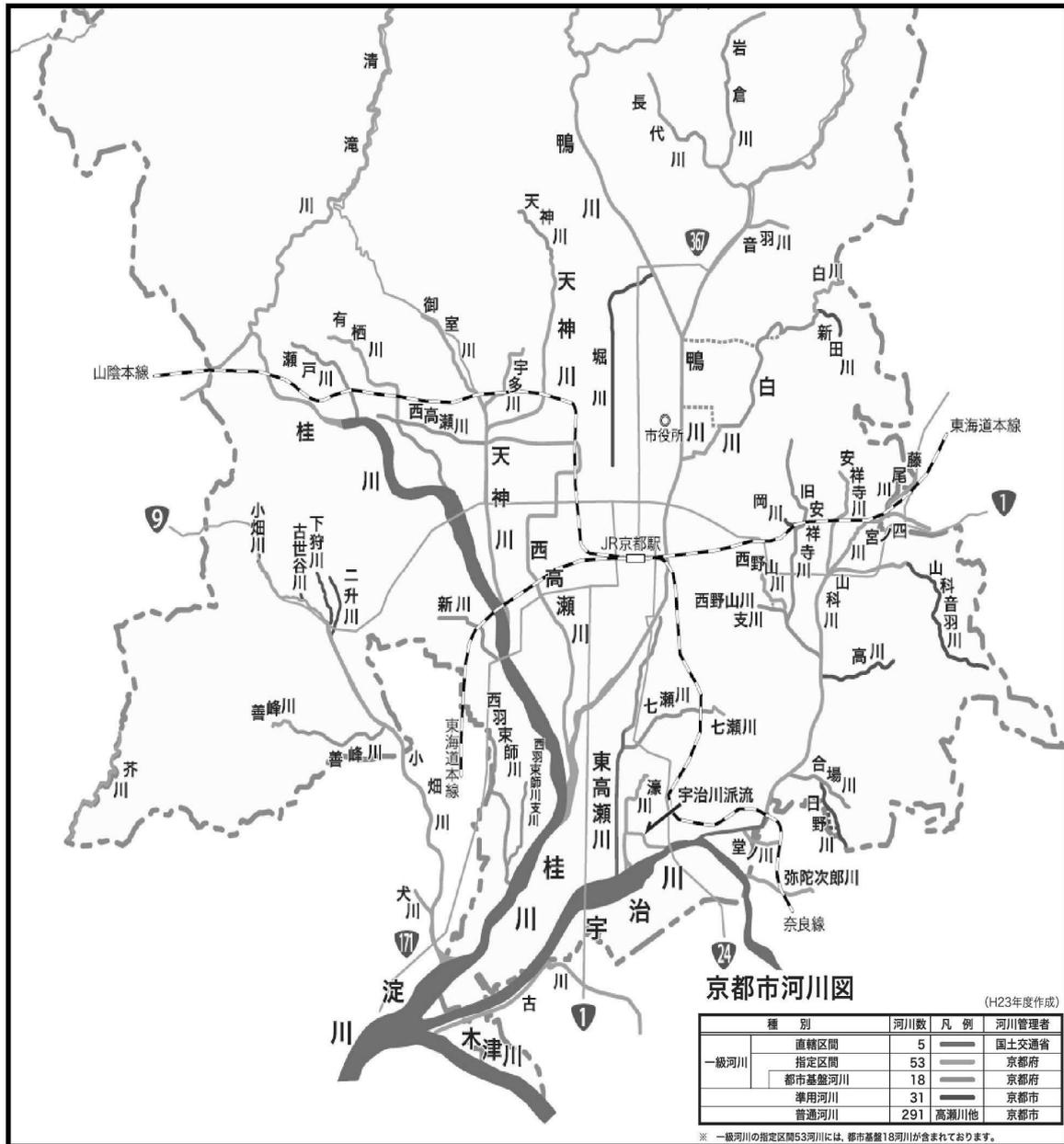


図 4-18 京都市市街地の主要河川

出典：京都市（2012）京都市河川整備方針

自然環境保全基礎調査の生物多様性調査 動物分布調査報告書（淡水魚類）によると、京都市内の淀川水系（メッシュ番号 523535：京都西南部）において、1993 年以降のアユの分布が確認されている<sup>1</sup>。また、河川水辺の国勢調査においても、淀川水系でアユが確認されている（表 4-8）。

表 4-8 淀川水系国勢調査におけるアユの個体数（匹）

調査年度 調査季節 河川名	1995		1999		2004			2007		2012		2017	
	春	夏	夏	秋	春	夏	秋	春	秋	春	秋	春	秋
桂川			18					33		79	1		
木津川	81	13	10	3	5	4	1	19	1	92	19	1	1
淀川							1			52	1		
宇治川								2	1	5	1		

出典：国土交通省、「河川水辺の国勢調査 河川環境データベースシステム 近畿 河川版」を使用し、作成。

京都府下では、アユなどの漁業権が設定されており、漁業権種については、漁協の行う増殖事業の一環として、毎年種苗放流が行われている。種苗の放流尾数（図 4-19）は、近年漸減傾向にあるが、これは漁協組合員数の減少や遊漁券の販売不振によって漁協収入が減り、種苗代を削減せざるを得ない状況が背景にある<sup>18</sup>。

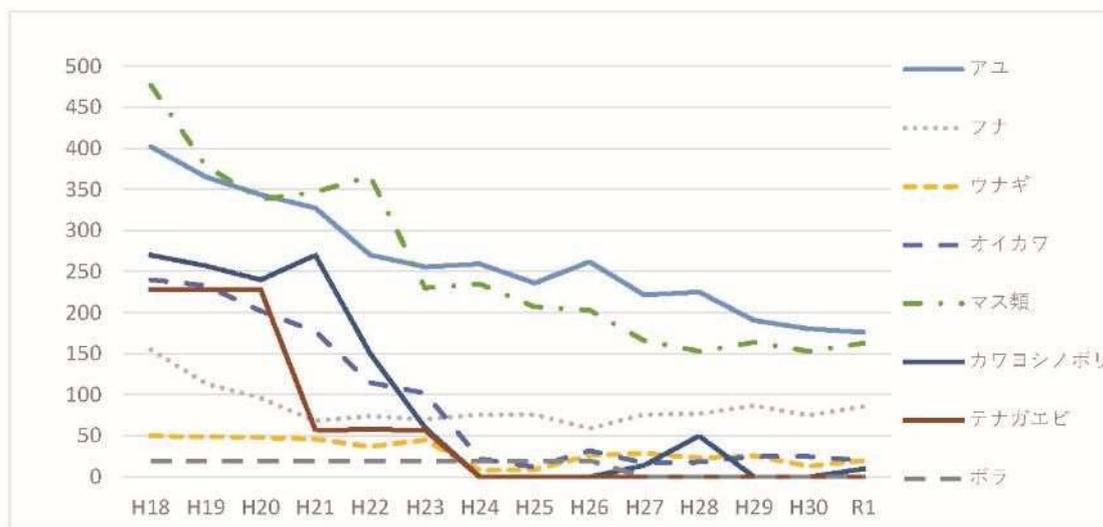


図 4-19 京都府の放流実績（全漁協の合計）

※単位は千尾，アユのみ万尾。

出典：京都府（2021）京都府内水面漁業振興計画

内水面漁業漁獲量<sup>\*</sup>（販売を目的として漁獲された量で、遊漁による採捕量は含まない）は、10年前と比べて約35%となっており、著しく減少している。減少の原因は、カワウや外来魚による食害、漁場環境の悪化、高齢化や過疎化による漁業者の減少等が考えられる<sup>18</sup>。

※ 内水面漁業漁獲量：河川・池・沼の淡水における漁業

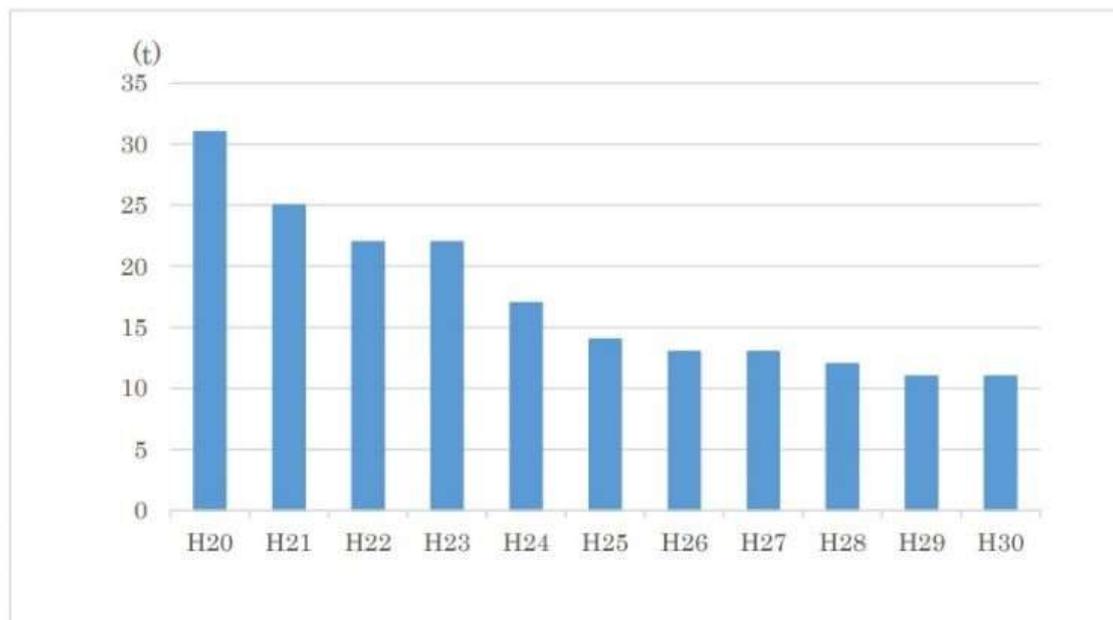


図 4-20 京都府内の内水面漁業漁獲量

出典：京都府（2021）京都府内水面漁業振興計画

#### (ウ) 生息環境等の変化

淡水魚は海水魚と同様、古来より重要な食糧資源として利用されてきた<sup>19, 20</sup>が、近年、多くの種が減少傾向にあり、その原因は、護岸工事や川の直線化、池や水路の埋め立てによる生息環境の悪化と消失である<sup>17</sup>。また、小魚を主な餌とするオオクチバスやコクチバス、ブルーギルといった外来魚が増えたことも、淡水魚の減少に拍車をかけている<sup>17</sup>。

京都は、琵琶湖に近かったこと、桂川、鴨川、宇治川、木津川などの河川、巨椋池に囲まれていたことによって、それらから供給される多種多様で鮮度が高くかつ安価な淡水魚介類が日常の食べ物として、焼く、煮る、干す、漬ける、刺身など多様な料理方法で食卓に上がっており、なじみ深い食べ物であった<sup>19</sup>が、日本人一人当たりの年間魚（海水魚を含む）消費量が2000年頃を契機に減少し続けている<sup>20</sup>。

京都の人々は、川や水辺を、木材等の物資を運搬する運河、農業用水、水源、お堀、納涼の場、友禅の水洗いの場、防火用水や庭園の池の水源など様々な生活の場面で活用して、川や水辺は、人々の暮らしとの結びつきが強かったが、生活スタイルの変化や上下水道の整備、護岸工事などに伴い、日々の暮らしとの繋がりが薄れている<sup>21</sup>。

また、季節的に大きく変動があるが、京都府には300羽から1,000羽程度のカワウが生息している（図 4-21）。カワウは魚食性の鳥で、1990年代から全国的に生息数が急増したことで内水面漁業に甚大な影響を与えている<sup>18, 22</sup>。

各内水面漁業協同組合では、貴重な水産資源や漁場を守るためにカワウの防除活動（防鳥テ

グス張り、かかしやバルーンの設定、花火による威嚇など）や、駆除活動を行っている。京都府内水面漁業協同組合連合会では、繁殖抑制や、駆除活動も精力的に実施されている。府内のカワウ対策を効果的に進めるため、京都府では、平成 21 年度に「京都府カワウ対策協議会」を設置し、関係者間でのカワウの生息状況・被害実態の情報共有及びカワウ防除対策の検討を行っている<sup>18</sup>。

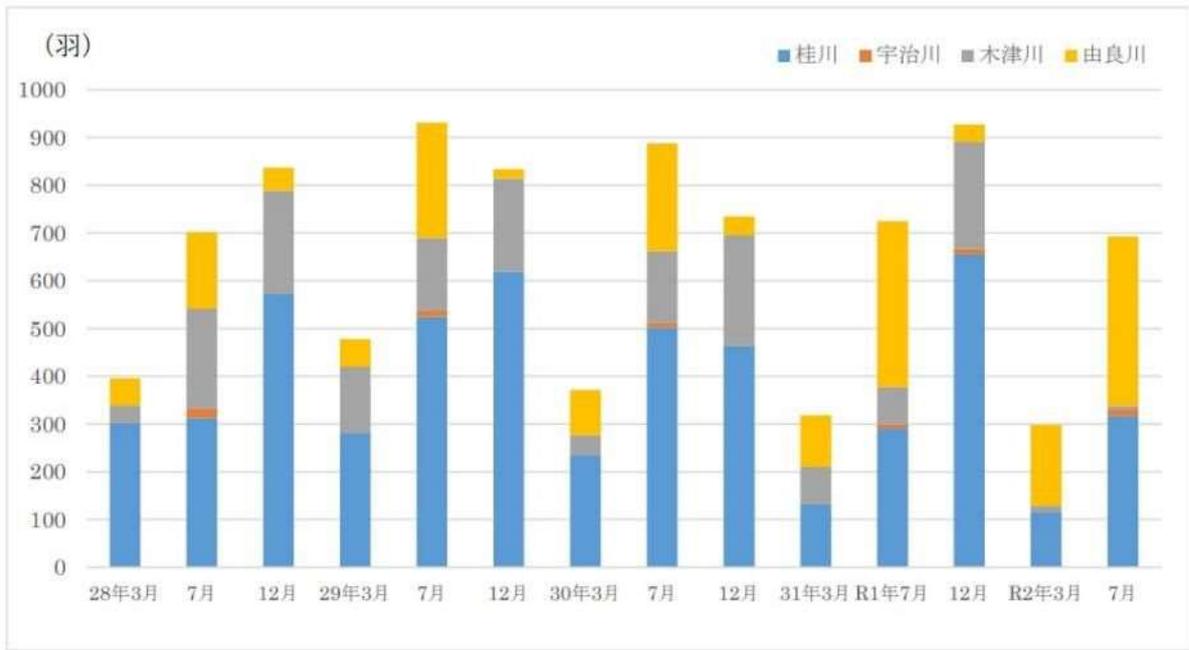


図 4-21 京都府内のカワウ生息数 (ねぐら・コロニー)

出典：京都府（2021）京都府内水面漁業振興計画

## 【4章の引用・参考文献】

- 1 環境省自然環境局生物多様性センター, 自然環境保全基礎調査,  
<https://www.biodic.go.jp/kiso/99/sougou.html#mainText> (参照 2022/3/30)
- 2 大橋広由他 (2015) 改定新版 日本の野生植物 1 ソテツ科～カヤツリグサ科, 平凡社
- 3 宮脇 昭 (1984) 日本植生誌 [5] (近畿), 至文堂
- 4 吉村文彦他 (2010) 里山再生を楽しむ! まつたけ山“復活させ隊”の仲間たち, 高文研
- 5 京都府府民環境部自然環境保全課, 京都府レッドデータブック  
<https://www.pref.kyoto.jp/kankyo/rdb/>, (参照 2022/3/30)
- 6 今関六也他 (1988) 山溪カラー名鑑 日本のきのこ, 山と溪谷社
- 7 小林幹夫 (2017) 原色植物分類図鑑 日本のタケ亜科植物, 北隆館
- 8 内村悦三 (2004) 竹の魅力と活用, 創林社
- 9 内村悦三 (2009) BAMBOO GUIDE 現代に生かす竹資源, 創森社
- 10 内村悦三 (1994) のぎへんのほん 「竹」への招待ーその不思議な生態ー, 研成社
- 11 大橋弘好 (2017) 改定新版 日本の野生植物 5 ヒルガオ科～スイカズラ科, 平凡社
- 12 飯山 直樹 他 (2002) 棚田畦畔の構造および草刈りの差異が北部群落に及ぼす影響,  
ランドスケープ研究 65(5) p. 579-584
- 13 佐久間 智子 他 (2017) 低山地山頂部の半自然草地における草原生植物の生育状況,  
保全生態学研究 22 p. 289-298
- 14 大窪 久美子 (2002) 日本の半自然草地における生物多様性研究の現状, 日本草地学会誌 48 (3)
- 15 中村守純 (1963) 原色淡水魚類検索図鑑, 北隆館
- 16 細谷和海他 (2019) 山溪ハンディ図鑑 1 5 増補改訂 日本の淡水魚, 山と溪谷社
- 17 松沢陽士他 (2011) ポケット図鑑 日本の淡水魚 258, 文一総合出版
- 18 京都府 (2021) 京都府内水面漁業振興計画
- 19 京の川の恵みを活かす会 (不詳) 川魚とるふやすたべる, 京の川の恵みを活かす会
- 20 藤掛進他 (2018) 川魚や酒と出会って川酒菜 其の三, 川魚文化再興プロジェクト 京の川の恵みを活かす会
- 21 京都市 (2012) 京都市河川整備方針～京都らしい川づくり・水辺づくり～
- 22 関西広域連合 (2020) 関西地域カワウ広域管理計画 (第3次) 中間案

## 【4章の使用データ】

- ・ 環境省自然環境局生物多様性センター, 「1/50,000 植生図「京都府」GIS データ」及び  
「1/25,000 植生図「京都府」GIS データ」  
[https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg\\_kiso.html#mainText](https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html#mainText)
- ・ 農林水産省, 特用林産物生産統計調査,  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo\\_rinsan/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo_rinsan/) (参照 2022/3/30)
- ・ 京都市, 農林統計,  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/32-4-5-0-0-0-0-0-0-0.html> (参照 2022/3/30)
- ・ 国土交通省, 河川水辺の国勢調査,  
<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/index.html> (参照 2022/3/30)

## 5 評価・結果

本調査は、「京都らしさ」を支える生物資源をリスト化し、そのうち、持続可能な利用が困難となっているものについて、保全・回復の取組につなげるため、持続可能性に関する課題を把握することで、「京都市生物多様性プラン（2021-2030）」のプロジェクトを推進することを目的として行った。

「2 文献調査，ヒアリング調査及びアンケート調査」において、「京都らしさ」を支える生物資源としてアカマツ，コバノミツバツツジ，竹，マツタケ，タケノコなど多様なものが挙げられた。一方で，ヒアリング調査では，昔から京都では全国から良質の材料（生物資源）を調達し，その良質の素材をいかに加工や調理していくかという技巧技術が重要であり，そのことが「京都らしさ」であるとの意見も挙げられた。

「3 特に重要と考えられる生物種の選定」において，今後の生物資源の保全・回復の取組につながるよう，「京都らしさ」を支え，かつ，入手困難となっている生物資源のうち，特に重要と考えられる生物種を5つの選定基準により選定した結果，マツ（アカマツ），マツタケ，竹（マダケ，モウソウチク），タケノコ，キキョウ，アユが挙げられた。

特に重要と考えられる生物種の生育生息環境を整理すると，アカマツ林に生育する種（アカマツ，コバノミツバツツジ，マツタケ，チマキザサ），竹林に生育する種（マダケ，モウソウチク，タケノコ），草地に生育する種（キキョウ，オケラ，ススキ），水辺（水田含む）に生育生息する種（アユ，イネ，藁）など，「京都らしさ」を支える生物資源にハビタット（生息環境）としてのまとまりがあることが分かった。また，「2 文献調査，ヒアリング調査及びアンケート調査」や「4 特に重要と考えられる生物種の詳細な状況調査」において，アカマツ林とアカマツ林に生息するコバノミツバツツジやマツタケの減少，竹林とタケノコの減少など，ハビタット（生育環境）のまとまりごとに生物種の減少が進んでいることが分かった。

従って，「京都らしさ」を支える生物資源を包括して保全再生していくためには，ハビタット（生育環境）のまとまりとして保全再生活動を行っていくことが有効であると考えられた。

以下及び図 5-1 に，特に重要と考えられる生物種とともに，5つの選定基準により選定された種のハビタット（生育環境）としての関連性を整理した。

- 1) アカマツ林（アカマツ，コバノミツバツツジ，マツタケ）
- 2) 竹林（マダケ，モウソウチク，タケノコ）
- 3) 草地環境（キキョウ，オケラ，ススキ）
- 4) 水辺環境（イネ・藁（水田），アユ）

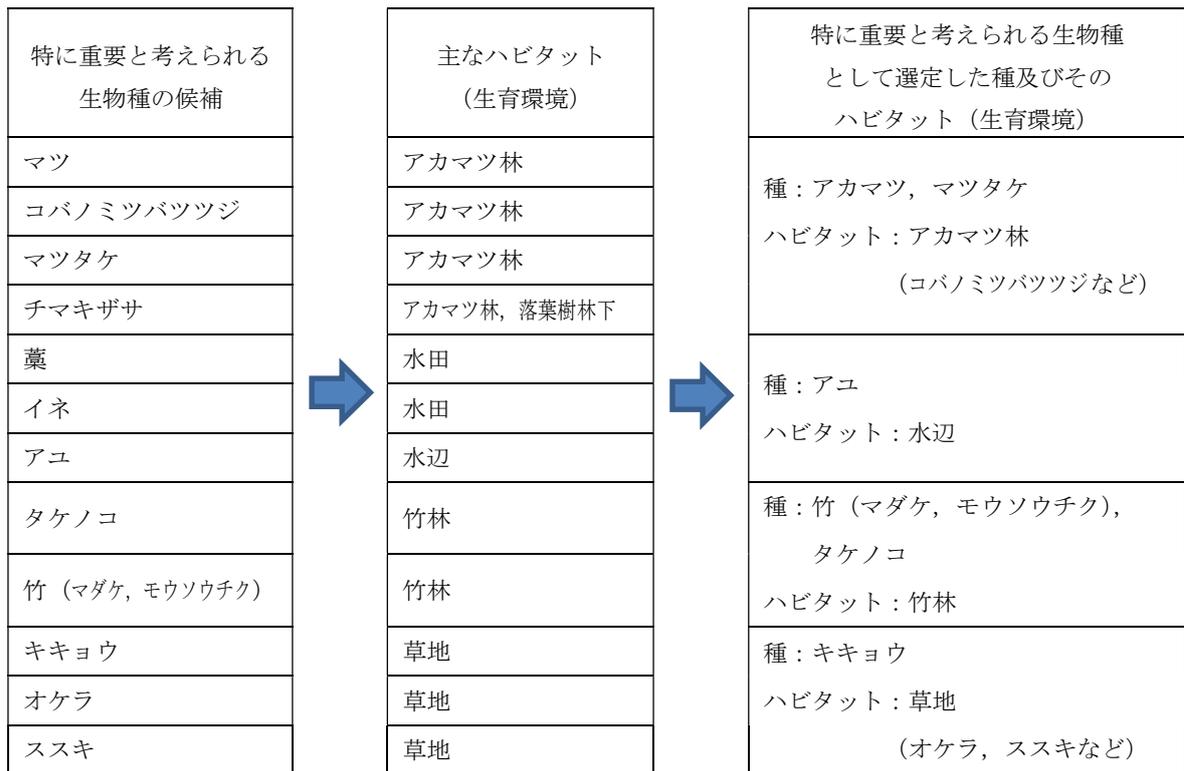


図 5-1 5つの選定基準で選定された種におけるハビタットの整理

「京都らしさ」を支える生物資源のうち、特に重要と考えられる生物種として、マツ（アカマツ）、マツタケ、竹（マダケ、モウソウチク）、タケノコ、キキョウ、アユの6種を選定した。また、それぞれの生物種のハビタット（生育環境）として、アカマツ林環境、竹林環境、草地環境、水辺環境の4つの環境に整理し、調査結果の総括として次頁以降のとおり、取りまとめを行った。

「京都らしさ」との関わり



**祭事・伝統行事**  
 祇園祭、鞍馬火祭、五山の送り火、お正月、書初め、嵯峨お松明、花背松上げ、広河原松上げ、久多宮の町松上げ、小塩の上げ松、雲ヶ畑松上げ、小山の山の神 等

**食**

**工芸品**  
 京仏壇  
 京仏具  
 等

**建築**  
 伝統建築 等

**造園**  
 造園 等

生物資源の利用と調達状況の例

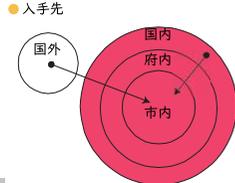


**祇園祭**

<現状>

・アカマツは現在も入手できているが、将来的に採取できるかは分からない。

容易 やや難 困難 不明  
 -入手難易度-



・京都産を含め、国内産を利用

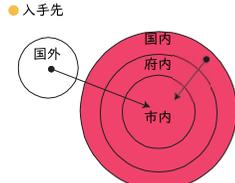


**五山送り火**

<現状>

・マツ枯れが進み、また山が荒れているため、入手が困難。現在、アカマツが生育していても衰弱した個体が多い。

容易 やや難 困難 不明  
 -入手難易度-



・京都産を含め、国内産を利用

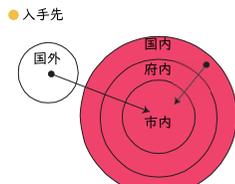


**造園**

<現状>

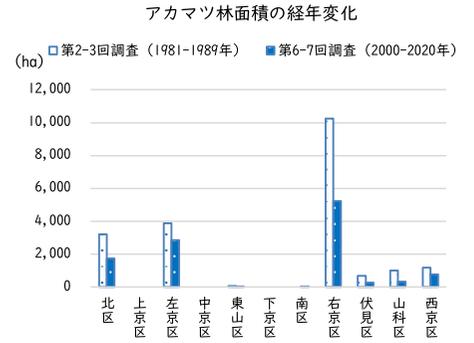
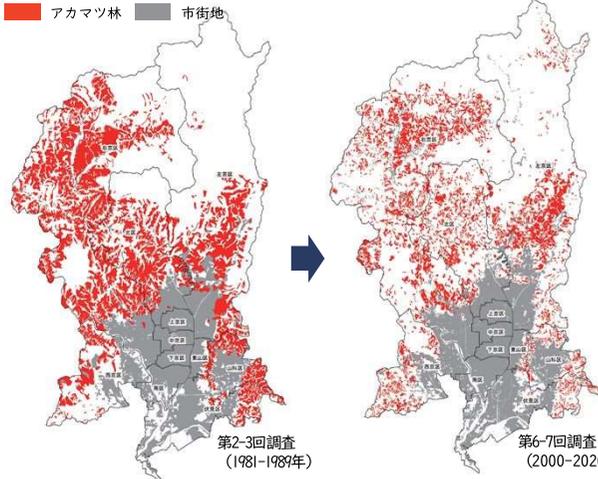
・市内調達が困難になり、府内外からも調達している。良質の材が入手困難。

容易 やや難 困難 不明  
 -入手難易度-



・京都産を含め、国内産を利用

分布（資源）量の推移



環境省が実施した自然環境保全基礎調査の第2-3回（1981-1989年）と第6-7回（2000-2020年）の調査結果を比較すると、アカマツ林の分布が大きく減少していることが分かる。特に、北区、左京区及び右京区における減少が顕著である。

出典：1/50,000及び1/25,000植生図「京都府」GISデータ（環境省生物多様性センター）を使用し、作成。

減少理由と課題の整理

- 気象害** 衰弱したアカマツは台風などの気象害の影響を受けやすい。
- 獣害**
- 担い手（管理）不足** アカマツ林の維持管理不足で病虫害の影響から枯死木が増加している。
- 外来種**
- 都市化**



環境の質の変化

京都のコバノミツバツツジ-アカマツ群集で過去・現在の類似地点の調査結果から種組成（環境の質）について比較した結果、出現種数の減少及び種組成の変化が見られ、アカマツ林特有のツツジ類が減少し、常緑広葉樹が優占する環境への変化が見られた。

<p>■過去（宮脇 昭（1984）日本植生誌 [5]（近畿））</p> <p>高木層：アカマツ                  亜高木層：タムシバ、コナラ、コシアブラ、リョウブ、タカノツメ、ヤマウルシ、ソヨゴ等                  低木層：コバノミツバツツジ、ネジキ、ナツハゼ、ウスギヨウラク、スノキ等のツツジ科低木、ヤマウルシ、リョウブ、タカノツメ、コシアブラ、クロモジ、ウリカエデ等の落葉広葉樹</p>	<p>■現在（大北山において実施している森林再生活動）</p> <p>高木層：アカマツ                  亜高木層：ソヨゴ、コジイ等                  低木層：ネジキのほかコバノミツバツツジ等のツツジ類が僅かに生育                  ヒサカギ、ソヨゴ等の常緑広葉樹が優占</p>
---	---

「京都らしさ」としての位置付け

指標種：アカマツ  
 ハビタット：アカマツ林



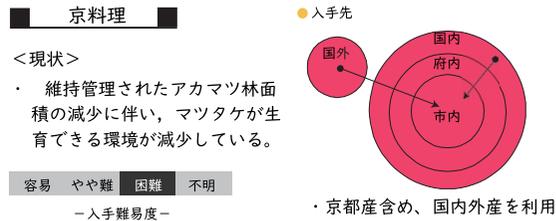
- 様々な構成要素（特に祭事・伝統行事）との関わりが深く、京都の伝統を継承していくには必要な生物資源。
- アカマツは生物多様性としての価値とともに、京都の森林景観として「京都らしさ」を支える生物資源。



「京都らしさ」との関わり



生物資源の利用と調達状況の例



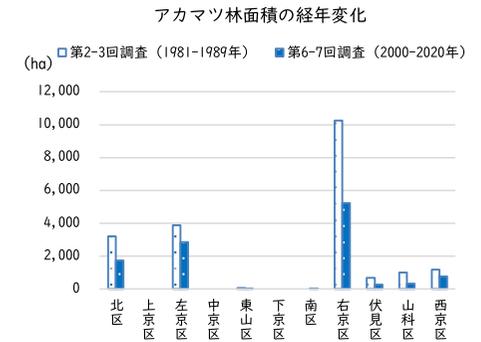
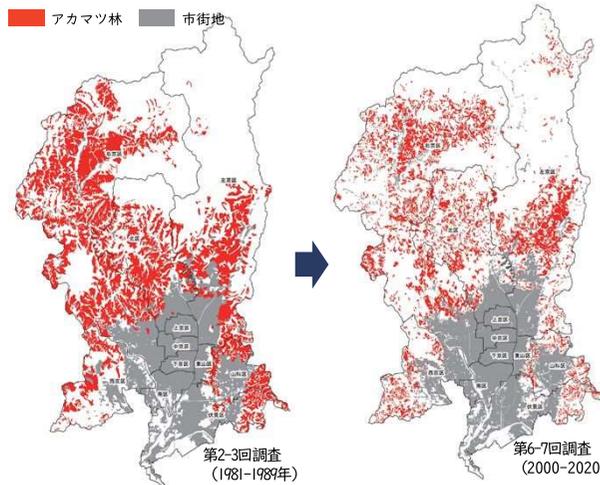
マツタケの分布と生態

マツタケはハラタケ目 キシメジ科に属する種で、京都府レッドデータブック 2015 では準絶滅危惧種として掲載されている。生態的特徴、必要な保全対策に記述されており、西日本における食文化と関係が深かったこと、アカマツ林の管理不足等により減少したことが分かる。

選定理由	京都府は主要な生産地であり発生していたが、近年激減してしまった。
形態	傘は径8～10（最大45）cm、初め半球体、の中高の饅頭形となる。幼菌時は柄につば状被膜が残るが消失しやすい。肉は白色で堅い。柄は10～15cm×1.5～2cm。つば状被膜より上は白色、下部は傘表面と同様の茶褐色から黒褐色のささくれた鱗片がある。ヨーロッパ、北アメリカの <i>T. Caligatum</i> (Viv.) Rickenは同一種とも言われている。
分布	日本全土。岩手県、広島県の生産量が多い。（ <i>T. Caligatum</i> ：北アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アルジェリア、朝鮮半島、中国大陸、モロッコ、台湾、チェコスロバキア）。 ◎府内の分布区域 1955～60年をピークとして減少、現在主産地は船井郡。
生態的特性	主にアカマツ、時にツガ、シラビソ、クロマツ、エゾマツ、稀にトドマツ林に発生する。昔は燃料用の落葉掻きでアカマツ林地は整地され、養分が少なくなり、マツタケ発生に好環境をつくっていた。
必要な保全対策	絶滅危惧種ではないが、西日本の食生活に深くかかわってきたキノコだけに、マツタケモドキやショウゲンジとともにアカマツ林を保護し、増やす方法を考える必要がある。山の手入れが必要である。

出典：京都府レッドデータブック 2015

分布（資源）量の推移



環境省が実施した自然環境保全基礎調査の第2-3回（1981-1989年）と第6-7回（2000-2020年）の調査結果を比較すると、アカマツ林の分布が大きく減少していることが分かる。特に、北区、左京区及び右京区における減少が顕著である。

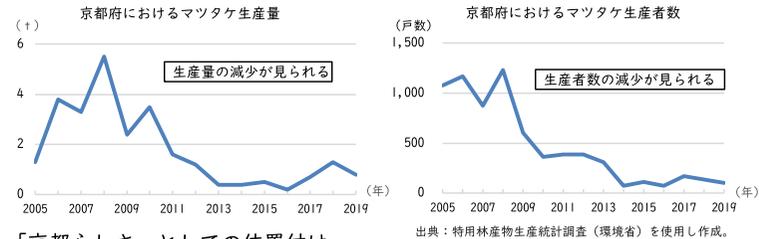
出典：1/50,000及び1/25,000植生図「京都府」GISデータ（環境省生物多様性センター）を使用し、作成。

減少理由と課題の整理

- 気象害：衰弱したアカマツは台風などの気象害の影響を受けやすい。
- 獣害
- 担い手（管理）不足：アカマツ林の維持管理不足で病虫害の影響から枯死木が増加している。
- 外来種
- 都市化



マツタケの生産量・生産者の推移



マツタケの生産には、アカマツ林が富栄養化しないように腐植層を掻き出したり、アカマツと競合する樹木を伐採したりするなどの山の手入れが欠かせず、維持管理がされていないアカマツ林の林床では、落葉に寄生する他の菌類が多くなり、マツタケが育ちにくい環境となるため、マツタケの生産量が減少する。生産量低下に伴い、生産者不足となり、それが維持管理不足へとつながる悪循環がある。

「京都らしさ」としての位置付け

指標種：マツタケ  
ハビタット：アカマツ林



- ① 京料理等との関わりが深く、京都らしい食文化の伝統を継承していくには必要な生物資源。
- ② マツタケはアカマツ林とともに「京都らしさ」を支える生物資源。
- ③ アカマツ林というハビタットで保全再生を図りながら、アカマツ林管理ができる範囲で実施していくことが考えられる。



「京都市らしさ」との関わり

<p><b>祭事・伝統行事</b></p> <p>祇園祭、白朮祭、書初め、花笠踊り、矢代田楽、山田隊軍楽、嵯峨お松明、鞍馬竹伐り会、広河原松上げ、久多宮の町松上げ、小塩の上げ松、小山の山の神、大原上野町のおこない・お弓 等</p>	<p><b>食</b></p> <p>花見だんご、稚児餅 等</p>	<p><b>工芸品染織</b></p> <p>京漆器、京扇子、京うちわ、京銘竹、京すだれ、京竹工芸、唐紙、きせる、京葛籠、京丸うちわ、京弓、京和傘、截金、尺八・竹楽器、提燈、矢、西陣織 等</p>	<p><b>建築</b></p> <p>京町家 等</p>	<p><b>造園</b></p> <p>庭園資材 等</p>
---	------------------------------------	--	-------------------------------	--------------------------------

生物資源の利用と調達状況の例



**鞍馬竹伐り会**

<現状>

- 30年以上前は、寺の周辺で自生していたものを使っていたが、現在では近隣から購入している。

容易 やや難 困難 不明

—入手難易度—

●入手先

府内産（近隣地域）を利用



**京扇子**

<現状>

- かつてはマダケを使っていたが、現在は採取できないため、国内産のモウソウチクを中心に使っている。

容易 やや難 困難 不明

—入手難易度—

●入手先

・国内産、海外産を利用



**庭園資材**

<現状>

- 京都市ではマダケは採れないため、近隣で採取及び国内から購入をしている。モウソウチクは市内及び国内外のものを利用している。

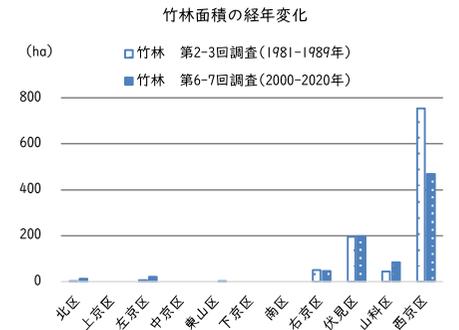
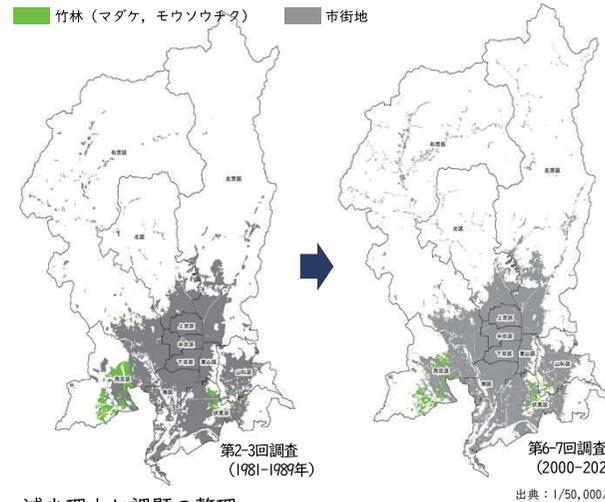
容易 やや難 困難 不明

—入手難易度—

●入手先

・府内産を含め、国内産及び海外産を利用

分布（資源）量の推移



環境省が実施した自然環境保全基礎調査の第2-3回（1981-1989年）と第6-7回（2000-2020年）の調査結果を比較すると、西京区で特に竹林の分布が減少していることが分かる。一方で、市内全域の竹林の面積は大きくは減っておらず、山科区では、竹林面積が増加している。

出典：1/50,000及び1/25,000植生図「京都府」GISデータ(環境省生物多様性センター)を使用し、作成。

減少理由と課題の整理

- 気象害** 枯竹などは台風などの気象害の影響を受けやすい。
- 獣害** イノシシ等獣害被害の増加。
- 担い手（管理）不足** 竹林の維持管理不足から枯竹、倒竹が多く発生し、新しいタケノコの発生が少ない。
- 外来種**
- 都市化** 都市化の影響から分布面積が減少している。



環境の質の変化

竹林の林床は、上層を葉が密に覆うため暗く、一般的に林床植物は貧弱である。古竹の伐採や落ち葉掻きなど林床植物に対する環境改善を行うと、出現種数が5倍になることが観察されている。京都市北嵯峨地区の放棄竹林では、低木層の植被率は低く、また草本層の植被率は極めて低く、アラカシ、チャノキ、ヤブツバキ、サルトリイバラ、アオキ等がわずかに生育するのみであった。竹林経営を行うための本数調整として、景観林として利用することを目的に除伐を行ったところ、竹林内の光環境が改善され、希少種であるホンゴウソウ、シロジャクジョウの生育を確認したほか、新竹発生数も増加した。



※ 枯竹、倒竹多い。 ※ 希少種の確認

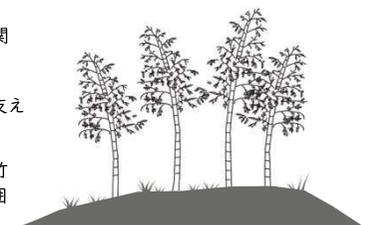
出典：北嵯峨地区の竹林再生活動において撮影。

「京都市らしさ」としての位置付け

指標種：マダケ  
モウソウチク  
ハビタット：竹林



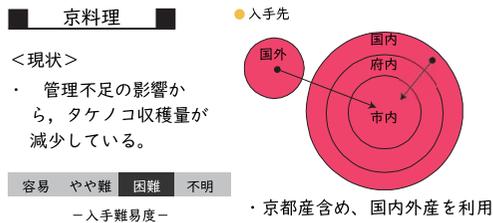
- 様々な構成要素（特に祭事・伝統行事、建築、造園）との関わりが深く、京都の伝統を継承していくには必要な生物資源。
- 竹は生物多様性としての価値とともに、「京都市らしさ」を支える生物資源。
- モウソウチク林に生育するタケノコ等の生物資源も含め、竹林というハビタットで保全再生を図り、竹林管理ができる範囲で実施していくと考えられる。



「京都市らしさ」との関わり



生物資源の利用と調達状況の例



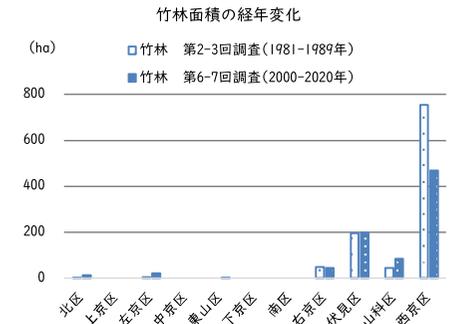
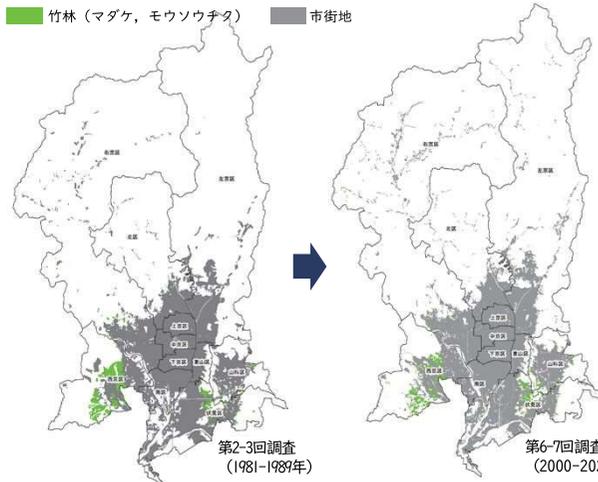
タケノコの分布と生態

京都市はケッペンの気候区分において温帯性区分に位置しており、この区分ではモウソウチクは気温が10℃を超すと成長を開始して12℃で地上に頭を出し、マダケは16～24℃で地上に頭を出す。食用として代表的なタケノコは、モウソウチク、ホテイチク、ハチク、マダケなどがあるが、京だけのこのほとんどがモウソウチクである。

タケノコが伸びる速度は、モウソウチクでは1日に1.2mに達することもある。モウソウチクでは、竹材採取を目的とする場合の生育密度は1ha当たり6,000～7,000本に調整するが、タケノコ採取畑では春季にタケノコの発生を促すために地表温度が上がりやすくなるよう、地表面まで日光が十分に届くように、竹の生育密度を低く抑える必要があり、3,500～4,000本/haとしている。発生本数と管理を考えると、竹材採取地からタケノコ採取畑に転換するには、1ha当たり3,000本ほど伐採する必要がある。

以上より、少なくとも100㎡当たり30本近く伐竹する必要が生じるため、放置竹林を整備し、タケノコ採取畑として維持するためにかかる労力の負担は大きいと考えられる。

分布（資源）量の推移



環境省が実施した自然環境保全基礎調査の第2-3回（1981-1989年）と第6-7回（2000-2020年）の調査結果を比較すると、西京区で特に竹林の分布が減少していることが分かる。一方で、市内全域の竹林の面積は大きくは減っておらず、山科区では、竹林面積が増加している。

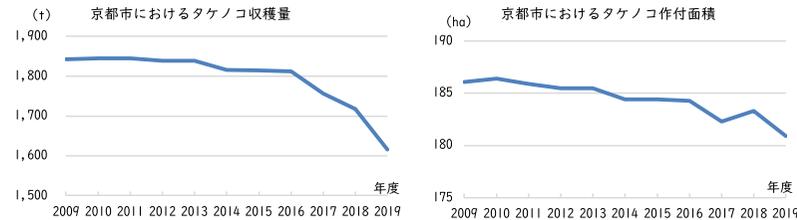
出典：1/50,000及び1/25,000植生図「京都府」GISデータ(環境省生物多様性センター)を使用し、作成。

減少理由と課題の整理

- 気象害** 枯竹などは台風などの気象害の影響を受けやすい。
- 獣害** イノシシ等獣害被害の増加。
- 担い手（管理）不足** 竹林の維持管理不足から枯竹、倒竹が多く発生し、新しいタケノコの発生が少ない。
- 外来種**
- 都市化** 都市化の影響から分布面積が減少している。



タケノコ収穫量・作付面積の推移



京都市におけるタケノコの収穫量及び作付面積は、ともに減少している。

市内の竹林面積は大幅には減っていないことから、市内における放置竹林が増加しているものと推察される。

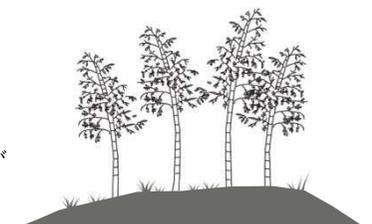
出典：農林統計(京都市)を使用し、作成。

「京都市らしさ」としての位置付け

指標種：タケノコ  
ハビタット：竹林



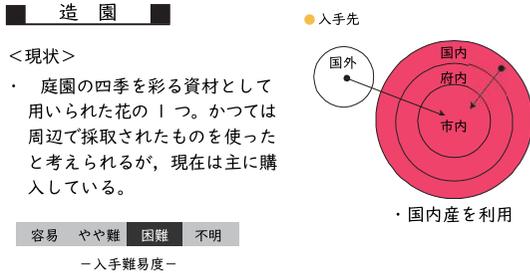
- 京料理等との関わりが深く、京都市らしい食文化の伝統を継承していくには必要な生物資源。
- タケノコは竹とともに、「京都市らしさ」を支える生物資源。
- 竹林というハビタットで保全再生を図りながら、竹林管理ができる範囲で実施していくことが考えられる。



「京都らしさ」との関わり



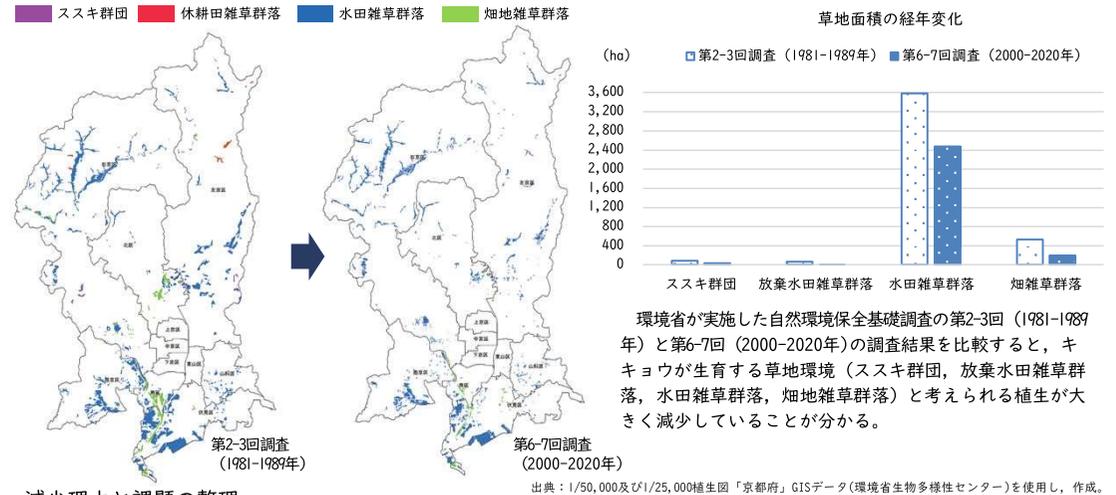
生物資源の利用と調達状況の例



キキョウの分布と生態

キキョウは山野の草地に生え、太い根茎は深く地中に入り、茎は高さ40-100cm、ときに上方が分枝する。花期は7~8月、茎頂近くに数個付き、花冠は直径3-5cm、花柄があり、青紫色であるが、淡紫色や白色のものもある。北海道~九州・奄美群島（諸島）、朝鮮半島・中国・ウスリー・アムールに分布する。観賞用としても栽培され、園芸品種も多い。根茎を水洗し、細根を取り除き乾燥したものが漢方の桔梗根で、薬用にされ、咳や痰を取り、気管支炎などに効くと言う。

分布（資源）量の推移



減少理由と課題の整理

- 気象害
  - 獣害
  - 担い手 (管理) 不足
  - 外来種
  - 都市化
- ニホンジカ等獣害被害の増加。  
耕作地等を含め、管理不足から放置化。  
外来種が繁茂し、在来種の生育環境が悪化。

質の推移



「京都らしさ」としての位置付け

指標種: キキョウ  
ハビタット: 草地



- 造園の資材等との関わりが深く、京都らしい庭園風景を継承していくには必要な生物資源。
- キキョウとともに、オケラ、ススキなど草地性の植物全般をハビタットして捉え、保全・再生を図ることが考えられる。
- 市内の草地面積は少ないものの、草地植物の活用は、祭事・伝統行事 (オケラ, フタバアオイなど)、造園 (キキョウ, オミナエシなど) などの構成要素で使われてきた。



「京都らしさ」との関わり



生物資源の利用と調達状況の例



**川魚料理**

●入手先

＜現状＞

- 川魚料理はかつては食卓に普通に見られる食材であったが現在では河川改修、カワウや外来魚などの影響により減少している。

容易 やや難 困難 不明

—入手難易度—

アユの分布と生態

アユは、体長約20cm、北海道西部・本州・四国・九州、朝鮮半島～ベトナム北部・台湾に分布し、川の流れが比較的緩やかで、川底が礫で覆われる河川中流域や湖沼の岩盤や礫石底の瀬や淵に生息する。背はオリーブ色を帯び、成長に伴い体側部に大きな黄色い斑紋が現れる。形、香、味、生息環境、独特の漁法などの点で申し分のない日本の代表的な魚。独特の風味があり塩焼きにして極めて美味、フライ、魚田、すし、うるかなどにもする。



出典：京都府（2021）京都府内水面漁業振興計画

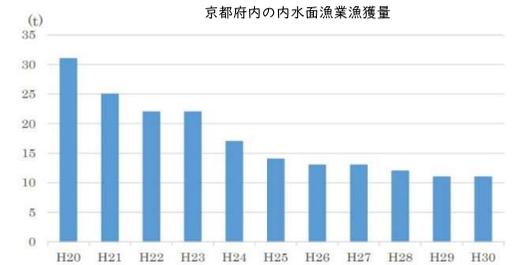
京都府下には、淀川水系と由良川水系の二大水系があり、水系によって生息する生物、漁業資源にそれぞれ特徴がある。

京都市内を流れる多くの河川が属する淀川水系の河川は、大阪府を流れ、大阪湾に流れ込む。上流はアマゴ、中流はアユ、中流から下流にはコイ、フナ、オイカワ等が生息しており、漁業資源として利用されている。また、アユモドキやイタセンパラ等の絶滅危惧種や、琵琶湖水系固有種が生息し、生物多様性が高いのが特徴である。

分布量の推移

内水面漁業漁獲量※（販売を目的として漁獲された量で、遊漁による採捕量は含まない）は、10年前と比べて約35%となっており、著しく減少している。減少の原因は、カワウや外来魚による食害、漁場環境の悪化、高齢化や過疎化による漁業者の減少等が考えられる。

※ 内水面漁業漁獲量：河川・池・沼の淡水における漁業

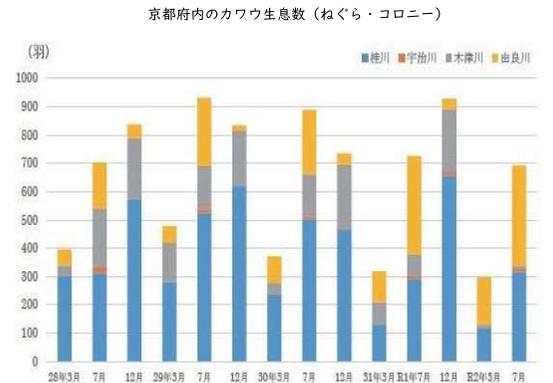


出典：京都府（2021）京都府内水面漁業振興計画

生息環境等の変化

淡水魚は海水魚と同様、古来より重要な食糧資源として利用されてきたが、近年、多くの種が減少傾向にあり、その原因は、護岸工事や川の直線化、池や水路の埋め立てによる生息環境の悪化と消失である。また、小魚を主な餌とするオオクチバスやコクチバス、ブルーギルといった外来魚が増えたことも、淡水魚の減少に拍車をかけている。

また、季節的に大きく変動があるが、京都府には300羽から1,000羽程度のカワウが生息している。カワウは魚食性の鳥で、1990年代から全国的に生息数が急増したことで内水面漁業に甚大な影響を与えている。



出典：京都府（2021）京都府内水面漁業振興計画

減少理由と課題の整理

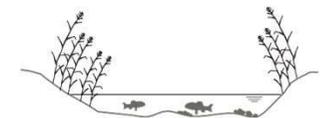
気象害	
獣害	カワウの増加による食害。
担い手（管理）不足	漁業従事者の減少。
外来種	外来種増加による生息環境の悪化。
都市化	河川改修工事等による生息環境の悪化。

「京都らしさ」としての位置付け

指標種：アユ  
ハビタット：水辺



- 川魚料理等との関わりが深く、京都らしい食文化の伝統を継承していくには必要な生物資源。
- 市内の水環境で採れる川魚は古くから市民の郷土料理として親しまれてきた。
- 河川改修工事等により、アユ等が遡上しにくい環境となっており、生息環境が悪化している。



「京都らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
祭事・ 伝統行事	1	祇園祭	厄除け粽	チマキザサ, イグサ, 稲藁	ヒアリング	植物	自然採取	森林, 耕作地	市内	容易	重要無形民俗文化財 京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(京の商いと祇園祭を支えるまち) 京都三大祭り
			山鉾	ヒノキ, ケヤキ, マツ, スギ, サカキ, 竹, 藁(縄), アカガシ(車輪の材料), シダレヤナギ, トクサ, ササ, ヤマドリ	ヒアリング	植物	自然採取, 購入	森林	市内(アカマツ), 国内	容易 困難(マツ)	
			山鉾の御輿渡御等	イネ, ウマなど	ヒアリング	植物, 動物		その他			
			辻廻し	カシ類 ※かつてはカシ類の枝条を用いていたが, 現在はモウソウチクを使用	ヒアリング	植物		森林			
			吉符入神饌	イカ, コンブ	ヒアリング	動物, 海藻		水辺			
	2	葵祭	葵桂(装飾品)	フタバアオイ, カツラ	ヒアリング	植物	栽培(フタバアオイ)	森林	市内	容易	京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り) 京都三大祭り
			牛車	フジ, カキツバタ, ウシ	ヒアリング	植物, 動物	飼育(ウシ)	森林			
	3	時代祭	牛車	ウシ	ヒアリング	動物		その他		京都市登録無形民俗文化財 京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り) 京都三大祭り	
	4	白朮(をけら)祭	おけら火	オケラ(生薬のビャクジュツ)	ヒアリング	植物	購入	草地	国外		京都市登録無形民俗文化財 京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:大晦日) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
			削り掛け	ヒノキ	ヒアリング	植物	自然採取(管理している森), 奉納	森林	市内		
			吉兆縄 粥杖	竹 モモ	ヒアリング ヒアリング	植物 植物	購入	森林 森林	国内 市内		
	5	節分祭	豆まきの副豆	ダイズ	ヒアリング	植物	購入	耕作地		京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:節分)	
	6	節分(五條天神宮(天徳社))	宝船, 勝餅, 白朮を授与	オケラ(生薬のビャクジュツ(白朮))	ヒアリング	植物	購入	草地	国外		
	7	ひなまつり	流し雛のさんだわら	藁	ヒアリング	植物		耕作地		京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:桃の節句)	
	8	お火焚き祭	護摩木	ヒノキ, スギ	ヒアリング	植物	購入(ヒノキ), 自然採取(スギ)	森林	市内, 府内	容易, やや困難(ヒノキ)	京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お火焚き) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
稲藁			イネ	ヒアリング	植物	奉納	耕作地	市内, 府内	容易		
9	嵐山もみじ祭	小倉山の紅葉	モミジ	ヒアリング	植物		森林	市内		京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:紅葉狩り)	

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠	
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ		
祭事・ 伝統行事	10	ずいき祭(北野天満宮)	神輿の屋根のずいき	サトイモ、ズイキ、赤茄子、五色唐辛子、千日紅、麦、湯葉、麩、海苔	図書、ヒアリング	植物	栽培	耕作地	市内	容易	京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り)	
	11	松尾大社御田祭	早苗	イネ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地	国内	容易	京都市登録無形民俗文化財 京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り)	
	12	花まつり	甘茶	アマチャ	ヒアリング	植物		森林			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り)	
	13	菖蒲神事	巫女の飾り	ショウブ、ヨモギ	ヒアリング	植物		草地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り)	
	14	萩まつり	—	ハギ、スズムシ	ヒアリング	植物、動物	境内生育(ハギ)	草地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:祭り)	
	15	鞍馬火祭	松明	コバノミツバツツジ、クロモジ、ヒサカキ、ソヨゴ、アカマツ、フジなど	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	困難	京都市登録無形民俗文化財 京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り) 京都三大奇祭	
			かがり火	アカマツ、スギ、広葉樹	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	困難		
	16	岩倉火祭	松明	スギ、ヒノキ、タケ、シバ(灌木)	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	困難(スギが入手困難でヒノキに転換)、容易(タケ)	京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)	
	17	やすらい花(やすらい祭)	花傘	サクラ、ツバキ	ヒアリング	植物	購入	森林			重要無形民俗文化財、京都三大奇祭	
	18	三栖の炬火祭	大炬火	ヨシ(宇治川)、フジ蔓	ヒアリング	植物	自然採取	水辺	市内(ヨシ)	容易(ヨシ) 困難(フジ)	京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(京と大阪をつなぐ港まち・伏見)	
	19	菖蒲湯	—	ショウブ	ヒアリング	植物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:菖蒲の節句)	
	20	薬玉	薬香料(麝香、沈香など)	ジャコウジカ、ジンコウ(香木)	ヒアリング	植物、動物		その他				京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:菖蒲の節句)
			菖蒲	ショウブ	ヒアリング	植物		水辺				
			蓬	ヨモギ	ヒアリング	植物		草地				
	21	七夕の笹	—	笹	ヒアリング	植物		森林			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:笹の節句)	
	22	菊の着綿	—	キク、ワタ	ヒアリング	植物		草地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:菊の節句)	
	23	節分の柊鯛	—	イワシ、ヒイラギ	ヒアリング	植物、動物		その他			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:節分)	
	24	花見	—	サクラ	ヒアリング	植物		森林			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:花見)	
	25	紅葉狩り	—	モミジ	ヒアリング	植物		森林			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:紅葉狩り)	
	26	茅の輪くぐり	茅の輪	チガヤ	ヒアリング	植物	自然採取	草地	市内	困難	京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:夏越の祓)	
	27	嵐山鶉飼い	—	鶉、アユ等の川魚	ヒアリング	動物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事)	
	28	月見	芋名月	サトイモ	ヒアリング	植物		耕作地				京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:月見)
			栗名月	クリ	ヒアリング	植物		森林				
			豆名月	ダイズ(枝豆)	ヒアリング	植物		耕作地				
			お供えの飾り	ススキ	ヒアリング	植物		草地				

「京都らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
祭事・ 伝統行事	29	観月のタベ									京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:月見)
	30	柚子風呂	—	ユズ	ヒアリング	植物		耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:冬至)
	31	六道まいり	高野槇の葉	コウヤマキ	図書, ヒアリング	植物	購入	森林	市内	やや困難	京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お精霊迎え)
	32	万灯会									京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お精霊迎え) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
	33	五山の送り火	松明	アカマツ	ヒアリング	植物	購入	森林	市内, 府内, 国内	困難	京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お精霊送り) 京都市無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
	34	地蔵盆	供物などの飾り付け	ホオズキ, アカマツ(数珠まわし)	ヒアリング	植物		耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の地蔵盆)
	35	地鎮祭	神式, 仏式	マダケ	ヒアリング	植物	購入	森林			
	36	愛宕山の千日参り	火難除けのお守り	シキミ	ヒアリング	植物		森林			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:暮らしを守る) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
	37	お正月	根引松	マツ	ヒアリング	植物		森林			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お正月)
			しめ縄	藁	ヒアリング	植物		耕作地			
			注連(しめ)かざり	ユズリハ, シダ, ホンダワラ, 橙, 藁	ヒアリング	植物		森林			
			掛蓬菜	ヒカゲノカズラ	ヒアリング	植物		森林			
			柳箸	ヤナギ	ヒアリング	植物		水辺			
	38	書初め	筆	ウマ, タヌキ, イタチ, シカ, ヤギ, ネコ, テン, リス, クマネズミ等	ヒアリング	動物		その他			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お正月)
			墨(煤, にかわ, 香料)	煤:アカマツ, アブラナなど にかわ:牛, 豚, 水牛など 香料:龍腦(リュウノウジュ), 麝香(ジャコウジカ)など	ヒアリング	植物, 動物		その他			
			唐紙	区分「工芸品」No.31の「唐紙」と同じ	ヒアリング	植物, 動物		その他			
和紙			ミツマタ, コウゾ, アサ, ガンピ	ヒアリング	植物		森林				
画仙紙			竹	ヒアリング	植物		森林				
39	花笠踊り(久多)	花笠の花飾り	竹(モウソウチク), キブシ, ハシマメ(灌木)	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	やや困難(ハシマメ)	重要無形民俗文化財	
40	矢代田楽(田楽踊)	踊りの衣装(笠)	竹	ヒアリング	植物		森林			京都府指定無形民俗文化財	

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠	
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ		
祭事・ 伝統行事	41	山国隊軍楽	篠笛	トウ、ウルシ、竹	ヒアリング	植物	購入	森林			京都府登録無形民俗文化財	
			小太鼓(スネアドラム)	胴:カエデ、カバ、ブナ、ポプラ、ブビンガ、ローズウッド等 ヘッド:牛(皮)	ヒアリング	植物、動物	購入	森林				
			大太鼓		ヒアリング							
	42	嵯峨お松明	松明	アカマツ、フジ、ヤマツツジ、竹	ヒアリング	植物	購入(アカマツ)	森林	市内		京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)	
			護摩壇	アカマツ、ヒノキ	ヒアリング	植物		森林				
	43	賀茂競馬	—	ウマ	ヒアリング	動物	飼育	その他			京都市登録無形民俗文化財	
	44	藤森神社駈馬	—	ウマ	ヒアリング	動物	飼育	その他			京都市登録無形民俗文化財	
	45	鞍馬竹伐り会	—	竹(モウソウチク、マダケ)	ヒアリング	植物	購入	森林	府内	困難	京都市登録無形民俗文化財	
	46	花背松上げ	投げ上げる松明	アカマツ、ヒノキ、シラカバ、スギ、藁	ヒアリング	植物	現地調達(スギ、ヒノキ、アカマツ)、 購入(藁)	森林	市内(スギ、ヒノキ、アカマツ、 藁)	容易(スギ、ヒノキ、 アカマツ)、 やや困難(藁)		京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
			松上げの土台	ススキ、スギ、フジ、イネ、ヒノキ、クリ	ヒアリング	植物		その他	市内	困難(フジ)		
			投げ上げる松明	アカマツ、ヒノキ、シラカバ、スギ、藁	ヒアリング	植物		森林				
	47	広河原松上げ	松上げの土台	ススキ、スギ、モウソウチク、イネ、ヒノキ、クリ、フジ、ムラサキ	図書	植物		その他				京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
			投げ上げる松明	アカマツ、ヒノキ、シラカバ、スギ、藁	ヒアリング	植物		森林				
	48	久多宮の町松上げ	投げ上げる松明	アカマツ、ヒノキ、シラカバ、スギ、藁	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内(アカマツ、ヒノキ、スギ、 藁)	やや困難(アカマツ)		京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
松上げの土台			スギ、モウソウチク、ヒノキ、アスナロ、フジ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	やや困難(フジ)			
49	小塩の上げ松	投げ上げる松明	アカマツ、ヒノキ、シラカバ、スギ、藁、フジ、ススキ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内(ヒノキ、スギ、 藁)	困難(フジ)		京都府登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)	
		松上げの土台	スギ、マダケ、モウソウチク、ヒノキ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	やや困難(マダケ、 モウソウチク)			
50	雲ヶ畑松上げ	松明	アカマツ	ヒアリング	植物		森林			京都市登録無形民俗文化財 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)		
51	烏相撲	本殿へのお供え	キク	ヒアリング	植物		草地			京都市登録無形民俗文化財		
52	西ノ京瑞鎮神輿	瑞鎮	サトイモ	ヒアリング	植物		耕作地			京都市登録無形民俗文化財		

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
祭事・ 伝統行事	53	北白川高盛御供	神饌(しんせん)	コイモ, ダイコン, イカ, コメ, トビウオ, シイラ, カキ, サツマイモ, クリ, ダイズ (枝豆, 豆腐, 味噌)	ヒアリング	植物, 動物		耕作地			京都市登録無形民俗文化財
	54	賀茂別雷神社	神饌(しんせん)	イネ, アユ, フタバアオイ, コンブ, ヒカゲノカズラ, シキミ	論文, ヒアリング	植物, 動物	購入, 栽培 (イネ)	耕作地, 水辺, 森林	市内	やや困難	
	55	しこぶち神社	神饌(しんせん)	オコゼ	ヒアリング	動物		水辺			
	56	賀茂別雷神社(葵祭)	延喜式	イネ, コイ, アユ, サバ, アワビ, スルメ, ダイコン, ゆり根, ナス, ノリ, 神馬草(アカモク), 打栗 他	論文	植物, 動物		耕作地, 水辺, 森林			
	57	賀茂御祖神社(葵祭)	延喜式	白米(うるち), マス, サワラ, エビ, ごまめ, アユ, タイ, アワビ, アジ, サバ, フナ, 搗(つく)栗, 長芋 他	論文	植物, 動物		耕作地, 水辺, 森林			
	58	松ヶ崎題目踊・さし踊									京都市登録無形民俗文化財
	59	鉄仙流白川踊									京都市登録無形民俗文化財
	60	修学院大日踊・紅葉音頭	松明		ヒアリング						京都市登録無形民俗文化財
	61	大原八朔踊	菅笠	カサスゲ	ヒアリング	植物		水辺			京都市登録無形民俗文化財
	62	上賀茂紅葉音頭									京都市登録無形民俗文化財
	63	八瀬赦免地踊									京都市登録無形民俗文化財
	64	木遣音頭									京都市登録無形民俗文化財
	65	日野裸踊	牛王宝印	ヤナギ	ヒアリング	植物	自然採取	水辺	市内	やや困難	京都市登録無形民俗文化財
	66	市原ハモハ踊・鉄扇									京都市登録無形民俗文化財
	67	一乗寺鉄扇									京都市登録無形民俗文化財
	68	蹴鞠	鞠	シカ(鹿革), ウマ(馬革)	ヒアリング	動物		その他			京都市登録無形民俗文化財
	69	上賀茂さんやれ		シキミ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	容易	京都市登録無形民俗文化財
	70	大田神社の巫女神楽									京都市登録無形民俗文化財
	71	広河原ヤッサコサイ									京都市登録無形民俗文化財
	72	一乗寺八大神社の剣鉾差し		ウルシ, ヒノキ	ヒアリング	植物		森林	市内, 国外 (ウルシ)	容易	京都市登録無形民俗文化財
73	西院春日神社の剣鉾差し		ウルシ, ヒノキ	ヒアリング	植物		森林	市内, 国外 (ウルシ)	容易	京都市登録無形民俗文化財	
74	嵯峨祭の剣鉾差し		ウルシ, ヒノキ	ヒアリング	植物		森林	市内, 国外 (ウルシ)	容易	京都市登録無形民俗文化財	
75	梅ヶ畑平岡八幡宮の剣鉾差し		ウルシ, ヒノキ	ヒアリング	植物		森林	市内, 国外 (ウルシ)	容易	京都市登録無形民俗文化財	
76	上高野念仏供養踊									京都市登録無形民俗文化財	

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
祭事・ 伝統行事	77	木野愛宕神社の烏帽子着	お供え	カキ, クリ, キク, ケイトウ, 藁等	ヒアリング	植物		森林			京都市登録無形民俗文化財
	78	小山の山の神	勧請縄	ミカン, シキミ, サカキ, マツ, 竹, シノブダケ, 藁	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	やや困難(マツ, シキミ, シノブダケ)	京都市登録無形民俗文化財
	79	久多の山の神・お弓	弓矢	ムラサキシキブ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内	容易	京都市登録無形民俗文化財
			藁草履	藁	ヒアリング	植物	自然採取	耕作地	市内	容易	
	80	大原上野町のおこない・お弓	サイコロ転がし	ダイコン	ヒアリング	植物		耕作地			京都市登録無形民俗文化財
			弓矢の的	竹	ヒアリング	植物		森林			
	81	平岡八幡宮の三役相撲									京都市登録無形民俗文化財
	82	御香宮祭礼獅子									京都市登録無形民俗文化財
	83	建仁寺四頭茶礼	お菓子(びりコン)	ツバキ, コンニャクイモ	ヒアリング	植物	購入	森林			京都市登録無形民俗文化財
	84	真如堂の十夜鉦									京都市登録無形民俗文化財
85	大原野神社の神相撲									京都市登録無形民俗文化財	
86	御戸代会(みとしろえ)神事(上賀茂神社)	ヒオウギ	ヒオウギ	ヒアリング	植物	栽培	草地				
食	1	清酒	—	イネ(山田錦等), コウジカビ	ヒアリング, アンケート	植物	栽培(イネ)	耕作地	市内(イネ), 府内, 国内	容易(イネ)	京都市の伝統産業(国指定以外) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(京と大阪をつなぐ港まち・伏見)
			引千切	アズキ, ヨモギ, イネ(もち米)等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
	2	和菓子	ちまき	アズキ, クズ, 笹, イネ(うるち米)等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			柏餅	アズキ, カシワ, イネ(うるち米)等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			水無月	アズキ, コムギ, イネ(もち米)等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外) 京都をつなぐ無形文化遺産(京の菓子文化)
			月見だんご	アズキ, イネ(うるち米, もち米)等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			亥の子餅	アズキ, ゴマ, イネ(もち米)等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			お火焚きまんじゅう	アズキ, コムギ, ヤマイモ等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
食	2	和菓子	はなびら餅	シロインゲンマメ, ゴボウ, ダイズ(味噌), イネ(うるち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外) 京都をつなぐ無形文化遺産(京の菓子文化)
			うぐいす餅	アズキ, ダイズ(青大豆), イネ(もち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			椿餅	アズキ, ツバキ, ニッケイ, イネ(もち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			花見だんご	アズキ, シロインゲンマメ, ヨモギ, 竹 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			桜餅	アズキ, サクラ, イネ(もち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			あんころ餅	アズキ, イネ(もち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			葛きり	クズ, サトウキビ(黒糖蜜)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			栗ようかん	アズキ, クリ, テングサ, オゴノリ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			八つ橋	ニッケイ, イネ(うるち米)	ヒアリング	植物	栽培	森林			
			稚児餅	ダイズ(白味噌), イネ(もち米), 竹 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			行者餅	シロインゲンマメ, サンショウ, コムギ, イネ(もち米), ダイズ(味噌) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			おはぎ	アズキ, イネ(もち米), ダイズ(きな粉)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			落雁	イネ(うるち米, もち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			有平糖	サトウキビ 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			生砂糖(きざと)	イネ(もち米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			和三盆	サトウキビ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			煎餅	コムギ, イネ(もち米), ニワトリ(卵) 等	ヒアリング	植物, 動物	栽培	耕作地			
送り団子, お供え団子, 迎え団子	アズキ, イネ(うるち米) 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地						
商品の題材	雀, 雁 等	ヒアリング	動物		その他						
3	三角おこし	—	イネ(新米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お火焚き)	
4	焼きみかん	—	ミカン	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お火焚き)	
5	京漬物	千枚漬	カブ, コンブ	アンケート	植物	栽培	耕作地	府内, 国内(コンブ)		京都市の伝統産業(国指定以外) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)	

「京らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
食	5	京漬物	すぐき漬	スグキナ	アンケート	植物	栽培	耕作地	市内, 府内		京都市の伝統産業(国指定以外) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
			柚子入り大根	ユズ, ダイコン	アンケート	植物	栽培	耕作地	府内(ユズ), 国内	困難(ユズ)	
			京タケノコ漬	タケノコ	アンケート	植物	栽培	耕作地	府内		
			京山科なす糠床漬	山科ナス	アンケート	植物	栽培	耕作地	府内		
			京こかぶ漬	コカブ	アンケート	植物	栽培	耕作地	市内	困難	
			しば漬	ナス, キュウリ, シソ, ショウガ, ミョウガ	アンケート	植物	栽培	耕作地	市内(シソ) 国内(キュウリ, ショウガ, ミョウガ)		
			どぼ漬	ナス, キュウリ 等	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			菜の花漬	ナノハナ	アンケート	植物	栽培	耕作地	府内		
			壬生菜漬	ミブナ	アンケート	植物	栽培	耕作地	国内	困難	
			おころこ	ダイコン	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
	桂うりのみりん漬け	桂うり	ヒアリング	植物	栽培	耕作地	府内	困難			
	6	精進料理	—	ダイズ(豆腐, 湯葉, 納豆), 小麦(生麩)	アンケート	植物	栽培	耕作地	国内		京都市の伝統産業(国指定以外) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
	7	京料理	—	マツタケ, 魚(鮎), 山菜, タケノコ, イノシシ	ヒアリング	植物, 動物	自然採取(魚, タケノコ, マツタケ, イノシシ)	森林, 草地, 水辺	市内, 府内, 国内, 国外	困難	京都市の伝統産業(国指定以外) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
	8	懐石料理	—	イネ(うるち米, もち米(飛竜頭)), カボチャ, 万願寺トウガラシ, サトイモ, ショウガ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
	9	ばらずし	—	イネ(米), サバ, シイタケ, ニワトリ(卵), ユウガオ, 魚(かまぼこ), タケノコ, ショウガ	ヒアリング	植物, 動物		耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: 桃の節句)
10	冬至の七種	—	カボチャ, レンコン, ニンジン, イチョウ(銀杏), キンカン	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: 冬至)	
11	あらめの煮物	—	あらめ	ヒアリング	植物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: お精霊送り)	
12	お精霊さんのお膳	—	ダイズ, 小麦(麩), コイ, ナス, ズイキ, アラメ, ゼンマイ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: お精霊迎え)	
13	畑菜の辛子和え	—	畑菜, カラシナ(辛子)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: 初午)	
14	数の子(正月の祝い肴)	—	ニシン(数の子)	ヒアリング	動物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: お正月)	
15	田作り(正月の祝い肴)	—	カタクチイワシ, ウラジロ	ヒアリング	動物	自然採取	水辺, 森林	市内, 府内		京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: お正月)	

「京らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
食	16	たたきごぼう(正月の祝い肴)	—	ごぼう	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お正月)
	17	お雑煮	—	ダイズ, イネ(もち米), サトイモ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お正月)
	18	おせち	ごまめ, 数の子, たたきごぼう, 黒豆など		ヒアリング						京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:お正月)
	19	おぼんざい	なすの田楽	ナス	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:おぼんざい市民が選んだベスト3)
			菜っ葉とお揚げの炊いたん	菜っ葉, ダイズ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			ちりめん山椒など	イワシ, サンショウ	ヒアリング	植物	自然採取	水辺			
	20	鏡餅と水菜入りすまし汁	—	イネ(もち米), ミズナ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(鏡開き))
	21	あずき粥	—	アズキ, イネ(米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(小正月))
	22	ぜんざい	—	アズキ, イネ(もち米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(藪入り(1月16日)))
	23	かしわのすき焼き	—	ニワトリ	ヒアリング	動物		耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(藪入り(1月16日)))
	24	塩いわし	—	イワシ	ヒアリング	動物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(節分))
	25	七草粥	—	セリ, ナズナ, ゴギョウ, ハコベラ, ホトケノザ, スズナ, スズシロ	ヒアリング	植物	自然採取	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:七草の節句)
	26	ハマグリ潮汁	—	ハマグリ	ヒアリング	動物	自然採取	水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事:桃の節句)
	27	ささげとなすのごま和え	—	ササゲ, ナス	ヒアリング	植物	自然採取	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(お盆))
	28	あらめ炊き	—	アラメ	ヒアリング	植物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(お盆))
	29	ずいきのなます	—	サトイモ科(ずいき)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(お盆))
	30	大根焚き	—	ダイコン, ダイズ(おあげ)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(12月)) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(火の信仰と祭り)
	31	かぼちゃの煮付	—	カボチャ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(お盆, 冬至))
32	年越しそば	—	ソバ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化:行事食(大晦日))	
33	にしんそば	—	ニシン, ソバ	ヒアリング	植物, 動物		耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
34	おきまり料理(毎月1日)	小豆ごはん	アズキ, イネ(米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
		鯉昆布	ニシン, コンブ	ヒアリング	植物, 動物	栽培	水辺				
		なます	ダイコン, ニンジン	ヒアリング	植物	栽培	耕作地				
35	おきまり料理(8のつく日)	あらめと油揚げの炊いたん	アラメ, ダイズ(おあげ)	ヒアリング	植物	栽培	水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
36	おきまり料理(毎月15日)	小豆ごはん	アズキ, イネ(米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
食	36	おきまり料理(毎月15日)	棒だらとえび芋の煮しめ なます	タラ, サトイモ ダイコン, ニンジン	ヒアリング ヒアリング	植物 植物	栽培 栽培	水辺 耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
	37	おきまり料理(毎月末日)	おから	ダイズ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
	38	鯖寿司	—	サバ, イネ(米)	ヒアリング	植物, 動物	栽培	水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
	39	お食い初め	赤飯	イネ(もち米), アズキ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
			蛤のお吸い物	ハマグリ	ヒアリング	動物	栽培	水辺			
			紅白なます	ダイコン	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			梅干し	ウメ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			
			尾頭付きの鯛	タイ	ヒアリング	動物		水辺			
	柳箸	ヤナギ	ヒアリング	植物	栽培	水辺					
	40	乾物	昆布, あらめ, ひじき, 切干し大根, 干柿	コンブ, アラメ, ヒジキ, ダイコン, カキ	ヒアリング	植物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
	41	北山の栃餅	—	トチノキ	ヒアリング	植物		森林			
	42	京北の納豆/納豆餅	—	ダイズ, イネ	ヒアリング	植物		耕作地			
	43	豆腐	—	ダイズ, にがり(凝固剤), イネ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地	国内		京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
	44	湯葉	—	ダイズ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
	45	生麩	—	小麦, イネ(もち米)	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)
	46	ジュンサイ料理	—	ジュンサイ	ヒアリング	植物	自然採取	水辺	国内	困難	
	47	京まつたけ, 丹波まつたけ	—	マツタケ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内	困難	
48	塩干物	棒だら, 塩さば, 鮎	タラ, サバ, アユ	ヒアリング	動物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
49	佃煮	鷺知らず	鴨川でとれる稚魚	ヒアリング	動物		水辺			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
		京都市内で供給	アユ, ニホンウナギ(宇治川でとれる鰻を宇治丸という), オイカワ, オオキンブナ, ドジョウ, ナマス, ギギ, サツキマス, アマゴ(南部), カワヨシノボリ, カジカ, エビ(テナガエビ), カニ(モクズガニ), ハエ, モロコ	ヒアリング	動物	自然採取(アユ, ニホンウナギ), 養殖(ニホンウナギ)	水辺	市内, 府内, 国内, 国外(ニホンウナギ)	やや困難(ニホンウナギ), 困難(アユ)		
			京都北部から供給	サクラマス, ヤマメ, ゴリ, ウグイ, カジカ, エビ, カニ	ヒアリング	動物	自然採取	水辺	府内		困難(ヤマメ)
50	川魚などの魚料理	—	あんこう(オオサンショウウオ)	ヒアリング	動物		水辺				

「京らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京らしさ」の構成要素とした根拠	
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ		
食	50	川魚などの魚料理	琵琶湖から供給	コアユ, ビワマス, ホンモロコ, スゴモロコ, ビワヒガイ, ハス, コイ, フナ(ニゴロブナ, ゲンゴロウブナ, ギンブナ), イサザ, ビワヨシノボリ	ヒアリング	動物	自然採取	水辺				
			海から供給	ハモ, グジ(アマダイ)	ヒアリング	動物	自然採取	水辺				
	51	白味噌	—	イネ(米), ダイズ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地			京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
	52	京野菜	—	辛味だいこん, 青味だいこん, 茎だいこん, 聖護院だいこん, 松ヶ崎浮葉かぶ, うぐいす菜, すぐき菜, 聖護院かぶ, みず菜, 壬生菜, はたけ菜, もぎなす, 山科なす, 賀茂なす, 鹿ヶ谷かぼちゃ, 田中とうがらし, 桂うり, えびいも, 堀川ごぼう, 梶野ささげ, 京うど, 京みょうが, 九条ねぎ, 京せり, くわい, 京たけのこ, 伏見とうがらし, 桃山だいこん, 鷹峯とうがらし	ヒアリング	植物	栽培	耕作地	市内, 府内, 国内	やや困難	京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(千年の都の水の文化)	
	53	地域野菜	—	嵯峨きゅうり, 太秦なす, 佐波賀大根, 木の芽煮(サンショウ), 洛西のタケノコ, 水尾の実生ユズ, 別所とうがらし, 深泥池のジュンサイ	ヒアリング	植物	栽培	耕作地	市内		困難	
			食用水生植物	コナギ, ミズアオイ 等	ヒアリング	植物	自然採取, 栽培	水辺				
	54	抹茶	原材料	チャノキ	ヒアリング	植物		森林				京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
			遮光資材	ヨシ, 藁	ヒアリング	植物		水辺				
	55	玉露	原材料	チャノキ	ヒアリング	植物		森林				京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
			遮光資材	ヨシ, 藁	ヒアリング	植物		水辺				
	56	煎茶	原材料	チャノキ	ヒアリング	植物		森林				京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)
57	ほうじ茶	原材料	チャノキ	ヒアリング	植物		森林				京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
58	京番茶	原材料	チャノキ	ヒアリング	植物		森林				京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
59	かりがね	原材料	チャノキ	ヒアリング	植物		森林				京都をつなぐ無形文化遺産(京の食文化)	
60	鳥屋場(とりやま, とりば)	伝統的な生態学的知識, 野帳の生育と狩猟に適した環境	アトリ, ホホオジロ 等	ヒアリング	鳥類	自然採取	森林					
61	薬	原材料(薬用植物)	オミナエシ, キキョウ 等	ヒアリング	植物	自然採取	草地					
染織	1	西陣織	絹	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			国指定伝統的工芸品, 京都をつなぐ無形文化遺産(京のきもの文化)	
			染料								まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)	
			織機の部品(竹箴など)	竹	ヒアリング	植物		森林				

「京らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
染織	2	京友禪	絹	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			国指定伝統的工芸品, 京都をつなぐ無形文化遺産(京のきもの文化) まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
			手描友禪の筆の毛	タヌキ, ヒツジ, ウマ 等	ヒアリング	動物		その他			
			下絵の染料	オオボウシバナ	ヒアリング	植物		耕作地			
			染料	アカネ, アイ, ウコン, ベニバナ, ムラサキ, カイガラムシ等	ヒアリング	植物, 動物		耕作地			
	3	京鹿の子絞	絹糸	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			
			綿糸	木綿	ヒアリング	植物		耕作地			
			麻糸	アサ	ヒアリング	植物		耕作地			
			下絵の染料	オオボウシバナ	ヒアリング	植物		耕作地			
			染料								
		鹿皮 (一部の事業者で鹿皮を活用した商品を販売)	シカ	ヒアリング	動物		その他				
4	京小紋	絹	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			国指定伝統的工芸品	
5	京くみひも	生糸, 玉糸若しくはこれらと同等の材質を有する絹糸	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			国指定伝統的工芸品	
		綿糸	木綿	ヒアリング	植物		耕作地				
		金糸, 銀糸	ウルシ	ヒアリング	植物		森林	国外			
6	京繻	絹糸	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			国指定伝統的工芸品 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)	
		漆糸	ウルシ	ヒアリング	植物		森林	国外			
		金糸, 銀糸	ウルシ	ヒアリング	植物		森林	国外			
7	京黒紋付染	絹	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			国指定伝統的工芸品	
		染料	ベニバナ, ピンロウジュ(檳榔樹)	ヒアリング	植物		耕作地				
8	京房ひも・燃ひも	絹	カイコ, クワ	その他	動物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)	
9	京の水藍	染料	マルバアイ	ヒアリング	植物		耕作地				
工芸品	1	京仏壇	木地	マツ, ヒノキ, スギ, ケヤキ等	ヒアリング	植物		森林			国指定伝統的工芸品
			漆塗	ウルシ	ヒアリング	植物		森林	国外		
			蠟色	ウルシ, シカ(角)	ヒアリング	植物, 動物		森林			
	2	京仏具	木地	マツ, ヒノキ, スギ, ケヤキ, 香木(コクタン, シタン)等	ヒアリング	植物	購入	森林	国内(ヒノキ, マツ), 国外(コクタン, シタン)	困難(コクタン, シタン)	国指定伝統的工芸品
			漆塗	ウルシ	ヒアリング	植物	購入, 栽培	森林	国内, 国外		
		蠟色	ウルシ	ヒアリング	植物	購入, 栽培	森林	国内, 国外			

「京らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
工芸品	3	京漆器	木地	ヒノキ, スギ, ケヤキ, トチ, カツラ, キリ, 竹(モウソウチク)等	ヒアリング	植物	購入, 自然採取	森林	市内, 府内, 国内	容易	国指定伝統的工芸品 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
			筆	ネズミ(の毛)	ヒアリング, アンケート	動物		その他	府内	困難	
			漆塗	ウルシ	ヒアリング, アンケート	植物	購入	森林	国外		
			螺鈿	アワビ, ヤコウガイ, シロチョウガイなど	ヒアリング, アンケート	動物		水辺	国外		
	4	京指物	木工品の材	スギ, サワラ, キリ, ケヤキ等	ヒアリング	植物		森林			国指定伝統的工芸品
	5	京焼・清水焼									国指定伝統的工芸品
	6	京扇子	材料	竹, 天然木(ヒノキ等), ウルシ	ヒアリング	植物	購入	森林	国内, 国外	困難(良質の竹)	国指定伝統的工芸品 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
	7	京うちわ	材料(うちわの柄)	竹(モウソウチク), スギ	ヒアリング	植物	購入	森林	国内, 国外		国指定伝統的工芸品
			漆塗	ウルシ	ヒアリング	植物	購入	森林	国外	容易	
	8	京石工芸品									国指定伝統的工芸品
	9	京人形	木地	桐	ヒアリング	植物	購入	森林	国内, 国外	容易	国指定伝統的工芸品 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
			胡粉	カキ, ハマグリ, ホタテ等	ヒアリング	動物	購入	水辺	国内, 国外	容易	
	10	京表具	木地	スギ, キリ, ヒノキ, サクラ, クワ, ホオ, イチイ等	ヒアリング	植物		森林			国指定伝統的工芸品
			軸首	コクタン, シタン, ソウ(象牙)	ヒアリング	植物, 動物		その他			
	11	京陶人形									京都市の伝統産業(国指定以外)
	12	京都の金属工芸品									京都市の伝統産業(国指定以外)
	13	京象嵌									京都市の伝統産業(国指定以外)
	14	京刃物									京都市の伝統産業(国指定以外)
	15	京の神祇装束調度品	寺や神社, お祭り, 演奏などで使用される太鼓	ウシ(牛革)	ヒアリング	動物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)
	16	京銘竹	材料	竹	ヒアリング	植物	自然採取	森林	府内	困難	京都市の伝統産業(国指定以外)
	17	京の色紙短冊和本帖									京都市の伝統産業(国指定以外)
18	北山丸太	茶室の床柱など	シロスギ(北山杉)	ヒアリング	植物	自然採取	森林	府内	やや困難	京都市の伝統産業(国指定以外)	
19	京版画									京都市の伝統産業(国指定以外)	
20	京袋物(風呂敷含む)									京都市の伝統産業(国指定以外)	
21	京すだれ	材料	ヨシ, 竹	ヒアリング	植物		水辺			京都市の伝統産業(国指定以外)	

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
工芸品	22	京印章	材料	ツゲ, スイギュウ(角), ソウ(象牙)等	ヒアリング	植物, 動物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)
	23	工芸菓子	材料	サトウキビ, イネ(もち米)等	ヒアリング	植物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)
	24	京竹工芸	材料	竹	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内, 国外	困難(良質の竹)	京都市の伝統産業(国指定以外)
	25	数珠	材料	コクタン, シタン, ウメ, センダン, シヤムガキ, ポタイジュ, アカマツ等	ヒアリング	植物	自然採取	耕作地	府内	困難(アカマツ)	京都市の伝統産業(国指定以外)
	26	京たたみ	材料	イグサ	ヒアリング	植物		水辺			京都市の伝統産業(国指定以外)
			経糸(綿糸, 麻糸)	木綿, アサ	ヒアリング	植物		耕作地			
			畳縁	木綿	ヒアリング	植物		耕作地			
	27	京七宝									京都市の伝統産業(国指定以外)
	28	菓子木型	材料	サクラ	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
	29	かつら									京都市の伝統産業(国指定以外)
	30	京金網									京都市の伝統産業(国指定以外)
	31	唐紙	越前和紙	コウゾ, ミツマタ, ガンピ, アサ, トロロアオイ等	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
			黒谷和紙	コウゾ	ヒアリング	植物	栽培, 自然採取	森林	府内, 国内, 国外	困難	
			竹紙	竹	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内	困難	
			画仙紙	藁	ヒアリング	植物		耕作地			
			版木	サクラ, ホオノキ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	国内		
			ふるい	スギ等	ヒアリング	植物	自然採取	森林	国内		
			絵具(胡粉)	カキ, ハマグリ, ホタテ等	ヒアリング	動物	自然採取	森林	国内		
			接着剤	フノリ	ヒアリング	植物		その他			
	32	かるた									京都市の伝統産業(国指定以外)
33	きせる	材料	コクタン, 竹	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)	
34	京瓦									京都市の伝統産業(国指定以外)	
35	京真田紐	材料	木綿, カイコ(絹)	ヒアリング	植物, 動物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)	
		草木染	アカネ, アイ等	ヒアリング	植物		耕作地				
36	京足袋	材料	木綿	ヒアリング	植物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)	
37	京つげぐし	材料	ツゲ	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)	
38	京葛籠	材料	竹	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)	
		表面の塗り	ウルシ, カキ(柿渋)	ヒアリング	植物		森林				
39	京丸うちわ	材料	竹	ヒアリング	植物	自然採取	森林	国内, 国外	やや困難	京都市の伝統産業(国指定以外)	

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
工芸品	40	京弓	材料	ハゼ, 竹	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
			接着剤	シカ(皮)	ヒアリング	動物		その他			
			漆塗り	ウルシ	ヒアリング	植物		森林			
	41	京和傘	材料	竹	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
			竹刀(金箔を切る)	竹	ヒアリング	植物		森林			
	42	截金	台	シカ(皮)	ヒアリング	動物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)
			接着剤	フノリ	ヒアリング	植物		その他			
	43	嵯峨面									京都市の伝統産業(国指定以外)
	44	尺八・竹楽器	材料	竹(メダケ・マダケ・ハチク)	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
			漆塗り	ウルシ	ヒアリング	植物		森林			
	45	三味線	材料	ベニノキ	ヒアリング	植物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)
			胴の部分	猫皮, 犬皮	ヒアリング	動物		その他			
	46	調べ緒	材料	アサ	ヒアリング	植物		水辺			京都市の伝統産業(国指定以外)
	47	茶筒									京都市の伝統産業(国指定以外)
	48	提燈	材料	竹	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
	49	念珠玉	材料	ポタイジュ, ビャクダン, ジンコウ(伽羅)等	ヒアリング	植物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)
	50	能面	材料	ヒノキ	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)
			顔料(胡粉)	カキ, ハマグリ, ホタテ等	ヒアリング	動物		水辺			
			漆塗り	ウルシ	ヒアリング	植物		森林			
	51	花かんざし	絹(花の部分)	カイコ	ヒアリング	動物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)
	52	帆布製カバン	布地	木綿, アサ	ヒアリング	植物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)
53	伏見人形	彩色(胡粉)	カキ, ハマグリ, ホタテ等	ヒアリング	動物		水辺			京都市の伝統産業(国指定以外)	
54	邦楽器絃	材料(生糸)	カイコ	ヒアリング	動物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)	
55	矢	材料	竹	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)	
56	結納飾・水引工芸			ヒアリング						京都市の伝統産業(国指定以外)	
57	和蠟燭	蠟	ブドウハゼ(実)	ヒアリング	植物	自然採取	森林	国内	やや困難	京都市の伝統産業(国指定以外)	
		灯芯	イグサ	ヒアリング	植物		水辺				
58	京こま	木綿糸	木綿	ヒアリング	植物		耕作地			京都市の伝統産業(国指定以外)	
59	桶, おひつ	材料	サワラ	ヒアリング	植物		森林				
60	楊枝	材料	クロモジ	ヒアリング	植物		森林				
61	研磨剤	研磨剤	トクサ	ヒアリング	植物		水辺				
62	額看板	漆塗り	ウルシ	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)	

「京都らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
建築	1	伝統建築	木材	ヒノキ, ヒバ, クリ, スギ, ツガ, ケヤキ等 アカマツ, 餅藁	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内(スギ), 府内(アカマツ, クリ, マダケ, ヒノキ), 国内(アカマツ, ヒバ, ヒノキ, ケヤキ, ツガ), 国外(アカマツ)	困難(アカマツ), やや困難(スギ)	京都市の伝統産業(国指定以外)
	2	柱材	なぐり, 中曲がり等	クリ, タムシバ, コブシ, リョウブ, ツバキ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	国内	困難	
	3	茅葺屋根(寺院山門等)	茅	ヨシ, イネ	ヒアリング	植物	自然採取	草地	市内, 府内, 国内	困難	
	4	京町家	—	竹, 木(北山丸太)	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内	困難(竹)	まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(京町家とその暮らしの文化)
	5	社寺仏閣の襖絵などの建具, 調度品に用いられる動植物	画題としての動植物	雁, 雀, コウノトリ, ツル, 狛犬, 狐, 虎, 猿, 牛, 馬, 羊, 烏, 鯉, 亀, 龍, 蛙, 蟹, 鼠, 鳶, 蝙蝠, 栗鼠, 兎, 象, 鯨, 鰐, ハス, ハナショウブ, カキツバタ, スイレン, キキョウ, ヒガンバナ, キフネギク, シュウカイドウ, ハギなど	ヒアリング	動物, 植物		その他			
造園	1	花木	—	アカマツ, サクラ類, サツキ/ツツジ類, シャクナゲ類, ツバキ類, ボタン類, アジサイ類, サルスベリ, ウメ類, サンシュユ, シヤラ, サザンカ類 など	ヒアリング	植物	購入	森林	市内, 府内, 国内	容易 困難(アカマツ)	
	2	多年草	—	ハス, ハナショウブ, カキツバタ, スイレン, キキョウ, ヒガンバナ, キフネギク, シュウカイドウ, ハギ, ツバキ, オミナエシ など	ヒアリング	植物	購入	水辺, 草地	市内, 府内, 国内	困難(キキョウ, オミナエシ)	
	3	コケ類	—	コケ	ヒアリング	植物	購入	水辺	市内, 府内, 国内	容易	
	4	手箒	—	タケ	ヒアリング	植物		森林			
	5	庭園資材	藤縄 黒文字垣	ワラビ クロモジ	ヒアリング ヒアリング	植物 植物	自然採取 自然採取	草地 森林	市内, 府内, 国内	困難 困難	京都市の伝統産業(国指定以外)

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
造園	5	庭園資材	栗板の階段	クリ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内	困難	京都市の伝統産業(国指定以外)
			竹垣(建仁寺垣等)	マダケ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	府内, 国内, 国外	困難	
			竹垣(桂離宮)	ハチク	ヒアリング	植物		森林			
			延焼防止の生垣(西本願寺, 浄福寺など)	イチヨウ, モチノキ	ヒアリング	植物		市街地	市内		
			萩垣	ハギ	ヒアリング	植物		草地		困難	
			竹穂垣	モウソウチク	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内, 国外	困難	
			クロモジ柴	クロモジ	ヒアリング	植物		森林			
			ツツジ柴	コバノミツバツツジ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内	困難	
			クヌギ丸太	クヌギ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内	困難	
			クリ材	クリ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内	困難	
			稲わら	イネ	ヒアリング	植物	自然採取	耕作地	市内	困難	
	台杉	シロスギ	ヒアリング	植物		森林					
6	伝統園芸	植物	万年青, 京椿, 嵯峨ギク, イセナデシコ, センノウ(仙翁花), カキツバタ 等	ヒアリング	植物	栽培	その他	市内			
薫香	1	香木	—	ジンコウ, ビャクダン	ヒアリング	植物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)「薫香」 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
	2	線香	香料	ニッケイ, トウシキミ, チョウジノキ, アンソクコウノキ, ニュウコウジュ, リュウノウジュ, パンウコン等	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)「薫香」 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
			粘結剤	タブノキ	ヒアリング	植物		森林			
			竹べら(切り落とし)	竹	ヒアリング	植物		森林			
	3	練香	香料	ニッケイ, トウシキミ, チョウジノキ, アンソクコウノキ, ニュウコウジュ, リュウノウジュ, パンウコン等	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)「薫香」 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
材料			ウメ, ハチ(蜜)	ヒアリング	植物		耕作地				

「京都らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
薫香	4	焼香	香料	ジンコウ、ビャクダン、チョウジ、ウコン、リュウノウジュ等	ヒアリング	植物		その他			京都市の伝統産業(国指定以外)「薫香」 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
	5	臭い袋	香料	チョウジ、カンショウ(カンショ)、リュウノウジュ等	ヒアリング	植物		森林			京都市の伝統産業(国指定以外)「薫香」 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
	6	香合	—	区分「工芸品」No.3の「京漆器」と同じ	ヒアリング						京都市の伝統産業(国指定以外)「薫香」 まち・ひと・こころが織り成す京都遺産(いまでも息づく平安王朝の雅)
茶道	1	抹茶	—	区分「食」No.51の「抹茶」と同じ	ヒアリング						
	2	和菓子	—	区分「食」No.2の「和菓子」と同じ	ヒアリング						
	3	茶筌	—	区分「工芸品」No.24の「京竹工芸」と同じ	ヒアリング						
	4	花入	—	区分「工芸品」No.24の「京竹工芸」と同じ	ヒアリング						
	5	茶杓	—	区分「工芸品」No.24の「京竹工芸」と同じ	ヒアリング						
	6	柄杓	—	ジャンル「工芸品」No.24の「京竹工芸」と同じ	ヒアリング						
	7	茶器	—	区分「工芸品」No.5の「京焼・清水焼」と同じ	ヒアリング						
	8	棗(なつめ)	—	区分「工芸品」No.3の「京漆器」と同じ	ヒアリング						
	9	掛け軸	—	区分「工芸品」No.10の「京表具」と同じ	ヒアリング						
	10	釜	—	区分「工芸品」No.12の「京都の金属工芸品」と同じ	ヒアリング						
	11	炉と炭									
	12	羽箒									
	13	水差し									
	14	仕服									
	15	服紗									
	16	着物									
	17	茶花									
	18	懐石料理			区分「食」No.8の「懐石料理」と同じ	ヒアリング					

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
茶道	19	屏風									
	20	茶室									
	21	茶庭									
華道	1	お花									
	2	器	花籠	マダケ	ヒアリング	植物	自然採取	森林	市内, 府内, 国内	困難	
	3	剣山									
	4	花瓶									
	5	はさみ									
伝統芸能	1	壬生狂言									重要無形民俗文化財
	2	六斎念仏									重要無形民俗文化財
	3	嵯峨大念仏狂言									重要無形民俗文化財
	4	千本ゑんま堂大念仏狂言									京都市登録無形民俗文化財
	5	神泉苑狂言									京都市登録無形民俗文化財
	6	花街の踊り									京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: 伝統芸能)
	7	薪能									京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: 伝統芸能)
	8	歌舞伎	小道具	マダケ等	マダケ等	ヒアリング	植物		森林		京都をつなぐ無形文化遺産(京の年中行事: 伝統芸能)
景観	1	桂川上流域(広河原・花脊)	農山村, 林業, 松上げ, 虫送り, 粽用の笹生産								京都の文化的景観
	2	桂川上流域(黒田)	農山村, 林業, 伏条台杉群, 板倉, 公民館建築								京都の文化的景観
	3	桂川上流域(山国)	農山村, 林業, 洗い場(イトヤ), 鮎漁, 山國神社, 山國隊軍楽								京都の文化的景観
	4	桂川上流域(弓削)	農山村, 林業, 木材市場, 八幡宮社, 周山街道, 公民館建築	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観
	5	花折断層地帯(久多)	林業, 志古淵神社, 松上げ, 花笠踊, 友禅菊								京都の文化的景観
	6	花折断層地帯(大原)	小盆地, 高野川, 天台宗寺院(勝林院・来迎院・三千院等), 江文神社, 農山村, 棚田, 赤紫蘇, しば漬, 茅葺民家(トタン被せ)								京都の文化的景観
	7	花折断層地帯(八瀬)	高野川, かま風呂, 保養地, 八瀬赦免地踊り								京都の文化的景観

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
景観	8	花折断層地帯(比叡山)	霊場, 延暦寺, 行者道, 登山道, 近代保養地	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観
	9	北山南緑(静原)	農山村, 静原社, 烏帽子着								京都の文化的景観
	10	北山南緑(鞍馬)	鞍馬山, 鞍馬寺, 門前町, 鞍馬街道, 街村, 元炭問屋の民家群, 鞍馬石, 木の芽煮, 鞍馬火祭								京都の文化的景観
	11	北山南緑(貴船)	貴船山, 貴船神社, 貴船川, 料亭, 川床								京都の文化的景観
	12	北山南緑(雲ヶ畑)	雲ヶ畑川(賀茂川源流), 山村, 林業, 茅葺民家(トタン被せ), 石垣, 松上げ								京都の文化的景観
	13	北山南緑(中川)	清滝川, 山村, モザイク状の山林, 北山林業, 北山杉(台杉仕立て・一本仕立て), 磨丸太倉庫群								京都の文化的景観
	14	北山南緑(小野郷)	周山街道, 農山村, 林業, 山林地主の民家, 岩戸落葉神社								京都の文化的景観
	15	北山南緑(三尾(栲尾・榎尾・高雄))	寺社(高山寺・西明寺・神護寺等), 林業, 近代保養地, 川床								京都の文化的景観
	16	愛宕山麓(愛宕山)	霊場, 愛宕神社, 火伏信仰, 千日通夜祭(千日詣)								京都の文化的景観
	17	愛宕山麓(水尾)	農山村, 清和天皇社, 柚子, 石垣								京都の文化的景観
	18	愛宕山麓(栂原)	農山村, 丹波から愛宕山への参道, 一の鳥居, 旅籠建築, 砥石, 棚田(鎧田), 桃原池								京都の文化的景観
	19	愛宕山麓(越畑)	農山村, 棚田, 茅葺民家(トタン被せ)								京都の文化的景観
20	愛宕山麓(鳥居本)	愛宕山への表参道, 門前町, 農村, 五山送り火「鳥居形松明」, 嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区							京都の文化的景観		

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
景観	21	東山丘陵(祇園界隈)	八坂神社, 建仁寺, 花街(祇園甲部・宮川町・祇園), 南座, 祇園新橋伝統的建造物群保存地区	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観
	22	東山丘陵(古門前通・新門前通)	古美術商の同業者町								京都の文化的景観
	23	東山丘陵(清水界隈)	寺社(知恩院・高台寺・清水寺等), 霊廟(大谷祖廟・大谷本廟), 歴史的参道, 茶屋, 土産物店, 産寧坂伝統的建造物群保存地区								京都の文化的景観
	24	東山丘陵(五条坂)	清水寺, 清水焼, 登り窯, 陶磁器商								京都の文化的景観
	25	東山丘陵(泉涌寺界隈)	泉涌寺, 天皇陵, 京焼, 伏見人形, 商店街								京都の文化的景観
	26	東山丘陵(深草)	稲荷山, 伏見稲荷大社, 門前町, 街道町, 琵琶湖疏水(鴨川運河)								京都の文化的景観
	27	桃山丘陵(伏見)	宇治川・高瀬川・琵琶湖疏水(鴨川運河), 近世城下町, 京阪奈の中継点, 酒造業, 伏見港, 御香宮神社								京都の文化的景観
	28	桃山丘陵(桃山)	桃山, 天皇陵, 伏見城跡								京都の文化的景観
	29	紙屋川流域(鷹峯)	鷹峯台地, 紙屋川, 京見峠, 山国街道, 街村, 船岡山, 御土居								京都の文化的景観
	30	紙屋川流域(衣笠)	鹿苑寺(金閣寺), 五山送り火「左大文字」, 近代住宅地, きぬかけの路								京都の文化的景観
	31	紙屋川流域(西陣)	西陣織, 同業者町, 織屋建て, 商店街, 仕出し, 今宮神社								京都の文化的景観
	32	紙屋川流域(北野)	北野天満宮, 花街(上七軒), 天神市, ずいき祭, 御土居								京都の文化的景観
	33	御室川流域(御室・花園)	段丘, 双ヶ岡, 寺社(仁和寺・龍安寺・妙心寺等), 土地区画整理事業								京都の文化的景観

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠	
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ		
景観	34	御室川流域(山越・鳴滝)	低位段丘, 植木生産地, 造園業	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観	
	35	御室川流域(原谷)	谷中分水界, 戦後開拓地, 桜林								京都の文化的景観	
	36	桂川谷口部(北嵯峨)	扇状地, 大沢池・広沢池, 大覚寺, 嵯峨七ツ塚古墳群, 田園, 嵯峨祭								京都の文化的景観	
	37	桂川谷口部(嵯峨・嵐山)	桂川, 嵐山, 寺社(野々宮社・天龍寺・清涼寺等), 竹林, 保津川下り, 製材業, 西高瀬川	保津峡のサツキ群落	ヒアリング	植物		水辺			京都の文化的景観	
	38	北摂山地東麓(松尾)	桂川, 松尾大社, 西芳寺(苔寺), 洛西用水, 神幸祭・還幸祭	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観	
	39	北摂山地東麓(榎原)	山陰街道, 物集女街道, 宿場町, 本陣建築								京都の文化的景観	
	40	北摂山地東麓(大枝)	園芸農林業, 京たけのこ, 富有柿, 桂坂ニュータウン								京都の文化的景観	
	41	北摂山地東麓(大原野)	複合扇状地, 大原野神社, 園芸農林業, 京たけのこ, 洛西ニュータウン								京都の文化的景観	
	42	鴨川扇状地上流部(上賀茂)	賀茂別雷神社(上賀茂神社), 社家町, 明神川, すぐき菜, 賀茂なす, 葵祭, 上賀茂伝統的建造物群保存地区									京都の文化的景観
	43	鴨川扇状地上流部(深泥池)	農村, 粽加工, 水生植物群落									京都の文化的景観
	44	鴨川扇状地上流部(北山通)	高級住宅地, ケヤキ並木, 土地区画整理事業									京都の文化的景観
	45	鴨川扇状地上流部(松ヶ崎)	泉川, 洗い場, 菜の花漬, 涌泉寺, 題目踊り, 五山送り火「妙・法」									京都の文化的景観
	46	鴨川扇状地上流部(下鴨)	賀茂御祖神社(下鴨神社), 糺の森, 泉川, 景勝住宅地, 葵祭									京都の文化的景観
	47	鴨川扇状地上流部(出町柳)	賀茂川・高野川, 枳形商店街, 鴨川デルタ									京都の文化的景観

「京都らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
景観	48	鴨川扇状地中央部(東陣界隈)	中心市街地(上京), 御霊神社(上御霊神社), 相国寺, 公家町跡, 同志社大学, 老舗, 辻子, 小川通, 茶道家元, 茶道具店	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観
	49	鴨川扇状地中央部(祇園祭山鉾町)	中心市街地(下京), 和装関係問屋, 銀行, 町衆, 祇園祭, 六角堂								京都の文化的景観
	50	鴨川扇状地中央部(三条~四条河原町界隈)	寺町, 各種専門小売店舗, 百貨店, 商店街(寺町通・新京極通・河原町通・三条通・錦小路通・四条通等), 近代建築群, 八坂神社御旅所								京都の文化的景観
	51	鴨川扇状地中央部(木屋町通界隈)	高瀬川, 藩邸跡, 寺社(瑞泉寺・廣誠院等), 花街(先斗町), 歓楽街, 納涼床, みそそぎ川								京都の文化的景観
	52	鴨川扇状地中央部(二条~壬生界隈)	湧水, 堀川, 神泉苑, 壬生寺, 二条城, 染色工場, 木材問屋, 西高瀬川								京都の文化的景観
	53	鴨川扇状地末端部(東西本願寺界隈)	本願寺(西本願寺), 真宗大谷派(東本願寺), 興正寺, 門前町, 仏具製造販売業, 宿泊施設, 龍谷大学								京都の文化的景観
	54	鴨川扇状地末端部(京都駅前)	ターミナル駅, 宿泊施設, 飲食店街, 京都タワー, 柳原銀行記念資料館								京都の文化的景観
	55	鴨川扇状地末端部(島原)	公許遊郭跡, 大門, 揚屋建築, 置屋建築								京都の文化的景観
	56	白川扇状地(北白川)	山中越, 白川石, 石材業, 小倉町住宅地								京都の文化的景観
	57	白川扇状地(吉田)	吉田山, 吉田神社, 銅板葺住宅群, 京都大学, 学生街, 山中越								京都の文化的景観
58	白川扇状地(哲学の道界隈)	寺社(慈照寺・本山獅子谷法然院等), 哲学の道, 桜並木, 景勝住宅街, 五山送り火「大文字」							京都の文化的景観		

「京都らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
景観	59	白川扇状地(南禅寺界隈)	禅宗寺院, 琵琶湖疏水分線, 近代別邸群, 疏水園池, 琵琶湖・淀川水系の魚類, アカマツ	上記の構成要素と重複あり							京都の文化的景観
	60	白川扇状地(岡崎公園)	大規模街区, 琵琶湖疏水(鴨東運河), 平安神宮, 文化施設群(美術館・動物園・ホール等), 時代祭								京都の文化的景観
	61	山科盆地(安朱)	毘沙門堂, 琵琶湖疏水(山科疏水), 文教住宅地								京都の文化的景観
	62	山科盆地(追分)	旧東海道と奈良街道の分岐点, 街村								京都の文化的景観
	63	山科盆地(清水焼団地)	窯業の同業者町(窯元・問屋・材料屋等)								京都の文化的景観
	64	山科盆地(勧修寺)	勧修寺, ブドウ畑, 観光農園								京都の文化的景観
	65	鴨川自然堤防帯(上鳥羽)	教王護国寺(東寺), 羅城門跡, 鳥羽街道, 街村, 弘法市, らくなん新都								京都の文化的景観
	66	鴨川自然堤防帯(下鳥羽)	鳥羽離宮跡, 鳥羽街道, 街村, らくなん新都								京都の文化的景観
	67	桂川自然堤防帯(梅津)	自然堤防集落, 梅宮大社, 染色工場								京都の文化的景観
	68	桂川自然堤防帯(久世)	自然堤防集落, 洛西用水, 水田, 西国街道, 光福寺(蔵王堂), 久世六斎念仏								京都の文化的景観
	69	桂川自然堤防帯(久我・羽束師)	自然堤防集落, 洛西用水, 水田, 久我神社, 羽束師坐高御産日神社								京都の文化的景観
70	三川合流域(向島)	宇治川, 太閤堤, 大和街道, 堤道集落, 生垣, 巨椋池干拓地							京都の文化的景観		
71	三川合流域(淀)	桂川・宇治川・木津川, 城下町, 與杼神社, 競馬場, ベッドタウン							京都の文化的景観		

「京都市らしさ」を支える生物資源リスト

資料編

区分	No.	「京都市らしさ」の構成要素	構成要素(細目)	主な生物資源	情報入手方法	生物資源の情報					「京都市らしさ」の構成要素とした根拠
						種別	取得方法	環境区分	調達元	入手の容易さ	
景観	72	京都市「区民の誇りの木」, 「保存樹」	相国寺のアカマツ 等	アカマツ 等	ヒアリング	植物		森林			
その他	1	神社	神使	カラス, ハト, イノシシ, キツネ, ネズミ, ウシ, トラ, ウサギ, ヘビ, ウマ, ヒツジ, サル, ニワトリ, イヌ, シカ, クジャク, トビ, フクロウ, ツル, カメ, カエル, リス, ネコ, ライオン, ソウ, タヌキ, オオカミ, コウモリ, ムカデ, タコ, セミ, ホタル, カニ, 魚, コイ, タイ, ナマズ, ワニ, ウナギ 等	ヒアリング	動物		その他			
	2	河川などの水辺の鳥	宇治川:ツバメの集団ねぐら 鴨川:イカルチドリ, ユリカモメ, カモ 深泥池:カイツブリ 等	ツバメ, イカルチドリ, ユリカモメ, カモ, カイツブリ 等	ヒアリング	動物		水辺			
	3	地域と関わりの深い動物	雀の焼鳥, 和ろうそくを運ぶカラス(伏見稻荷神社), ガン(伏見), ウズラ(深草), クイナ(伏見区:くいな橋) 等	スズメ, カラス, ガン, ウズラ, クイナ 等	ヒアリング	動物		その他			
	4	和名が京都の地名にちなむ植物	-	エイザンスミレ, エイザンカタバミ, キブネギク(中世に渡来, 逸出), オグラコウホネ(旧巨椋池), ミヤコツツジ, ミヤコアオイ, キクタニギク, カミガモシダ, キタヤマブシ(イブキトリカブト), カモアオイ(フタバアオイの別名) 等	ヒアリング	植物		草地			
	5	植物名にちなむ地名	北区紫野, 北区椋野, 北区上賀茂菖蒲園町・右京区梅ヶ畑の菖蒲谷, 東山区菊溪(菊谷川)	ムラサキ, ヒイラギ, ショウブ, キク類	ヒアリング	植物		草地			
	6	医療・医薬の先進地	本草学の本場及び遊学の地 良い採薬(薬狩り)の場(比叡山付近など洛中を囲む三山)	薬用植物全般(ボタン, ハス, トウガラシ, ショウガ, クズ, キク, キキョウ, ムラサキ, ウコン, ゴボウ, ベニバナ, アマチャ, イネ, 橙, ゴマ, オケラ, ヨモギ等)	ヒアリング ヒアリング	植物		草地			
	7	防虫, 防カビ		オケラ	ヒアリング	植物		草地			

※本資料は、京都市の関係部署に聴き取った情報、文献調査、ヒアリング調査及びアンケート調査の結果を基に作成したものであり、確定したものではない。